

(2) 遺物

Ⅱ黒層からは、土器144,332点、石器等34,002点、合計178,334点出土した。すべて縄文時代に属するものである。土器は後期後葉のⅣ群c類が最も多く半数以上を占め、次いで晩期初頭のⅤ群a類が多い。両者で86%を占める。中期・前期のものがこれに続き、早期のものはほとんどない。石器は石鏃が最も多く38%を占め、たたき石、石斧、スクレイパーがこれに次ぐ。土器以外のものには、耳飾、土製玉、環状土製品、土偶の脚部等の土製品、玉、垂飾、石棒の破片、異形石器等の石製品がある。遺物の分布は、調査区全域に広がっている。とくに調査区東側の斜面下部の地区に集中し、さらにこれに続く西側の斜面にも広がっている。Ⅳ群・Ⅴ群土器は斜面下部に集中しており、包含層出土遺物総数の約67%にあたる12万点近くの遺物がこの地区から出土している。この遺物集中区の遺物は、その他の地区と区別して掲載した。

1) 土器 (図200～202・写真図版56～92)

Ⅱ黒層からは、Ⅰ群からⅤ群にわたる縄文時代の土器片が144,332点が出土した。調査区全域から出土しており、斜面に多い。とくに、E₁・E₂～64区の斜面下部には、支笏軽石流起源の二次堆層中から出土したものを含めて、全体の69%にあたる99,665点が出土した。分類別では、Ⅳ群が68%を占め、以下Ⅴ群28%、Ⅲ群2.4%、Ⅱ群1%の順でⅠ群はごく少数である。

土器は、実測図と写真とで示してある。実測図は個々の番号で、破片写真は個々の番号「写○」で説明する。

15～65・写真図版59～65、写280～726は、遺物集中区出土のものである。

Ⅰ群 (写1・280)

26点が出土した。いずれもb類で、燃糸圧痕文、組紐圧痕文が付けられたものである。1はb-3類で、断面が三角形の貼付帯上に燃糸圧痕文が施されたもの、280はb-1類の燃糸圧痕文が施されたものである。

Ⅱ群

1,470点が出土した。a-2類が最も多く、調査地区の東側から多く出土した。

a-1類 (写2・3)：いわゆる縄文土器で、糸はすり消されていない。

a-2類 (写4～13・281)：胎土に繊維を含み、羽状縄文、斜行縄文が施されたものである。13は胴下半部の破片で、横方向に縄文が施された部分がみられる。

b類 (写14～20・282)：植苗式に類するものが多い。16は口縁下の貼付帯上に燃糸の押圧文が施されている。15は、口縁下に3条の燃糸の押圧文が施された大麻V式土器。17は、四本丸組紐を回転させたものである。18～20は円筒下層式で、燃糸文が施されている。

Ⅲ群

3,497点が出土した。a類、b-1・2類は量的に少なく、b-3類としたトコロ類が大半を占める。ほぼ全域に分布しているが、b-1類は調査区東側の台地上を斜面に多くみられb-3類は、調査区西側の斜面部に多い傾向がある。

a類 (写21～23)：同一個体で、R Lの斜行縄文が施され、内面は研磨されており、サイベ

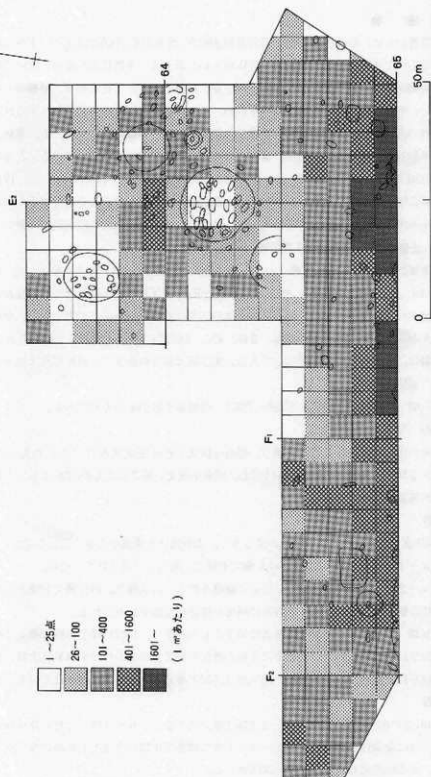


図199 II 黒層遺物の分布

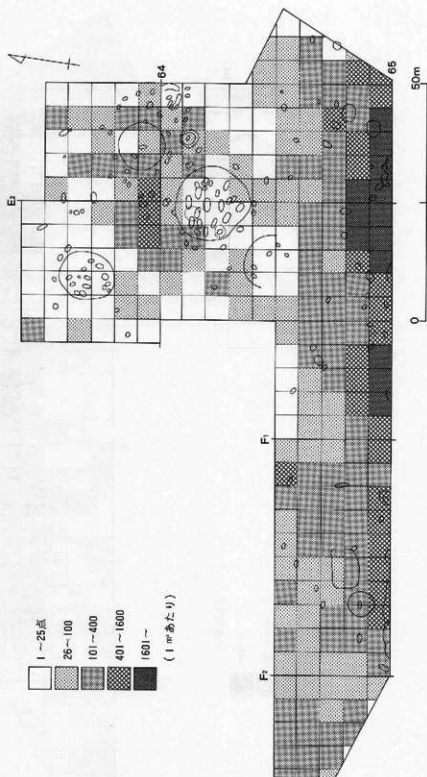


図200 II 黒層土の分布

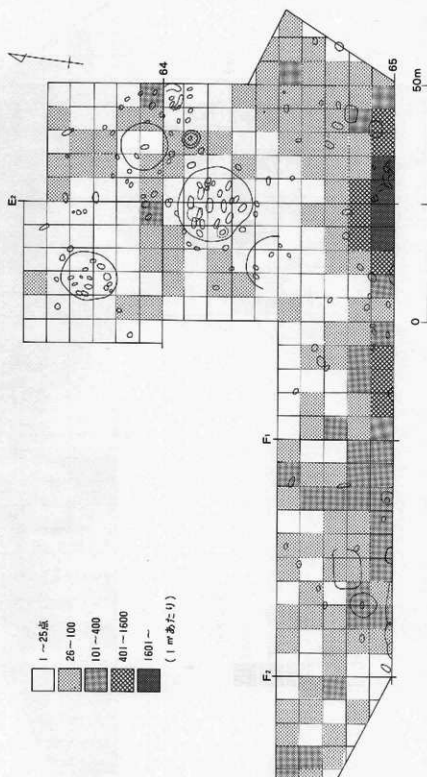


図201 II黒層石層の分布

沢Ⅶ式に相当するものである。

b-1類(写24~39・283・284):口縁部が肥厚し、棒状の突起をもつものが多い。口縁部や貼付帯上には、半載竹管による押引文や沈線文が施されている。地文は斜行縄文、羽状縄文があり、複節のものもみられる。

b-2類(写40~51・285):口縁部は肥厚せず、口縁部もしくは頸部に幅広の貼付帯をもつもの(40~42・48・50)と半載竹管による押引文や刺突文が施されたもの(写43~47・49・51・285)があり、口唇および貼付帯上にも押引文がみられる。地文は斜行縄文、または羽状縄文である。38は口縁部が大きく外反し、頸部に太い貼付帯が付けられたもので、口縁下から貼付帯にかけて縦位の沈線が施されている。口唇および貼付帯上には棒状工具による刻みが付られている。

b-3類(写52~86・286~288):口縁部が肥厚し、その断面が三角形をなすものと、口縁部が肥厚しないものがある。いずれも口縁下に円形刺突文をもち、内面に明瞭な突起が認められる。地文は斜行縄文、羽状縄文で、羽状縄文には結束第1種と結束第2種のものがある。口縁部が肥厚するものには、縄文のみのもの(写50~53・286)と、半載竹管や棒状の工具による押引文・刺突文が施されたもの(写54~56・287)がある。口縁部が肥厚しないものには、口唇部および口縁部直下に半載竹管等による押引き文が付けられる(写67~74・288)。

IV群

99,285点が出土した。c類が85%を占め、a類は比常に少ない。分布状況をみると、b類は斜面からほぼまんべんなく出土しており、遺物集中区出土のものが32%と比率的に少なく、台地上の北側付近にも小規模な集積があるのに対して、c類は遺物集中区を含めた斜面下位から、全体の90%以上が出土している。また、遺物集中区のb・c類は、支筋軽石流起源の二次堆積層中から出土したものである。

a類(写87~94):大半は糸式土器に相当するものである。写87~92は幅1cmほどの貼付帯が付き、斜行縄文、羽状縄文が施されている。90は、ノグツプⅠ式で、捺糸の押圧文がみられる。91は入江式で、状の沈線が施されている。

b類(1~4・15、写95~145・289~374):壺、台付鉢、深鉢および注口土器があるが、深鉢が最も多い。口唇の断面は、角形もしくはやや丸味をもち、肥厚するものもある。器外面の無文面や内面は、いねいに研磨されているものが多い。本類は大きく手稲式のグループと、口縁部や頸部に刻み列をもつホッケマ式のグループに二分され、量的には後者が多い。

壺および注口土器は、大半がホッケマ式に属する。体部の文様は沈線や磨消縄文で構成され、羽状縄文を地文とするものが多い。写189・141・142・371~374には沈線で区画された磨消縄文がみられる。

台付鉢は非常に少ない。写347は平口縁で、口頸部が大きく外へ開く器形である。口縁部には2列の刻み列が施され、体部には沈線で区画された磨消帯がみられ、地文は羽状縄文である。

深鉢には、平口縁と波状口縁のものがある。波状口縁のものは、手稲式には山形の波頂部を

もつものが多く、ホッケマ式には大きくゆるやかな波頂部をもつものが多い。また、ホッケマ式には突起様の波頂のものもみられる。いずれも頸部や胴部下半が無文で、口縁部と胴部上半に文様が集約されるものが多い。ホッケマ式には口頸部が無文のものもある。文様は、沈線を組合せて構成されており、連弧文や沈線で区画された磨消縄文はホッケマ式に多く用いられている。また、平行沈線をS字形などの沈線で縦に区文するものは両者にみられるが、ホッケマ式では刻み列を伴う(15)。地文は、手稲式には斜行縄文、ホッケマ式には羽状縄文が多い。写104は、口縁部に横長のS字形の沈線が施されている。写真95～108・295・296には鋸歯状沈線がみられる。写真351～356は、内面からの突瘤文が認められる。

c類(5・6・16～56、写146～212・375～608)：堂林式のもので、壺、浅鉢、深鉢および注口土器があり、深鉢が最も多い。平行口縁と波状口縁があり、口唇の断面が切り出し形で、内面からの突瘤文をめぐらしているのが特徴である。ただし、浅鉢などには突瘤文がないものもある。また、写462～478のように外面の瘤を指頭でつまんだものもみられる。口唇上には縄文原体を回転させたものや円形刺突文が施されたものがわずかにある。

壺には長頸のもの(56)と、広口のもの(55)がある。前者は、2本の沈線と、その間をうめる「く」の字形の刺突文で文様を構成しており、縄文が施されるものは少ない。6は注口土器で、体部に沈線で区画された磨消縄文をもつ。

浅鉢には、口径が高さより広いものと、口径と高さかほぼ等しいものがあり、後者は小型のものが多い。平行沈線・弧線文などの沈線や磨消縄文で文様が構成されたものは、38・40・44・50・53・54のように底部付近にまでこれらが施文されている。小型のものには、壺形などにみられた、沈線に「く」の字形の刺突文が施されたものがある。51・52・写513～528・566～579は縄文のみのものである。

深鉢は、大きく頸部がくびれ、頸部もしくは胴部上に幅広い無文帯をもつものと、頸部のくびれがなく無文帯をもたないものがある。いずれも横走沈線や波状沈線を主体に文様が構成されるものが多く、地文は斜行縄文または羽状縄文である。22～28には、口縁部や胴部上半に横走沈線で区画された部分に曲線文、弧線文、綾杉文風の沈線などの華やかな文様が施されている。また、頸部にくびれをもたないものには、32～35・写444～461のように縄文のみのものがある。

V群

40,376点が出土したうち、a類が97%を占める。斜面からまんべんなく出土しており、遺物集集中区からは55%が出土した。

a類2～12・43～51・写213～273・609～726)：この類には、大洞B式に相当するものと、従来IV群c類に含まれていたグループがある。器形にはいずれも壺、浅鉢、深鉢および注口土器がある。大洞B式に相当するものは、美沢1遺跡M-5(「美沢川流域の遺跡群」I 昭和51年度 道教委)があり、今年度の調査でも、貼瘤、沈線で描かれた三叉文、入組文などの後期的な要素が色濃く残されているものがある。一方、従来IV群c類に分類されていたものにも、

美沢1遺跡のBS-3のP-106（「美沢川流域の遺跡群」Ⅲ 昭和53年度 道教委）、今年度のP-378・395の資料にみられるように、爪形文や突痕文、張瘤、曲線文や沈線で描かれた三叉文が施されたものがあり、両者は破片での、分類が非常に困難であった。このため、P-378・395から出土したもの等は、一括して本類に含めた。また、口唇の断面が角形で、内面からの突痕文のみが施されたものや縄文のみのもの、底部が高台風の掘底の深鉢も、本類に含める（58～60・写213～229・609～614）。これらは、口唇の断面が切り出し形をした堂林式のものとは、胎土や焼成、口唇や底部の形態、縄文などに若干の相違がみられ、P-378などの出土土器との関連性も考えられるため、IV群c類から区分しておく。

深鉢などに施された爪形文には、指頭で押引きした際の胎土のめくれあがりをもつものと、めくれをもたない刻みふうの爪形があり、後者は大洞B式相当のものに多い。また、沈線で施された三叉文には、12にみられるような、面線の組み合わせによってできた三叉文に影りこみを加えたものと、沈線のみで描かれたものがあり、前者は、大洞B式相当の深鉢や壺などに多く施されている。8は、大洞B式相当の壺の口縁部で、内外面に赤色顔料の付着がみられる。

b類（写274・275）：口唇に刻みが施され、口縁下に3～4条の燃糸の凹痕文がみられるものである。

c類（図14、写276～279）：口唇断面は切り出し形で、沈線で文様を構成したもの。14は格子目文と蛇行沈線を組合せて文様を構成したもので、無文帯で文様が二分されている。（野中一宏）

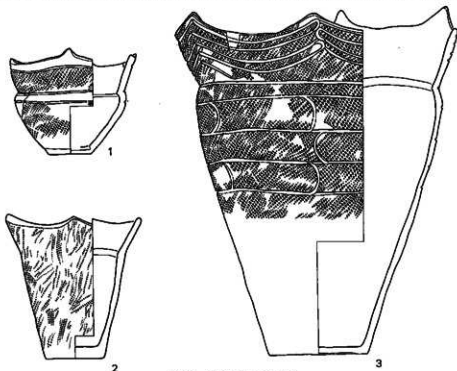


図202 II 黒層出土の土器

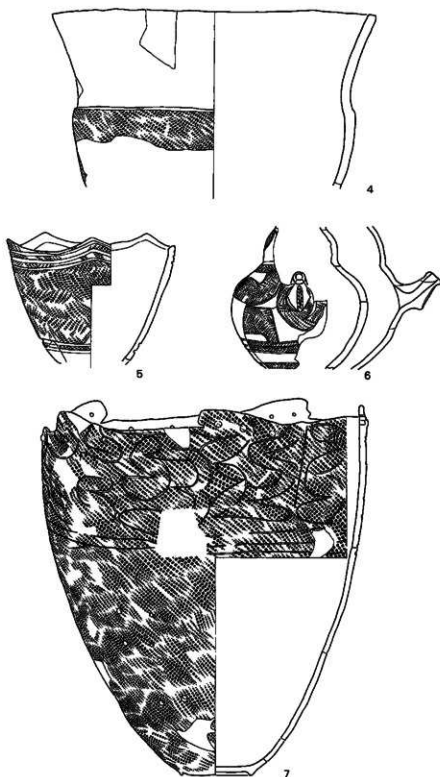


図203 II黒層出土の土器

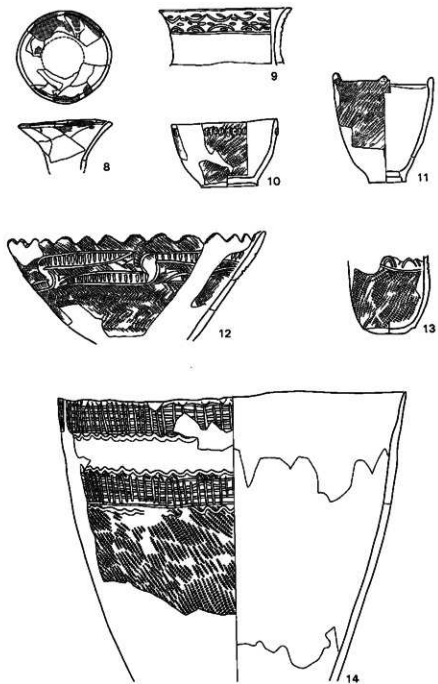


図204 II黒層出土の土器

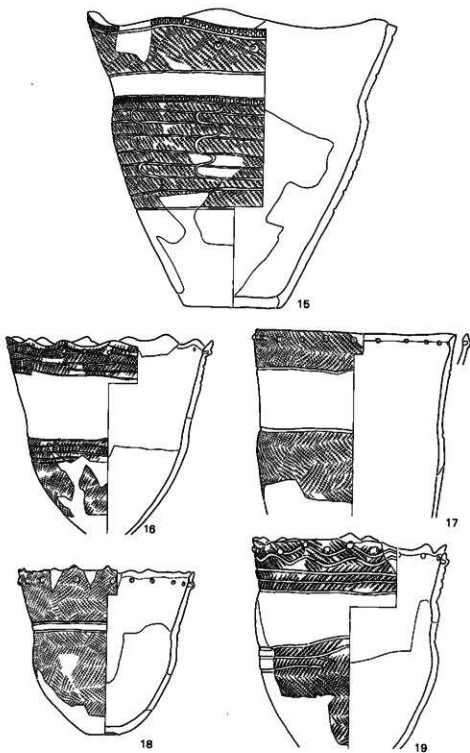
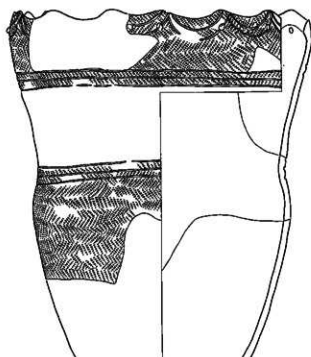
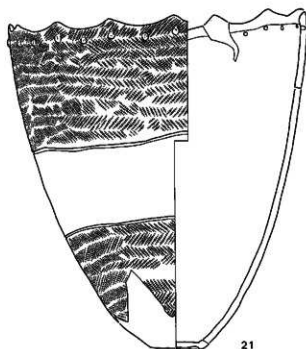


図205 II黒層出土の土器

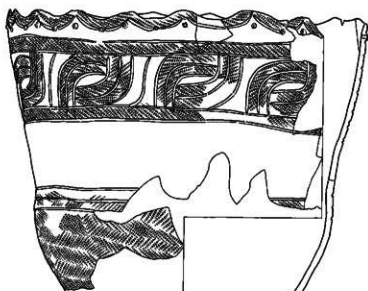


20

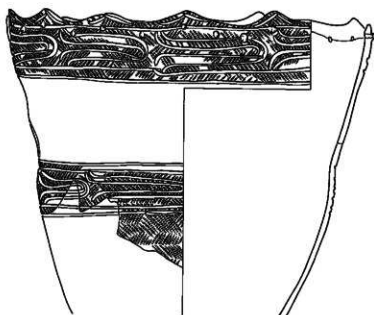


21

図206 II黒層出土の土器



22



23

図207 II黒層出土の土器

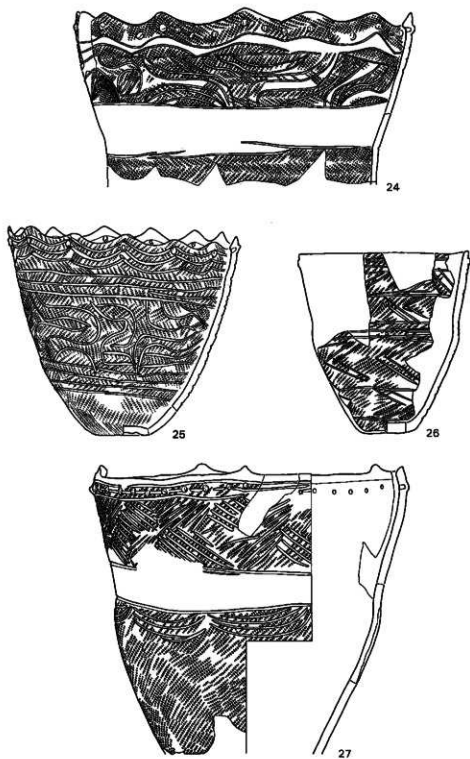
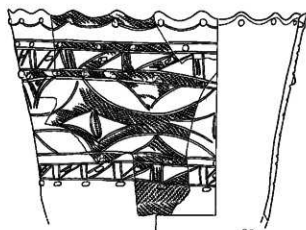
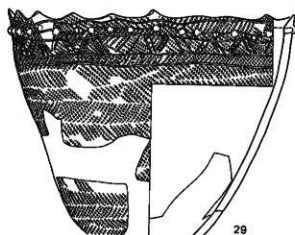


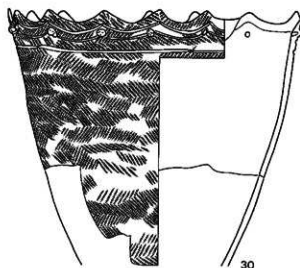
図208 II黒層出土の土器



28



29



30

図209 II黒層出土の土器

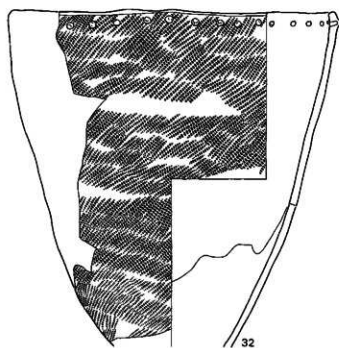
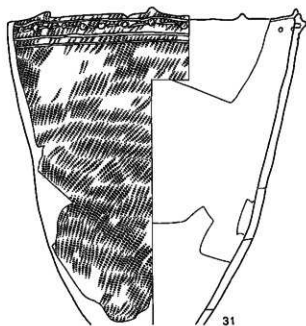
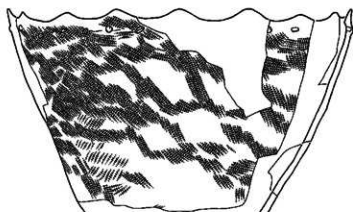
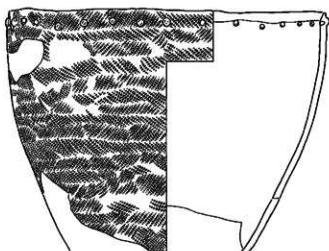


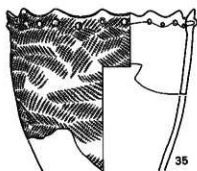
図210 II黒層出土の土器



33



34



35



36

図211 II 黒層出土の土器

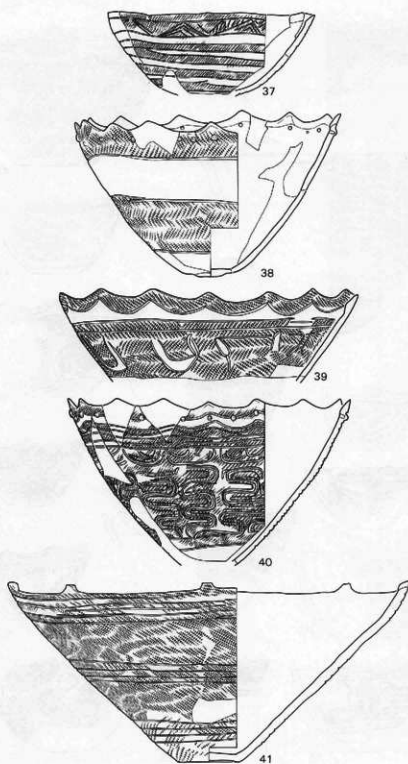


図212 II黒層出土の土器



図213 II黒層出土の土器

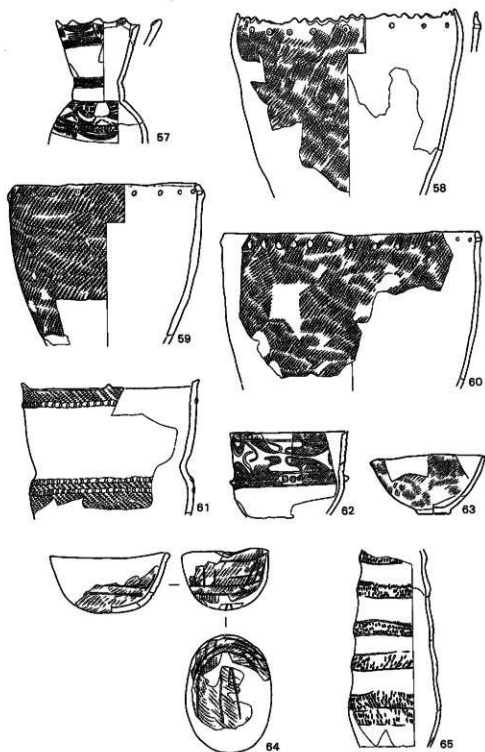


図214 II黒層出土の土器

表6 揚殿土器一覧(II層層)

(実測図)

番号	名称	分類	発掘区	大きさ			写真図 版番号	番号	名称	分類	発掘区	大きさ			写真図 版番号
				高さ	口径	底径						高さ	口径	底径	
1	深鉢	Wb	F1-64-35-36	11.1	13.6	4.6	56-1	34	深鉢	Wc	E1-64-29	(25.5)	35.7	-	62-3
2	"	"	E1-64-58	15.5	14.3	6.3	56-3	35	"	"	E1-64-09	(17.1)	20.4	-	62-4
3	"	"	E1-64-86	36.2	30.1	10.6	56-2	36	"	"	E1-64-98	12.9	13.0	3.4	63-1
4	"	"	E1-63-09	(18.7)	34.2	-	56-4	37	浅鉢	"	E1-64-89	(8.7)	22.2	-	63-2
5	浅鉢	Wc	E1-63-08	13.5	17.8	-	57-1	38	"	"	E1-64-25	17.5	28.4	5.0	-
6	注口	"	E1-64-04	(14.7)	-	-	57-2	39	"	"	E1-64-09	(9.9)	31.5	-	63-3
7	深鉢	Va	E1-63-99	39.6	35.0	7.7	57-3	40	"	"	E1-64-09-19	(17.5)	30.2	-	-
8	壺	"	F1-64-88-98	-	10.0	-	57-4	41	"	"	E1-64-89	19.3	42.3	6.6	63-4
9	"	"	E1-63-09	-	14.2	-	57-5	42	"	"	E1-64-09	(12.2)	26.5	-	-
10	浅鉢	"	E1-64-83	6.8	11.3	6.0	58-1	43	"	"	E1-64-19	19.0	25.7	4.5	64-1
11	深鉢	"	E1-64-94	11.3	10.7	3.8	58-2	44	"	"	E1-64-89	14.8	22.2	7.8	64-2
12	浅鉢	"	E1-63-09	(10.9)	26.6	-	58-3	45	"	"	E1-64-09	(7.5)	-	4.7	64-3
13	深鉢	Vc	F1-64-35	(8.0)	-	5.5	58-4	46	"	"	E1-64-09-09	10.7	18.9	5.8	65-1
14	"	"	E1-64-67	(21.7)	32.0	-	58-5	47	"	"	E1-64-09	6.7	13.1	3.4	64-4
15	深鉢	Wb	E1-64-21 29, 33	31.7	32.7	10.2	59-1	48	"	"	E1-64-99	6.5	10.1	4.6	-
16	"	Wc	E1-64-09	(21.2)	22.0	-	59-2	49	"	"	E1-64-09	13.5	17.5	5.9	-
17	"	"	E1-64-19	(18.1)	21.7	-	59-3	50	"	"	E1-64-19	7.2	12.1	3.8	64-5
18	"	"	E1-64-09	(18.1)	18.7	3.3	59-4	51	"	"	E1-64-19	(9.2)	15.8	-	-
19	"	"	E1-64-19	(22.2)	21.2	-	-	52	"	"	E1-64-09	12.5	20.9	6.0	64-6
20	"	"	E1-64-99	(37.8)	32.7	-	60-1	53	"	"	E1-64-99 E1-64-09	7.9	14.0	4.0	-
21	"	"	E1-64-09	35.2	32.1	5.4	60-2	54	"	"	E1-64-19	9.6	16.1	2.7	64-7
22	"	"	E1-64-29	(29.9)	33.2	-	60-3	55	壺	"	E1-64-19-29	-	13.0	-	65-2
23	"	"	E1-64-99	(27.0)	36.4	-	-	56	"	"	E1-64-89	(10.0)	-	3.6	-
24	"	"	E1-64-19	(18.7)	36.2	-	-	57	"	"	E1-64-86	(19.0)	4.4	-	65-3
25	"	"	E1-64-09	22.0	24.9	6.7	61-1	58	深鉢	Va	E1-64-89	(18.9)	(21.2)	-	-
26	"	"	E1-64-29	19.0	18.8	5.0	-	59	"	"	E1-64-29	(15.2)	(28.0)	-	-
27	"	"	E1-64-18	(30.7)	34.2	-	61-2	60	"	"	E1-64-29	(15.2)	28.0	-	-
28	"	"	E1-64-09	(28.0)	17.5	-	-	61	"	"	E1-64-19	(14.2)	18.8	-	65-4
29	"	"	E1-64-29	(34.0)	30.4	-	61-4	62	鉢	"	E1-64-19	(9.2)	12.4	-	-
30	"	"	E1-64-09	(27.0)	31.4	-	61-3	63	浅鉢	"	E1-64-29	6.3	12.3	3.4	-
31	"	"	E1-64-29	(33.5)	31.5	-	-	64	"	"	E1-64-09	6.5	12.7	6.8	65-5
32	"	"	E1-64-09	(36.0)	35.5	-	62-1	65	薄形鉢	"	E1-64-99	(20.8)	-	-	65-6
33	"	"	E1-64-09-19	(21.3)	35.8	-	62-2								

(写真)

番号	分類	発掘区	番号	分類	発掘区
1	I b-3	F ₁ -64-99	41	III b-2	F ₁ -64-65
2	II a-1	E ₁ -64-44	42	"	F ₂ -64-08
3	"	E ₁ -63-89	43	"	F ₁ -64-37
4	II a-2	E ₁ -64-99	44	"	E ₁ -64-76
5	"	-	45	"	F ₂ -64-26
6	"	E ₂ -64-66	46	"	E ₁ -64-58
7	"	E ₁ -63-69	47	"	F ₂ -64-16
8	"	E ₁ -64-35	48	"	F ₂ -64-26
9	"	E ₁ -64-26	49	"	E ₁ -64-65
10	"	E ₁ -64-73	50	"	F ₁ -64-27
11	"	E ₁ -64-35	51	"	F ₁ -64-78
12	"	E ₁ -63-87	52	III b-3	F ₂ -64-46
13	"	E ₁ -64-44	53	"	F ₂ -64-46
14	II b	E ₂ -63-27	54	"	F ₁ -64-95
15	"	E ₁ -64-56	55	"	E ₂ -63-07
16	"	E ₂ -64-41	56	"	F ₁ -64-97
17	"	E ₂ -64-76	57	"	-
18	"	E ₂ -64-88	58	"	F ₂ -64-35
19	"	E ₁ -63-55	59	"	F ₁ -64-96
20	"	E ₁ -64-48	60	"	F ₂ -64-06
21	III a	E ₂ -63-54	61	"	F ₂ -64-27
22	"	E ₂ -63-54	62	"	F ₂ -64-08
23	"	E ₂ -63-54	63	"	E ₂ -63-04
24	III b-1	F ₁ -64-57	64	"	E ₂ -64-21
25	"	E ₁ -63-59	65	"	F ₁ -64-95
26	"	E ₁ -64-65	66	"	F ₂ -64-35
27	"	E ₁ -64-60	67	"	F ₂ -64-18・37
28	"	F ₂ -64-07	68	"	F ₂ -64-08
29	"	E ₁ -64-36	69	"	F ₂ -64-26
30	"	F ₁ -64-69	70	"	F ₂ -64-47
31	"	E ₂ -63-44	71	"	E ₂ -64-79
32	"	E ₂ -64-35	72	"	F ₂ -64-38
33	"	F ₁ -64-65	73	"	F ₂ -64-06
34	"	F ₁ -64-27	74	"	F ₂ -64-17
35	"	E ₁ -64-82	75	"	F ₂ -64-08
36	"	F ₂ -64-08	76	"	F ₂ -64-16
37	"	E ₁ -64-83	77	"	F ₂ -64-37
38	"	E ₁ -64-67	78	"	F ₂ -64-18
39	"	E ₂ -64-16・17	79	"	F ₂ -64-07
40	III b-2	E ₁ -64-87	80	"	F ₂ -64-25

III 美々4遺跡の調査

番号	分類	発掘区	番号	分類	発掘区
81	III b-3	F ₂ -64-37	122	IV b	F ₁ -64-28
82	"	F ₁ -64-26	123	"	E ₂ -64-79
83	"	F ₁ -64-75	124	"	F ₁ -64-89
84	"	F ₂ -64-36	125	"	E ₂ -64-66
85	"	F ₂ -64-97	126	"	F ₁ -64-69
86	"	F ₂ -64-17	127	"	E ₂ -64-68
87	IV a	E ₁ -64-65	128	"	E ₂ -64-89
88	"	F ₂ -64-25	129	"	E ₂ -63-09
89	"	E ₂ -63-07	130	"	F ₁ -64-36
90	"	E ₁ -64-36	131	"	E ₂ -64-39
91	"	E ₂ -64-65	132	"	E ₂ -64-59
92	"	E ₂ -63-08	133	"	E ₂ -64-68
93	"	E ₁ -64-36	134	"	F ₁ -64-76
94	"	F ₁ -64-15	135	"	E ₂ -64-79
95	IV b	F ₁ -64-87	136	"	E ₂ -64-79
96	"	F ₁ -64-45	137	"	F ₁ -64-58
97	"	F ₁ -64-59	138	"	F ₁ -64-58
98	"	F ₁ -64-69	139	"	F ₁ -64-09
99	"	F ₁ -64-61	140	"	F ₁ -64-17
100	"	F ₁ -64-79	141	"	E ₂ -64-39
101	"	F ₁ -64-48	142	"	F ₁ -64-89
102	"	F ₁ -64-56	143	"	E ₂ -64-69
103	"	F ₁ -64-27	144	"	E ₂ -64-69
104	"	F ₁ -64-89	145	"	E ₂ -64-59
105	"	E ₁ -64-45	146	IV c	E ₂ -64-79
106	"	F ₁ -64-88	147	"	E ₁ -64-87
107	"	F ₁ -64-88	148	"	E ₂ -64-69
108	"	F ₁ -64-85	149	"	E ₂ -64-79
109	"	F ₁ -64-26	150	"	E ₂ -64-79
110	"	F ₁ -64-38	151	"	E ₂ -64-88
111	"	F ₁ -64-88	152	"	E ₂ -64-39
112	"	F ₁ -64-77	153	"	E ₂ -64-79
113	"	F ₁ -64-28	154	"	E ₂ -64-79
114	"	F ₁ -64-68	155	"	E ₂ -64-11
115	"	E ₁ -64-87	156	"	E ₂ -64-79
116	"	F ₁ -64-59	157	"	E ₂ -64-79
117	"	F ₁ -64-49	158	"	F ₁ -64-37
118	"	F ₁ -64-69	159	"	E ₁ -64-86
119	"	E ₂ -64-89	160	"	E ₂ -64-69
120	"	F ₁ -64-37	161	"	E ₂ -64-07
121	"	E ₂ -64-79	162	"	E ₂ -64-69

番号	分類	発掘区	番号	分類	発掘区
163	Ⅳc	E ₁ -64-71	204	Vc	E ₂ -64-79
164	"	E ₁ -63-72	205	"	E ₂ -64-69
165	"	E ₂ -64-69	206	"	E ₂ -64-79
166	"	E ₂ -64-79	207	"	E ₂ -64-78
167	"	E ₂ -64-79	208	"	E ₂ -64-79
168	"	E ₂ -64-26	209	"	E ₂ -64-69
169	"	E ₂ -64-69	210	"	E ₂ -64-69
170	"	E ₁ -64-36	211	"	E ₂ -64-79
171	"	E ₂ -64-69	212	"	E ₂ -63-57
172	"	E ₂ -64-39	213	Va	F ₁ -64-87
173	"	E ₂ -64-79	214	"	E ₁ -64-78
174	"	E ₂ -64-07	215	"	F ₁ -64-98
175	"	E ₁ -64-53	216	"	F ₁ -64-88
176	"	F ₁ -64-69	217	"	F ₁ -64-39
177	"	E ₂ -64-79	218	"	F ₁ -64-09
178	"	E ₂ -64-39	219	"	E ₂ -64-77
179	"	E ₂ -64-69	220	"	E ₂ -64-11
180	"	F ₁ -64-55	221	"	E ₂ -64-98
181	"	E ₂ -64-79	222	"	E ₂ -64-95
182	"	F ₂ -64-11	223	"	E ₂ -64-09
183	"	E ₂ -64-69	224	"	E ₂ -64-77
184	"	E ₂ -64-79	225	"	E ₂ -63-19
185	"	E ₁ -64-71	226	"	E ₁ -64-77
186	"	E ₂ -64-69	227	"	E ₁ -64-77
187	"	E ₂ -64-79	228	"	E ₂ -63-09
188	"	E ₂ -64-79	229	"	E ₂ -64-69
189	"	E ₂ -64-69	230	"	E ₁ -64-48
190	"	E ₂ -64-69	231	"	F ₁ -64-09
191	"	E ₂ -64-39	232	"	E ₂ -64-59
192	"	E ₂ -64-79	233	"	E ₁ -64-87
193	"	F ₁ -64-29	234	"	E ₂ -64-39
194	"	E ₂ -64-69	235	"	E ₂ -63-18
195	"	E ₁ -64-65	236	"	E ₂ -63-18
196	"	E ₂ -64-04	237	"	E ₁ -64-87
197	"	E ₂ -64-23	238	"	E ₂ -64-89
198	"	E ₂ -64-69	239	"	E ₂ -64-49
199	"	E ₂ -64-68	240	"	F ₁ -64-49
200	"	E ₂ -64-39	241	"	E ₂ -64-58
201	"	F ₁ -64-69	242	"	E ₂ -64-69
202	"	E ₂ -64-79	243	"	E ₂ -64-96
203	"	E ₂ -64-79	244	"	F ₁ -64-26

III 英々4遺跡の調査

番号	分類	発掘区	番号	分類	発掘区
245	V a	E ₂ -64-69	286	III b-3	E ₁ -64-98
246	"	E ₂ -64-69・75	287	"	E ₁ -64-08
247	"	F ₁ -64-77	288	"	E ₂ -64-29
248	"	E ₂ -63-09	289	IV b	E ₂ -64-19
249	"	E ₂ -64-39	290	"	E ₂ -64-09
250	"	F ₁ -64-58	291	"	E ₂ -64-08
251	"	E ₁ -64-48	292	"	E ₂ -64-09
252	"	E ₁ -64-78	293	"	E ₁ -64-79
253	"	E ₂ -64-59	294	"	E ₁ -64-78
254	"	E ₂ -63-09	295	"	E ₁ -64-59
255	"	E ₁ -64-71	296	"	E ₁ -64-59
256	"	E ₂ -63-19	297	"	E ₂ -64-19
257	"	F ₁ -64-87	298	"	E ₁ -64-59
258	"	E ₂ -64-48	299	"	E ₂ -64-09
259	"	E ₂ -64-66	300	"	E ₁ -64-69
260	"	E ₂ -64-78	301	"	E ₁ -64-98
261	"	F ₁ -64-15	302	"	E ₁ -64-89
262	"	E ₂ -64-68	303	"	E ₂ -64-08
263	"	E ₁ -64-77	304	"	E ₂ -64-09
264	"	E ₂ -64-39	305	"	E ₁ -64-99
265	"	F ₁ -64-15	306	"	E ₁ -64-99
266	"	E ₁ -64-36	307	"	E ₂ -64-09
267	"	E ₂ -63-09	308	"	E ₂ -64-09
268	"	E ₂ -64-06	309	"	E ₂ -64-69
269	"	F ₁ -64-26	310	"	E ₁ -64-19
270	"	E ₂ -63-29	311	"	E ₂ -64-69
271	"	F ₁ -64-27	312	"	E ₂ -64-09
272	"	F ₁ -64-47	313	"	E ₂ -64-19
273	"	E ₂ -64-67	314	"	E ₁ -64-98
274	V b	F ₂ -64-09	315	"	E ₂ -64-19
275	"	F ₂ -64-35	316	"	E ₁ -64-59
276	V c	F ₂ -64-37	317	"	E ₁ -64-89
277	"	F ₁ -64-79	318	"	E ₁ -64-99
278	"	F ₁ -64-98	319	"	E ₂ -64-19
279	"	E ₁ -64-69	320	"	E ₂ -64-09
280	I b-1	E ₁ -64-98	321	"	E ₂ -64-79
281	II a-2	E ₁ -64-89	322	"	E ₂ -64-19
282	II b	E ₁ -64-89	323	"	E ₁ -64-79
283	III b-1	E ₁ -64-69	324	"	E ₂ -64-08
284	"	E ₂ -64-08	325	"	E ₂ -64-19
285	III b-2	E ₁ -64-78	326	"	E ₂ -64-08

番号	分類	発掘区	番号	分類	発掘区
327	IV b	E ₂ -64-19	368	IV b	E ₁ -64-99 E ₂ -64-09
328	"	E ₂ -64-09	369	"	E ₂ -64-09
329	"	E ₁ -64-69	370	"	E ₂ -64-08
330	"	E ₂ -64-19	371	"	E ₁ -64-89
331	"	E ₁ -64-99	372	"	E ₂ -64-29
332	"	E ₁ -64-89	373	"	E ₂ -64-09
333	"	E ₁ -64-89	374	"	E ₁ -64-99
334	"	E ₁ -64-89	375	IV c	E ₂ -64-29
335	"	E ₁ -64-99	376	"	E ₂ -64-19
336	"	E ₂ -64-19	377	"	E ₁ -64-79
337	"	E ₁ -64-79	378	"	E ₂ -64-08
338	"	E ₁ -63-98	379	"	E ₂ -64-08
339	"	E ₂ -64-18	380	"	E ₂ -64-19
340	"	E ₂ -64-89	381	"	E ₁ -64-89
341	"	E ₁ -63-79 E ₂ -64-70	382	"	E ₂ -64-19
342	"	E ₂ -64-29	383	"	E ₁ -64-89
343	"	E ₂ -64-28	384	"	E ₂ -64-09
344	"	E ₂ -64-08	385	"	E ₂ -64-09
345	"	E ₂ -64-08	386	"	E ₂ -64-19
346	"	E ₂ -64-18	387	"	E ₁ -64-99
347	"	E ₂ -64-29	388	"	E ₁ -64-99
348	"	E ₁ -64-98	389	"	E ₂ -64-09
349	"	E ₁ -64-99	390	"	E ₁ -64-89
350	"	E ₂ -64-08	391	"	E ₁ -64-99
351	"	E ₂ -64-19	392	"	E ₂ -64-19
352	"	E ₁ -64-99	393	"	E ₂ -64-09
353	"	E ₂ -64-19	394	"	E ₂ -64-09
354	"	E ₂ -64-09	395	"	E ₂ -64-09
355	"	E ₂ -64-29	396	"	E ₂ -64-19
356	"	E ₂ -64-29	397	"	E ₂ -64-19
357	"	E ₂ -63-09	398	"	E ₂ -64-19
358	"	E ₂ -64-09	399	"	E ₁ -64-99
359	"	E ₂ -64-08	400	"	E ₂ -64-29
360	"	E ₁ -64-98	401	"	E ₂ -64-29
361	"	E ₂ -64-09	402	"	E ₂ -64-09
362	"	E ₁ -64-99	403	"	E ₁ -64-99
363	"	E ₁ -64-99	404	"	E ₁ -64-99
364	"	E ₂ -64-08	405	"	E ₂ -64-09
365	"	E ₁ -64-29	406	"	E ₁ -64-89
366	"	E ₂ -64-19	407	"	E ₁ -64-99
367	"	E ₁ -64-98	408	"	E ₂ -64-19

III 英々4道跡の調査

番号	分類	発掘区	番号	分類	発掘区
409	N c	E ₁ -64-19	450	N c	E ₂ -64-09
410	"	E ₂ -64-09	451	"	E ₂ -64-19
411	"	E ₂ -64-19	452	"	E ₂ -64-19
412	"	E ₂ -64-08	453	"	E ₂ -64-19
413	"	E ₂ -64-29	454	"	E ₂ -64-09
414	"	E ₂ -64-09	455	"	E ₂ -64-09
415	"	E ₂ -64-29	456	"	E ₁ -64-99
416	"	E ₂ -64-19	457	"	E ₂ -64-19
417	"	E ₂ -64-19	458	"	E ₁ -64-99
418	"	E ₂ -64-19	459	"	E ₁ -64-89
419	"	E ₂ -64-99	460	"	E ₂ -64-29
420	"	E ₂ -64-09	461	"	E ₂ -64-08
421	"	E ₂ -64-29	462	"	E ₂ -64-09
422	"	E ₂ -64-29	463	"	E ₂ -64-09
423	"	E ₁ -64-99	464	"	E ₂ -64-09
424	"	E ₂ -64-09	465	"	E ₁ -64-99
425	"	E ₂ -64-09	466	"	E ₂ -64-19
426	"	E ₂ -64-07	467	"	E ₂ -64-19
427	"	E ₂ -64-09	468	"	E ₂ -64-09
428	"	E ₁ -64-89	469	"	E ₂ -64-29
429	"	E ₂ -64-09	470	"	E ₂ -64-19
430	"	E ₂ -64-09	471	"	E ₂ -64-09
431	"	E ₂ -64-09	472	"	E ₂ -64-19
432	"	E ₂ -64-19	473	"	E ₂ -64-19
433	"	E ₁ -64-89	474	"	E ₂ -64-09
434	"	E ₂ -64-09	475	"	E ₂ -64-09
435	"	E ₂ -64-09	476	"	E ₂ -64-07
436	"	E ₂ -64-89	477	"	E ₂ -64-09
437	"	E ₁ -64-79	478	"	E ₁ -64-99
438	"	E ₁ -64-89	479	"	E ₂ -64-09
439	"	E ₂ -64-18	480	"	E ₁ -64-99
440	"	E ₂ -64-19	481	"	E ₁ -64-98
441	"	E ₂ -64-09	482	"	E ₁ -64-99
442	"	E ₂ -64-09	483	"	E ₁ -64-99
443	"	E ₂ -64-19	484	"	E ₂ -64-09
444	"	E ₂ -64-09	485	"	E ₂ -64-09
445	"	E ₂ -64-09	486	"	E ₁ -64-99
446	"	E ₁ -64-89	487	"	E ₂ -64-19
447	"	E ₁ -64-99	488	"	E ₂ -64-09
448	"	E ₁ -64-99	489	"	E ₁ -64-79
449	"	E ₁ -64-79	490	"	E ₂ -64-29

番号	分 類	発 掘 区	番号	分 類	発 掘 区
491	IVc	E ₁ -64-79	532	IVc	E ₂ -64-08
492	"	E ₁ -64-89	533	"	E ₂ -64-09
493	"	E ₂ -64-09	534	"	E ₂ -64-19
494	"	E ₁ -64-99	535	"	E ₁ -64-99
495	"	E ₁ -64-49	536	"	E ₁ -64-89
496	"	E ₂ -64-09	537	"	E ₁ -64-99
497	"	E ₂ -64-09	538	"	E ₂ -64-09
498	"	E ₂ -64-19	539	"	E ₂ -64-19
499	"	E ₂ -64-09	540	"	E ₁ -64-89
500	"	E ₂ -64-09	541	"	E ₂ -64-09
501	"	E ₂ -64-09	542	"	E ₂ -64-19
502	"	E ₂ -64-09	543	"	E ₁ -64-79
503	"	E ₂ -64-19	544	"	E ₂ -64-19
504	"	E ₁ -64-99	545	"	E ₂ -64-09
505	"	E ₁ -64-99	546	"	E ₁ -64-99
506	"	E ₂ -64-09	547	"	E ₂ -64-09
507	"	E ₁ -64-99	548	"	E ₂ -64-09
508	"	E ₂ -64-09	549	"	E ₂ -64-09
509	"	E ₂ -64-09	550	"	E ₂ -64-09
510	"	E ₁ -64-99	551	"	E ₂ -64-09
511	"	E ₂ -64-09	552	"	E ₂ -64-09
512	"	E ₂ -64-09	553	"	E ₁ -64-99
513	"	E ₂ -64-09	554	"	E ₂ -64-09
514	"	E ₂ -64-09	555	"	E ₁ -64-99
515	"	E ₁ -64-99	556	"	E ₂ -64-09
516	"	E ₂ -64-09	557	"	E ₁ -64-89
517	"	E ₁ -64-89	558	"	E ₂ -64-19
518	"	E ₂ -64-19	559	"	E ₂ -64-09
519	"	E ₂ -64-09	560	"	E ₂ -64-89
520	"	E ₁ -64-89	561	"	E ₁ -64-89
521	"	E ₂ -64-19	562	"	E ₁ -64-89
522	"	-	563	"	E ₂ -64-09
523	"	E ₂ -64-29	564	"	E ₁ -64-99
524	"	E ₂ -64-19	565	"	E ₂ -64-19
525	"	E ₂ -64-09	567	"	E ₂ -64-19
526	"	E ₂ -64-19	568	"	E ₂ -64-09
527	"	E ₁ -64-99	569	"	E ₁ -64-09
528	"	E ₂ -64-19	570	"	E ₂ -64-89
529	"	E ₁ -64-89	571	"	E ₂ -64-19
530	"	E ₂ -64-19	572	"	E ₂ -64-09
531	"	E ₂ -64-09	573	"	E ₂ -64-29

III 美々4遺跡の調査

番号	分類	発掘区	番号	分類	発掘区
574	Nc	E ₂ -64-19	615	Va	E ₁ -64-89
575	"	E ₂ -64-19	616	"	E ₂ -64-09
576	"	E ₂ -64-09	617	"	E ₁ -64-89
577	"	E ₂ -64-09	618	"	E ₂ -64-19
578	"	E ₂ -64-09	619	"	E ₂ -64-29
579	"	E ₂ -64-09	620	"	E ₂ -64-19
580	"	E ₁ -64-98	621	"	E ₂ -64-19
581	"	E ₂ -64-09	622	"	E ₂ -64-09
582	"	E ₁ -64-89	623	"	E ₂ -64-19
583	"	E ₁ -64-79	624	"	E ₂ -64-19
584	"	E ₂ -64-19	625	"	E ₂ -64-19
585	"	E ₂ -64-09	626	"	E ₁ -64-69
586	"	E ₂ -64-19	627	"	E ₂ -64-19
587	"	E ₂ -64-19	628	"	E ₁ -64-99
588	"	E ₂ -64-08	629	"	E ₂ -64-19
589	"	E ₂ -64-09	630	"	E ₁ -64-78
590	"	E ₁ -64-09	631	"	E ₂ -64-09
591	"	E ₂ -64-09	632	"	E ₁ -64-99
592	"	E ₂ -64-09	633	"	E ₁ -64-99
593	"	E ₂ -64-09	634	"	E ₂ -64-29
594	"	E ₂ -64-09	635	"	E ₂ -64-09
595	"	E ₁ -64-98	636	"	E ₁ -64-79
596	"	E ₁ -64-99	637	"	E ₂ -64-99
597	"	E ₂ -64-89	638	"	E ₁ -64-89
598	"	E ₂ -64-19	639	"	E ₁ -64-49
599	"	E ₂ -64-19	640	"	E ₁ -64-89
600	"	E ₂ -64-09	641	"	E ₁ -64-89
601	"	E ₁ -64-99	642	"	E ₁ -64-89
602	"	E ₂ -64-19	643	"	E ₁ -64-69
603	"	E ₂ -64-19	644	"	E ₁ -64-79
604	"	E ₂ -64-09	645	"	E ₂ -64-29
605	"	E ₂ -64-19	646	"	E ₁ -64-89
606	"	E ₂ -64-09	647	"	E ₂ -64-19
607	"	E ₂ -64-19	648	"	E ₂ -64-19
608	"	E ₂ -64-09	649	"	E ₂ -64-49
609	Va	E ₂ -64-19	650	"	E ₂ -64-19
610	"	E ₂ -64-19	651	"	E ₁ -64-99
611	"	E ₂ -64-19	652	"	E ₂ -64-19
612	"	E ₂ -64-09	653	"	E ₂ -64-19
613	"	E ₁ -64-79	654	"	E ₂ -64-09
614	"	E ₂ -64-09	655	"	E ₂ -64-09

番号	分類	発掘区	番号	分類	発掘区
656	Va	E ₂ -64-29	692	Va	E ₂ -64-09
657	"	E ₂ -64-09	693	"	E ₁ -64-79
658	"	E ₂ -64-09	694	"	E ₁ -64-89
659	"	E ₂ -64-19	695	"	E ₁ -64-89
660	"	E ₁ -64-89	696	"	E ₁ -64-99
661	"	E ₂ -64-19	697	"	E ₁ -64-89・99
662	"	E ₂ -64-09	698	"	E ₂ -64-19
663	"	E ₁ -64-89	699	"	E ₁ -64-59
664	"	E ₁ -64-89	700	"	E ₂ -64-29
665	"	E ₁ -64-89	701	"	E ₂ -64-09
666	"	E ₁ -64-79	702	"	E ₂ -64-09
667	"	E ₂ -64-19	703	"	E ₁ -64-89
668	"	E ₁ -64-69	704	"	E ₁ -64-9
669	"	E ₂ -64-09	705	"	E ₁ -64-88
670	"	E ₁ -64-99	706	"	E ₂ -64-08
671	"	E ₂ -64-09	707	"	E ₁ -64-69
672	"	E ₁ -64-69	708	"	E ₂ -64-08
673	"	E ₂ -64-29	709	"	E ₁ -64-79
674	"	E ₁ -64-99	710	"	E ₂ -64-29
675	"	E ₂ -64-09	711	"	E ₂ -64-09
676	"	E ₁ -64-89	712	"	E ₁ -64-79
677	"	E ₁ -64-99	713	"	E ₂ -64-09
678	"	E ₂ -64-08	714	"	E ₁ -64-89
679	"	E ₂ -64-09	715	"	E ₂ -64-19
680	"	E ₂ -64-29	716	"	E ₁ -64-99
681	"	E ₁ -64-79	717	"	E ₂ -64-89
682	"	E ₁ -64-79	718	"	E ₂ -64-29
683	"	E ₂ -64-19	719	"	E ₂ -64-18
684	"	E ₂ -64-19	720	"	E ₂ -64-09
685	"	E ₁ -64-79	721	"	E ₂ -64-09
686	"	E ₂ -64-09	722	"	E ₂ -64-19
687	"	E ₂ -64-09	723	"	E ₂ -64-09
688	"	E ₂ -64-09	724	"	E ₁ -64-98
689	"	E ₂ -64-09	725	"	E ₁ -64-69
680	"	E ₂ -64-09	726	"	E ₂ -64-29
691	"	E ₁ -64-99			

2) 石器等 (図213~225, 写真図版93~102)

剥片石器2,094点, 礫石器1,382点, 土製品58点, 石製品29点, 漆器と思われる遺物5点, フレイクおよび礫30,434点が出土した。前述のように, 遺物は斜面下部に集中しており, 石器等の58%にあたる約2万点がこの地区から出土している。石器群を概観すると, 遺物集中区, それ以外の地区ともに, 剥片石器では有茎の石鏃 (IA5) と不定形のスクレイパー (ⅡB3) が, 礫石器ではたたき石 (VA) と石斧 (IVA) が, 著しく多いという特徴がある。また調査区北側の台地上からは, 大型のメノウの剥片が46点まとまって出土した。遺物集中区からは, 100点以上の小型の黒曜石の原石が出土した。土・石製品の70%, 原形をとどめないが漆器と思われる遺物5点も, 遺物集中区から得られている。以下に図示した遺物を中心に, 概略を述べる。なお, 168~266・285~296は遺物集中区出土のものである。

石鏃 (1~67, 168~207) : 1,364点出た。剥片石器の中で最も多く, 38%を占める。そのうち70%が, 有茎の IA5 (41~67, 180~207) である。次いで三角形の IA3 (5~26, 168~169) が多い。しかし三角形のものは, Ⅱ群 a 類土器の分布する調査地区東側斜面に多く, 遺物集中区には少ない。柳葉形の IA2a (1,4), 五角形の IA2b (2,3), 菱形の IA4 (27~40, 170~179) は少ない。鏃身の側縁が弧状に内湾するもの (45~49, 182~183) は, かえしが比較的確である。48は石鏃に転用した可能性がある。51~67, 184~207は, 鏃身の側縁が直線的かやや凸のもので, 大型のものが多く, 50は, 鏃身部が短く, 丸味を帯びており, 明確な尖頭部を持たない。石材には, 黒曜石が最も多く利用され以下, 珪岩, 頁岩の順である。

やり先またはナイフ (68~76, 208~209) : 73点出た。有茎の IB1 (68~72・76) と無茎の IB2 (73~75, 208~209) があり, 208~209を除き, いずれも二次加工はいいである。68以外は, かえしが不明瞭で, その位置は左右で異なり, 70・71のように, 片方のかえしがほとんどないものもある。

石鏃類 (77~97, 210~220) : 185点出た。刺突部のみが作り出され, 剥片周縁がわずかに加工された ⅡA1 (77~81, 212), 棒状の ⅡA2 (82~91, 210・211・213・214), 明確なつまみ部をもつ ⅡA3 (92~97, 216~220) がある。80は刺突部が二か所にある。ⅡA1の石鏃は, 刺突部が破損しているものが多い。83・85・86・92は両端が利用されている。棒状の ⅡA2は, 先端部の磨耗が顕著である。97・220はつまみ部がいいにつくり出されており薄身のもの。石材は, 黒曜石が多く, 頁岩・珪岩がこれに次ぐ。

つまみ付きナイフ (98~113, 221~232) : 156点出た。楕形のもの (98~109, 221・223・224・226~249) が圧倒的に多く, 横形 (110~113, 230~232) はわずか8点である。222・225のような, 中間的形態のものもある。楕形のものでは, 片面周縁加工の ⅢA3 (101・104~107, 221~229) が半数を占め, 片面加工の ⅢA2 (100・102・103) がこれに次ぎ, 両面加工の ⅢA3 (108・109) もわずかにある。ⅢA1の99には, 裏面右側縁に, 表面調整のための加工がなされている。102は, ほかのものよりも加工がいいで, 左右対称形をしている。108は, 石鏃に転用した可能性がある。横型の ⅢA5は, ほとんどのものが身部が薄く, 二次加工は粗雑で, つまみ部の

えぐりと、表面周縁にのみ施されている。石材には、黒曜石、珪岩、頁岩がある。

スクレイパー (114~126, 233~246) : 307点出土した、ⅢB1の石ベラ (114・125・233・234)、ⅢB2のラウンドスクレイパー (115・116・118・235) は少なく、円形、楕円形、尖頭部をもつものなど、一定の形を呈しないⅢB3が80%を占める。不定形のスクレイパーは、二次加工が、表面周縁にのみはば限られ、粗雑であり、厚石面や、ポジティブバルブを残すものが目立つ。126は、二次加工が表裏面にいいに施されているもので形が整えられている。127・245・246は大型のもの。石材は黒曜石が最も多く、珪岩、頁岩がこれに次ぐ。

石斧 (127~140, 247~252) : 530点出土した。礫石器の約40%を占めるが、そのうち302点が破片である。敲打によって整形されたIVA2 (129・130, 247~249・252) が最も多く、全面磨製のIVA5 (132~138, 251) が次ぐ。IVA1 (128) とIVA3 (131・139・250) は少ない。128には、擦り切り痕が残っている。129・130は、たんねんに敲打によって整形後、刃部が研磨されている。248・249の刃部の作り出しは明瞭ではない。131・249は、周縁が打ち欠け整形されたもの。135は、両側縁のほぼ対称の位置にえぐりがある。柄を着装するためのものであろう。ちょうなとして使用された可能性がある。136にも、左側縁に同様なえぐりがある。139と140は、緑色泥岩製で、緑色泥岩製の石斧の破片、礫とともに一か所からまとまって出土したものである。139は、周縁が荒く打ち欠かれ、わずかに敲打による整形が施されたもの。刃部の作りは明瞭ではない。140は、石斧の未製品の可能性ある。石材は、緑色泥岩が圧倒的に多く、わずかに、泥岩、砂岩、片岩、蛇紋岩、珪化木、片麻岩がある。

たたき石 (141~149, 253~263) : 542点出土した。半数以上が破片である。石斧とはほぼ同量を占める。形態は大別して、扁平のものと、球形に近いものがある。敲打痕は、扁平で円形あるいはそれに近い形態のものでは、側縁全周にあるもの (144・145・254・256・258) と、ところどころにあるもの (145~143, 253・255) がある。扁平で長めのものでは、側縁にのみあるもの (148・261) と、敲打により石斧形に整形された礫の先端部にあるもの (147・263) がある。球形に近いものでは、敲打痕が周縁を帯状にめぐるもの (142・146・258) と、ほぼ全面にあるもの (259) がある。262は細い棒状礫の先端が使用されたもの。149はくぼみ石・扁平な安山岩礫の表面に二か所くぼみがあり、裏面では、多数のくぼみが連続して溝状になっている。石材は約半数が緑色泥岩で、ほかに砂岩、珪岩、カンラン岩、安山岩、片麻岩がある。

すり石 (150~154) : 118点出土した。ほとんどが破損品である。IVA4の北海道式石冠 (150~152) が約20%を占める。153と154は、頁岩製で小型・楕円形のもの。153は両側縁の平滑な部分に荒い擦痕がある。また154には、全面にさまざまな方向の擦痕がみられ、敲打痕もある。砥石として分類されるものかもしれない。石材には、安山岩、砂岩、頁岩などが利用されている。

石鋸 (155・156) : 5点出土した。いずれも破損品。155は板状の安山岩を利用しており、刃部の断面はU字状である。156は砂岩製。

砥石 (157~161・264) : 119点出土した。定形的に形が整えられたものは少なく、破損品が多い。砥面に溝があるⅦB1は、破損品に2点あるのみである。158は、三角形の板状のもので、

全面が使用されている。157と158は、平面形が紡錘形で、表裏面にゆるやかに湾曲する砥面がある。161は三角柱状で三面とも使用されている。石材は大半が砂岩である

石錐(162~165): 35点出土したが27点は破片である。162・163は粗く四か所が打ち欠かれた、ⅧA1。164は、長軸方向が打ち欠かれたⅧA2で480gある大型のもの。片麻岩製。

礫に打ち欠きのあるもの(166・167): 3点出土した。うち1点は破損品である。166は扁平な泥岩の側縁を打ち欠き両刃の刃部を作り出したもの。後には敲打痕がある。半円状の磨平打製石器といわれているものであろう。167は緑色泥岩の薄い扁平礫の周縁を打ち欠いて短冊形に整形したもの。片刃であるが、側縁裏面にも調整がある。

石核(265・266): 原石も含めて185点出土している。265・266は黒曜石。

土製品(267・268・279・285~292): 耳飾が多く、そのほとんどが、遺物集中区から出土している。268、285~289は、滑車形耳飾。268・287・288は無文で、286、289は、竹管状工具で刺突文が施されている。287は、穿孔されていない小型の臼形のもの。289は、正・裏面で口径が著しく異なるもの。168はおろし金形土製品、表面には、横走する沈線で区画された中に、刺突文が施されている。285は、土偶の膝から下の部分。写実的で、膝頭、膝下、足首の周囲と爪先に細い棒状工具によって刻み目が施されている。290は輪状の土製品。279、292は土製の玉。292には表面に縄文が施されている。291は、銃弾形の土製品。

石製品(269~278、280~284、293~296): 269~274・277・278・293・294は玉類。硬玉、蛇紋岩、滑石、カンラン岩などで作られている。277・278は蛇紋岩の勾玉。276は滑石製の垂飾。孔は中央からやや一方に偏っている。無数の擦痕が残っている。275は、側縁に溝があり、垂飾の可能性ある。280は、滑石製の塊状耳飾の破片。断面はやや厚めの台形で、中央孔は方形である。284は、石棒の破片を利用したと思われるもので、粘板岩製。側縁に鋸歯状の歯が作り出されている。表面には、斜めに荒い擦痕と、側縁に平行な細かい擦痕がみられる。285は異形石器と称されるもので黒曜石製。人間の形を模した可能性が強い。282も同様な石製品の可能性がある。281はメノウ製で石錐の可能性ある。283はやり先であらう。(遠藤香澄)

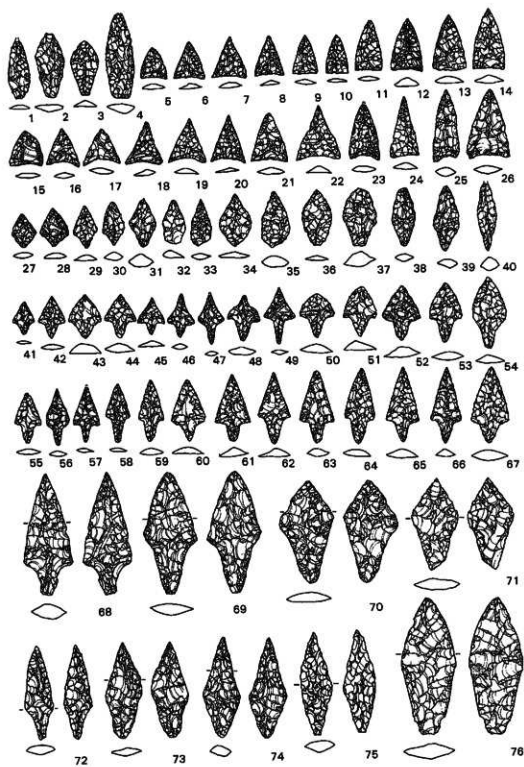


図215 II 黒層出土の石器

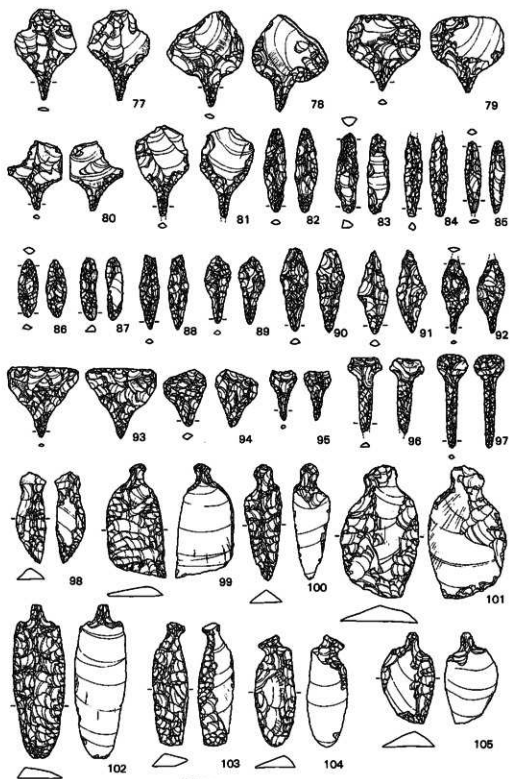


図216 II黒層出土の石器

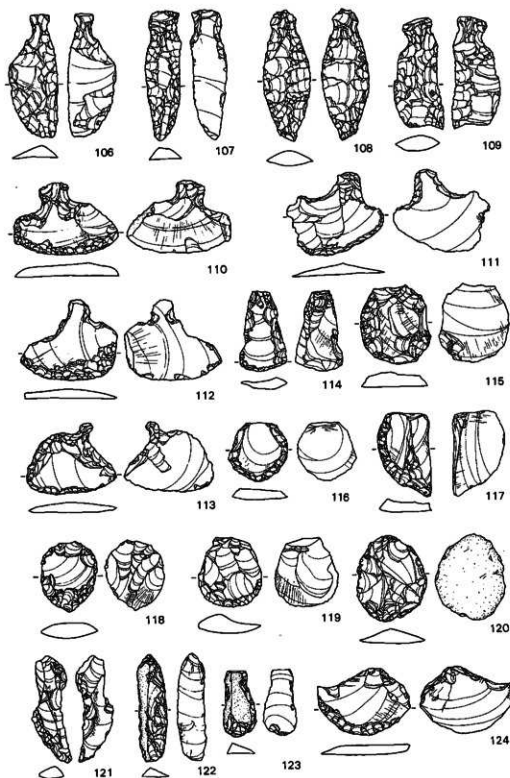


図217 II層出土の石器

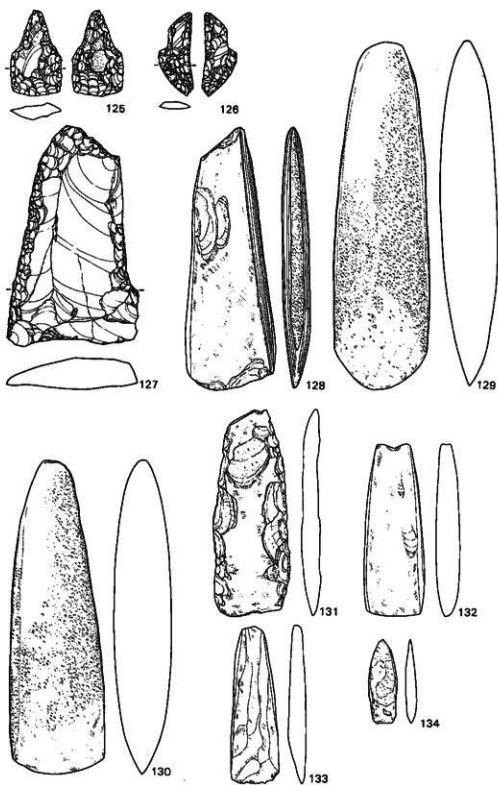


図218 II黒層出土の石器

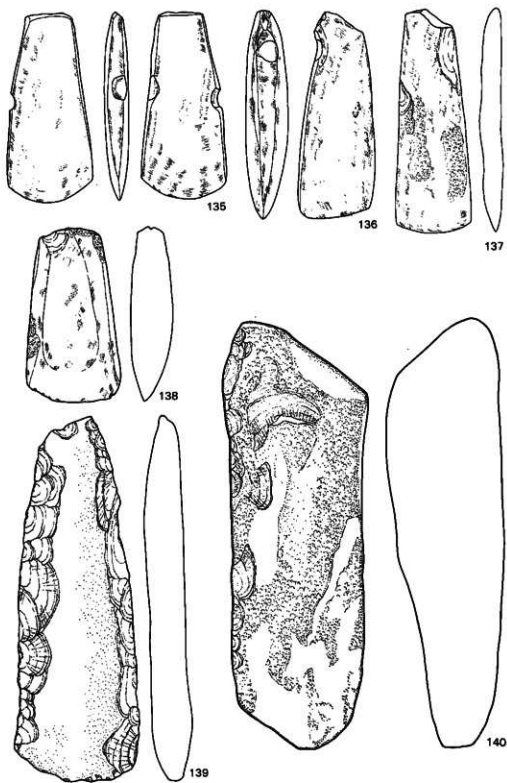


図219 II層出土の石器

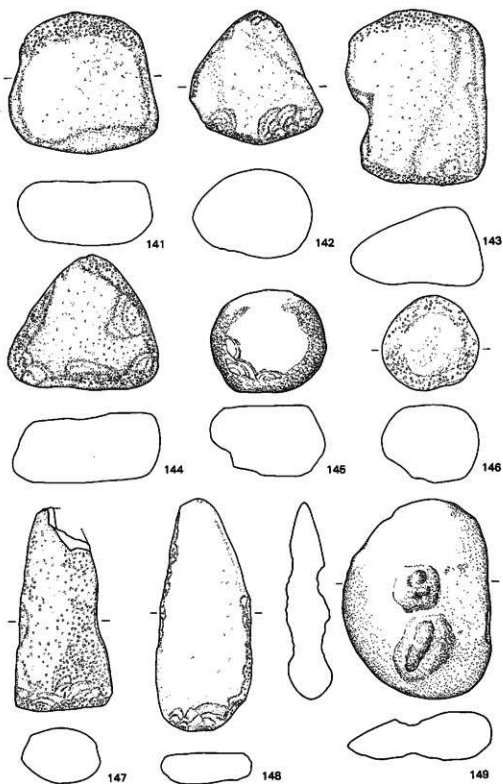


図220 II黒層出土の石器

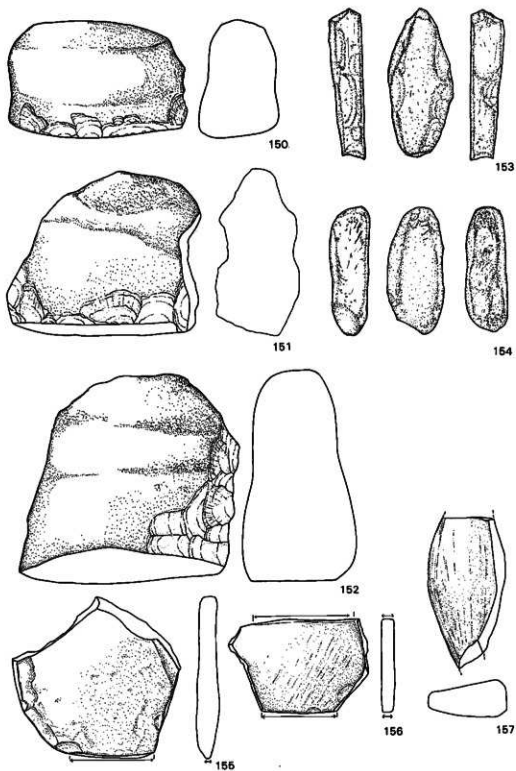


図221 II層出土の石器

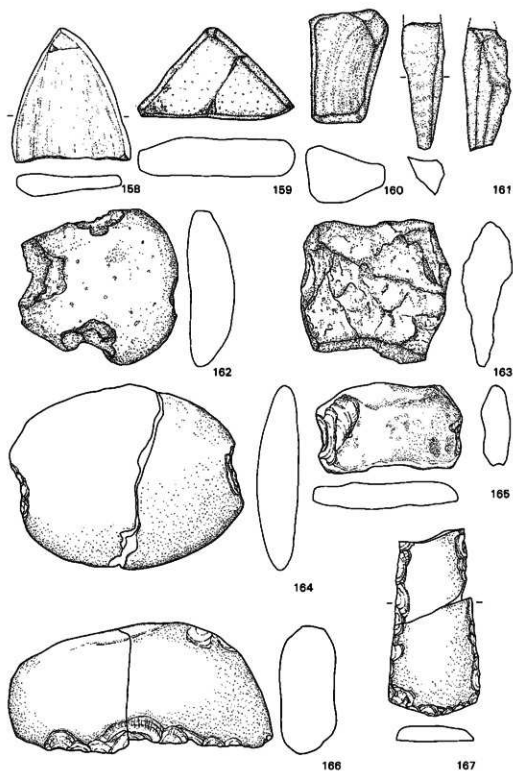


図222 II黒層出土の石器

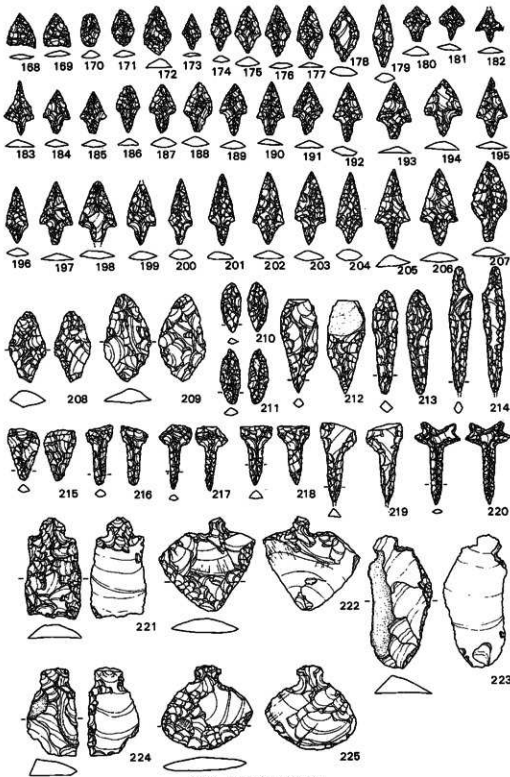


図223 II黒層出土の石器

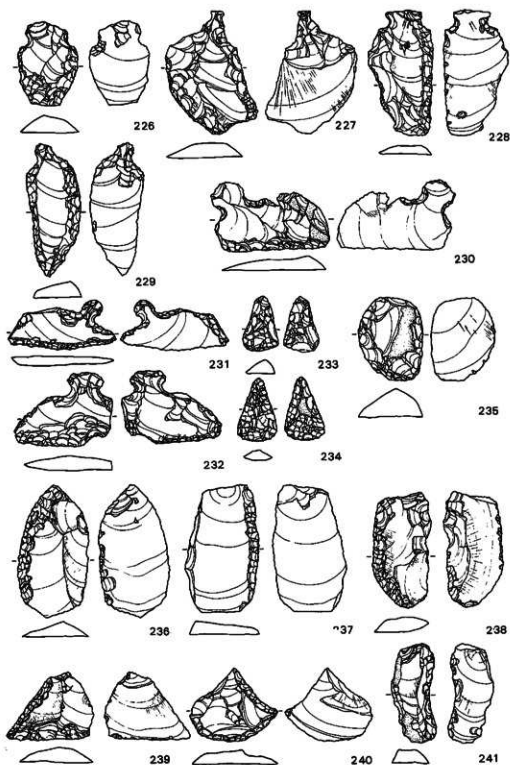


図224 II層出土の石器

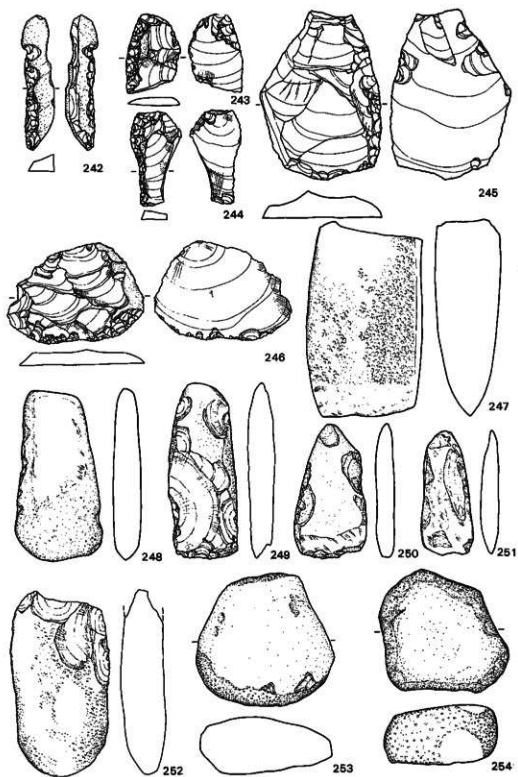


図225 II層出土の石器

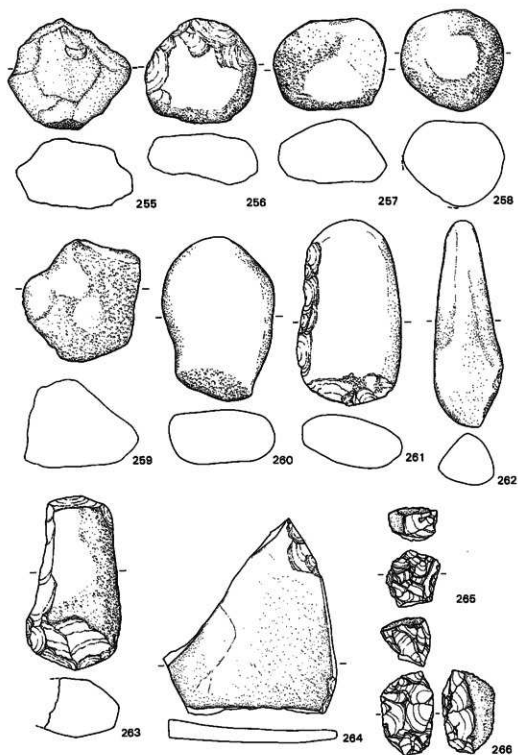


図226 II 黒層出土の石器

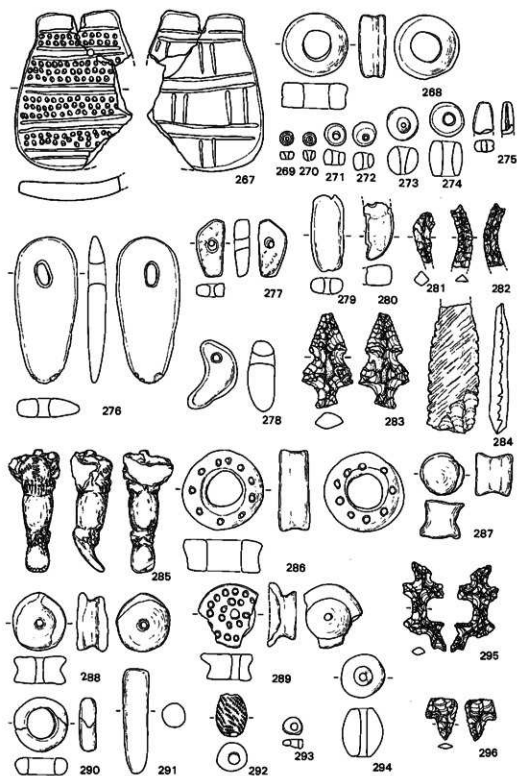


図227 II黒層出土の土・石製品

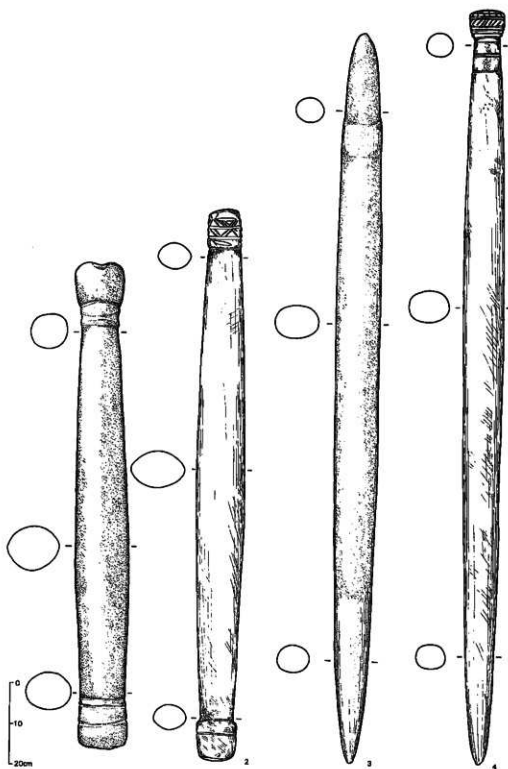


図228 遺構出土の石棒 (1 : X-208 2 : X-302 3 : P-376 4 : X-310)

表7 掲載石群一覧(II黒層)

番号	名称	分類	発見地区	大きさ (cm)	重さ (kg)	材質	番号	名称	分類	発見地区	大きさ (cm)	重さ (kg)	材質
1	石 群	IA2a	Ea-64-98	3.0×1.1×0.2	0.7	Obs.	40	石 群	IA4	Ea-64-69	3.6×1.1×0.7	2.0	Sh.
2	"	IA2b	Ea-64-82	(3.4)×1.5×0.3	(1.5)	"	41	"	IA5	Ea-64-69	(1.7)×1.1×0.3	(0.2)	Obs.
3	"	"	Ea-63-66	3.5×1.5×0.3	1.1	"	42	"	"	Ea-64-69	2.2×1.4×0.3	0.5	"
4	"	IA2a	Ea-64-99	(4.4)×1.5×0.5	(3.4)	"	43	"	"	Ea-64-69	2.3×1.7×0.6	1.6	"
5	"	IA3	Ea-64-45	1.5×1.4×0.3	0.5	"	44	"	"	Ea-64-69	2.3×1.7×0.5	1.2	"
6	"	"	Ea-64-94	1.9×1.7×0.3	0.7	"	45	"	"	Ea-64-69	1.9×1.4×0.3	0.4	"
7	"	"	Ea-64-54	2.3×1.5×0.3	0.8	"	46	"	"	Ea-64-29	2.3×1.4×0.4	0.4	"
8	"	"	Ea-64-53	2.1×1.5×0.3	1.1	"	47	"	"	Fi-64-26	2.6×1.4×0.3	0.4	"
9	"	"	Ea-64-89	2.0×1.3×0.5	0.4	"	48	"	"	Ea-64-25	2.4×1.7×0.5	1.1	"
10	"	"	Ea-63-49	2.5×1.4×0.3	0.9	"	49	"	"	Fi-64-76	2.9×1.6×0.3	0.5	"
11	"	"	Ea-63-89	2.6×1.4×0.3	0.9	"	50	"	"	Ea-64-89	2.3×1.8×0.4	1.1	"
12	"	"	Ea-64-15	2.7×1.7×0.3	1.4	"	51	"	"	Ea-64-89	2.6×1.8×0.5	1.5	"
13	"	"	Ea-64-88	(2.3)×1.8×0.4	(1.7)	"	52	"	"	Ea-64-69	2.9×1.0×0.5	1.5	"
14	"	"	Ea-64-97	3.2×1.7×0.5	1.8	"	53	"	"	Ea-64-79	3.1×2.7×0.6	1.8	"
15	"	"	Ea-64-18	1.8×1.8×0.3	0.9	"	54	"	"	Ea-64-79	3.7×1.8×0.4	2.2	"
16	"	"	Ea-64-05	1.9×1.7×0.3	0.5	"	55	"	"	Ea-64-89	2.7×1.4×0.3	0.7	"
17	"	"	Ea-64-47	1.9×1.9×0.4	0.8	"	56	"	"	Fi-64-85	3.0×1.2×0.3	0.7	"
18	"	"	Ea-64-65-21	2.3×2.4×0.4	0.9	"	57	"	"	Fi-64-39	2.9×1.4×0.3	0.5	"
19	"	"	Ea-64-99	2.3×2.0×0.3	0.6	"	58	"	"	Fi-64-87	3.1×1.2×0.3	0.7	"
20	"	"	Ea-64-54	2.5×1.8×0.3	0.9	"	59	"	"	Ea-63-76	3.2×1.4×0.4	1.1	"
21	"	"	Ea-63-86	2.0×2.0×0.4	1.4	"	60	"	"	Ea-64-99	3.2×1.8×0.4	1.7	"
22	"	"	Ea-63-68	2.8×2.3×0.4	1.3	"	61	"	"	Ea-64-69	3.5×1.9×0.5	1.7	"
23	"	"	Fi-64-17	2.9×1.6×0.4	1.6	"	62	"	"	Ea-64-99	3.7×1.8×0.5	2.2	"
24	"	"	Ea-63-79	3.3×1.6×0.4	1.8	"	63	"	"	Ea-64-69	3.8×1.8×0.5	1.6	"
25	"	"	Ea-63-35	3.6×1.3×0.5	2.3	"	64	"	"	Ea-64-99	4.0×1.6×0.4	1.4	"
26	"	"	Ea-64-15	3.6×2.3×0.6	3.5	"	65	"	"	Ea-64-79	4.0×1.7×0.6	1.9	"
27	"	IA4	Ea-64-79	1.8×1.2×0.3	0.4	"	66	"	"	Ea-64-19	4.0×1.6×0.4	1.9	"
28	"	"	Ea-64-79	2.0×1.5×0.3	0.5	"	67	"	"	Ea-64-89	4.0×2.0×0.8	4.1	Che.
29	"	"	Ea-63-29	2.2×1.2×0.3	0.4	"	68	やが先 はアイウ	IB1	Ea-64-99	6.3×2.6×0.9	11.0	Obs.
30	"	"	Ea-64-69	2.3×1.2×0.4	0.7	"	69	"	"	Fi-64-17	5.4×2.8×0.7	8.8	"
31	"	"	Ea-64-09	2.9×1.9×0.7	1.9	Sh.	70	"	"	Fi-64-17	5.4×2.8×0.7	7.3	"
32	"	"	Ea-64-19	3.0×1.7×0.5	1.7	Obs.	71	"	"	Ea-64-64	4.8×2.5×0.7	5.7	"
33	"	"	Ea-64-19	2.4×1.1×0.3	0.8	"	72	"	"	Ea-64-19	4.9×1.6×0.5	3.0	"
34	"	"	Ea-63-95	2.7×1.6×0.3	0.8	"	73	"	IB2	Ea-64-28	5.0×1.8×0.7	4.7	"
35	"	"	Ea-64-15	2.9×1.5×0.6	2.3	"	74	"	"	Fi-64-06	5.3×2.0×0.8	5.5	"
36	"	"	Ea-64-05	2.9×1.6×0.3	1.3	"	75	"	"	Ea-63-88	5.4×1.3×0.7	4.7	"
37	"	"	Ea-64-89	3.1×1.7×0.8	4.0	Sh.	76	"	IB1	Fi-64-85	7.2×2.8×0.8	15.7	Che.
38	"	"	Ea-64-58	2.9×1.2×0.6	1.5	Obs.	77	石 群	IIA1	Ea-64-64	4.8×3.3×0.7	5.6	Obs.
39	"	"	Ea-64-21	3.3×1.4×0.6	1.9	"	78	"	"	Ea-63-85	5.0×4.0×1.0	10.5	"

III 美々4遺跡の調査

番号	名称	分類	発掘区	大きさ	高さ	材質	発掘番号	名称	分類	発掘区	大きさ	高さ	材質
79	石 盤	IIA1	E1-64-64	(3.9)X3.9X 1.0	(11.1)	Obs.	III スクレイパー	III B3	E1-64-69	3.8X 3.5X 1.2	14.2	Che.	
80	"	"	E1-64-54	3.7X 3.0X 0.7	4.3	"	III "	"	E1-64-78	4.5X 3.7X 1.2	15.7	Sh.	
81	"	"	E1-64-46	4.7X(2.7)X0.5	(5.9)	"	III "	"	E1-64-99	5.7X 1.8X 0.6	6.6	Obs.	
82	"	IIA2	E1-64-54	4.4X 1.2X 0.6	2.9	Sh.	III "	"	E1-64-99	5.7X 1.5X 0.7	5.7	"	
83	"	"	F1-64-15	4.2X 1.1X 0.8	3.1	Obs.	III "	"	E1-64-96	3.5X 1.7X 0.7	4.7	"	
84	"	"	E1-64-75	4.3X 0.9X 0.5	2.0	"	III "	"	E1-64-69	3.4X 4.9X 0.6	13.5	Sh.	
85	"	"	E1-64-75	3.8X 0.8X 0.4	1.0	Sh.	III "	III B1	E1-64-99	4.5X 2.8X 0.9	8.0	Obs.	
86	"	"	F1-64-37	3.0X 1.0X 0.5	1.8	Che.	III "	III B3	E1-64-54	4.4X 1.8X 0.5	2.9	"	
87	"	"	E1-64-75	4.3X 1.9X 0.5	1.5	Obs.	III "	"	E1-64-18	11.8X 7.0X 1.5	150.0	Che.	
88	"	"	E1-64-47	3.9X 1.0X 0.6	2.0	Per-Wood	III 石 斧	WA1	E1-63-35	13.5X 4.8X 1.8	195.0	Gr-Mod.	
89	"	"	E1-64-99	3.6X 1.4X 0.8	3.4	Che.	III "	WA1	E1-64-10	18.2X 5.2X 3.1	470.0	"	
90	"	"	E1-63-87	4.4X 1.4X 0.8	3.6	Obs.	III "	"	E1-64-00	16.7X 5.3X 3.1	475.0	"	
91	"	"	E1-64-25	4.3X 1.5X 0.9	5.2	Che.	III "	WA3	F1-64-36	10.8X 4.1X 1.2	87.2	"	
92	"	IIA3	E1-64-55	(3.9)X1.4X 0.5	(2.3)	Obs.	III "	WA5	F1-64-26	9.3X 3.3X 1.5	90.0	"	
93	"	"	E1-64-98	3.7X 3.7X 0.7	5.4	"	III "	"	E1-64-69	8.4X 2.5X 1.2	42.8	"	
94	"	"	E1-64-66	2.7X 2.2X 0.9	4.8	Che.	III "	"	E1-64-99	4.5X 1.6X 0.5	6.1	"	
95	"	"	E1-64-44	2.5X 1.4X 0.4	0.9	Obs.	III "	"	E1-64-98	10.1X 4.5X 1.4	105.0	"	
96	"	"	E1-64-69	3.9X 1.8X 0.4	1.8	Sh.	III "	"	E1-64-53	11.1X 4.3X 2.1	165.0	"	
97	"	"	F1-64-59	4.9X 1.6X 0.6	2.2	Obs.	III "	"	E1-63-09	11.9X 4.0X 1.3	106.0	"	
98	つまみ付 ナイフ	IIA1	E1-64-45	4.8X 1.8X 0.7	5.2	"	III "	"	E1-63-29	9.3X 5.0X 2.5	203.0	"	
99	"	"	E1-64-29	5.6X 3.0X 0.5	11.8	Che.	III "	WA3	F1-64-17	19.0X 6.9X 2.4	510.0	"	
100	"	IIA2	E1-64-79	6.1X 2.0X 0.7	6.0	Sh.	III "	WA-	F1-64-17	22.3X 8.0X 5.4	1,650.0	"	
101	"	IIA3	E1-64-54	7.0X 4.2X 1.0	26.4	Obs.	III たたき石	VA	E1-64-29	7.3X 7.8X 3.4	373.0	"	
102	"	IIA2	E1-64-55	8.2X 2.7X 0.7	17.0	Che.	III "	"	F1-64-27	7.0X 7.1X 5.2	350.0	Per.	
103	"	"	E1-63-85	6.6X 1.9X 0.7	8.4	Obs.	III "	"	E1-64-19	9.3X 7.4X 4.9	65.6	"	
104	"	IIA3	E1-64-35	5.9X 2.1X 0.7	9.6	Che.	III "	"	F1-64-09	7.5X 7.5X 3.5	347.0	"	
105	"	"	E1-64-48	4.9X 2.8X 0.8	10.7	"	III "	"	E1-64-57	6.1X 5.6X 3.5	190.0	Gr-Mod.	
106	"	"	E1-63-85	6.6X 2.5X 0.8	11.9	Obs.	III "	"	E1-64-19	5.0X 5.3X 4.2	159.0	Per.	
107	"	"	E1-64-69	6.9X 2.0X 0.7	10.6	"	III "	"	E1-64-18	10.7X 5.3X 3.0	265.0	Gr-Mod.	
108	"	IIA4	E1-64-54	6.9X 2.5X 0.8	15.0	Che.	III "	"	E1-63-87	12.2X 5.1X 1.6	176.0	"	
109	"	"	E1-63-89	5.8X 2.5X 0.9	13.7	"	III "	"	E1-64-89	7.9X 10.3X 3.0	211.0	Sa.	
110	"	IIA5	E1-64-69	3.8X 5.6X 0.9	16.1	Obs.	III すり石	WA4	E1-64-70	(8.6)X5.0X 6.5	(620.0)	Gai.	
111	"	"	E1-64-69	4.2X 5.1X 0.8	13.2	Sh.	III "	"	E1-64-60	8.0X 10.3X 5.8	713.0	Sa.	
112	"	"	E1-64-17	4.3X 5.2X 0.6	9.5	Obs.	III "	"	E1-64-78	11.0X 12.3X 7.5	305.0	And.	
113	"	"	E1-64-38	3.7X 4.8X 1.0	12.4	Che.	III "	WA-	E1-64-69	7.7X 3.5X 1.8	65.0	Sh.	
114	スクレイパー	III B1	E1-64-11	4.2X 2.5X 0.6	5.6	Obs.	III "	"	E1-64-89	6.7X 3.2X 2.2	60.0	"	
115	"	III B2	E1-64-34	4.5X 4.0X 1.2	15.0	"	III 石 盤	WA1	E1-64-60	(8.9)X8.3X 1.3	(120.0)	And.	
116	"	"	E1-64-69	3.15X 3.0X 0.6	7.2	Che.	III "	"	F1-64-49	(7.4)X5.1X 0.6	(37.7)	Sa.	
117	"	III B3	E1-64-69	4.2X 2.8X 1.0	10.7	Obs.	III 砥 石	III B3	E1-64-57	(8.1)X4.3X 1.9	(80.0)	"	
118	"	III B2	E1-63-87	3.8X 3.2X 0.3	10.8	"	III "	"	E1-64-60	(6.8)X6.2X 1.4	(60.0)	"	

番号	名称	分類	発掘区	大きさ (m)	高さ (m)	材質	番号	名称	分類	発掘区	大きさ (m)	高さ (m)	材質
1	埋石	ⅡB2	E1-64-08	8.5X 4.5X 2.1	90.0	Sa.	20	埋石	ⅡA5	E1-64-09	3.9X 1.5X 0.4	0.8	Obs.
2	■	■	E1-64-79	6.1X 4.5X 3.2	97.8	■	21	■	■	E1-64-09	3.5X 1.3X 0.6	1.7	■
3	■	■	E1-64-25	(6.5)X(2.5)X(2.0)	(31.5)	■	22	■	■	E1-64-09	3.8X 1.4X 0.5	1.5	■
4	埋石	ⅡA1	E1-64-27	8.3X 8.9X 2.5	235.0	And.	23	■	■	E1-64-19	3.8X 1.7X 0.5	1.5	Sh.
5	■	■	E1-64-87	8.1X 7.3X 3.0	215.0	Sa.	24	■	■	E1-64-09	3.8X 1.7X 0.6	2.1	Obs.
6	■	ⅡA2	E1-63-48	11.8X 9.9X 2.3	480.0	Gwl.	25	■	■	E1-64-08	3.7X 1.4X 0.6	2.0	Obs.
7	■	■	E1-63-58	7.5X 4.6X 1.5	66.9	And.	26	■	■	E1-64-19	4.2X 1.9X 0.7	2.7	■
8	打ち込みのあき	ⅡB	E1-64-08	14.0X 7.0X 3.1	420.0	Sa.	27	■	■	E1-64-09	4.0X 2.0X 0.6	2.4	Obs.
9	■	■	E1-64-82	9.7X 5.1X 0.9	81.1	Gr-Mud.	28	■	■	E1-64-09	4.2X 2.0X 0.5	2.8	■
10	埋石	ⅡA3	E1-64-38	1.9X 1.5X 0.3	0.5	Obs.	29	つみみ付はナイフ	ⅡB1	E1-64-09	3.7X 1.9X 0.9	4.9	■
11	■	■	E1-64-99	1.8X 1.4X 0.3	0.3	■	30	■	■	E1-64-09	4.8X 2.5X 0.9	7.2	■
12	■	ⅡA4	E1-64-99	1.8X 1.0X 0.5	1.0	Obs.	31	埋石	ⅡA2	E1-64-09	2.7X 1.2X 0.8	2.0	■
13	■	■	E1-64-09	1.9X 1.2X 0.4	0.9	Obs.	32	■	■	E1-64-19	2.9X 1.1X 0.6	1.7	■
14	■	■	E1-64-09	2.5X 1.5X 0.5	1.2	■	33	■	ⅡA1	E1-64-08	5.0X 2.0X 1.3	8.7	Obs.
15	■	■	E1-64-19	1.9X 1.0X 0.2	0.35	■	34	■	ⅡA2	E1-64-98	5.4X 1.4X 1.0	6.7	■
16	■	■	E1-64-09	2.3X 1.1X 3.5	0.55	■	35	■	■	E1-64-08	6.7X 1.2X 0.6	5.5	■
17	■	■	E1-64-98	2.4X 1.4X 0.5	1.1	Obs.	36	■	ⅡA1	E1-64-08	2.7X 1.7X 1.0	3.9	■
18	■	■	E1-64-99	2.7X 1.3X 0.4	0.9	Obs.	37	■	ⅡA3	E1-64-09	2.9X 1.5X 0.5	2.0	■
19	■	■	E1-64-09	1.8X 1.8X 0.5	1.0	■	38	■	■	E1-64-09	3.4X 1.8X 0.7	1.8	Obs.
20	■	■	E1-64-19	2.9X 1.6X 0.5	2.6	■	39	■	■	E1-64-09	3.1X 1.7X 0.5	1.6	Sh.
21	■	■	E1-64-09	3.2X 1.1X 0.5	1.2	■	40	■	■	E1-64-08	4.2X 2.0X 0.7	3.5	■
22	■	ⅡA5	E1-64-09	1.8X 1.4X 0.5	(0.81)	■	41	■	■	E1-64-09	4.3X 2.4X 0.2	1.6	■
23	■	■	E1-64-99	1.7X 1.3X 0.3	0.4	■	42	つみみ付はナイフ	ⅡA3	E1-64-99	5.3X 3.0X 0.9	15.6	Obs.
24	■	■	E1-64-09	1.7X 1.4X 2.5	(0.3)	■	43	■	■	E1-64-09	5.1X 5.2X 1.0	17.2	■
25	■	■	E1-64-98	2.9X 1.6X 0.4	0.65	■	44	■	■	E1-64-09	7.1X 3.5X 0.9	18.9	Sh.
26	■	■	E1-64-79	2.3X 1.4X 0.4	0.8	■	45	■	■	E1-64-09	4.7X 2.7X 0.9	12.6	Obs.
27	■	■	E1-64-99	2.2X 1.4X 0.4	0.7	■	46	■	■	E1-64-09	4.6X 4.9X 0.8	15.7	Obs.
28	■	■	E1-64-09	2.5X 1.3X 0.5	1.0	■	47	■	■	E1-64-09	4.5X 3.2X 0.8	12.3	Obs.
29	■	■	E1-64-79	2.5X 1.4X 0.5	1.1	■	48	■	■	E1-64-09	6.5X 4.0X 1.0	28.0	Obs.
30	■	■	E1-64-09	2.6X 1.5X 0.5	1.6	■	49	■	■	E1-64-09	6.7X 3.5X 0.7	13.5	■
31	■	■	E1-64-99	2.2X 1.5X 0.5	1.1	■	50	■	■	E1-64-09	7.0X 2.7X 0.7	18.9	Obs.
32	■	■	E1-64-99	2.8X 1.4X 0.3	0.7	■	51	■	ⅡA5	E1-64-09	3.7X 6.1X 0.8	16.0	■
33	■	■	E1-64-99	2.7X 1.6X 0.3	0.7	■	52	■	■	E1-64-09	5.7X 1.4X 0.5	8.4	Obs.
34	■	■	E1-64-99	3.1X 1.5X 0.5	1.2	■	53	■	■	E1-64-09	3.9X (5.2)X 0.9	(15.9)	■
35	■	■	E1-64-09	3.0X 2.8X 0.3	1.1	■	54	スクリュー	ⅡB1	E1-64-99	3.0X 2.0X 0.8	3.6	■
36	■	■	E1-64-99	3.0X 0.2X 0.5	2.0	■	55	■	■	E1-64-99	3.3X 2.1X 0.7	3.9	■
37	■	■	E1-64-99	3.1X 1.6X 0.4	1.0	■	56	■	ⅡB2	E1-64-08	4.4X 3.5X 1.8	26.6	■
38	■	■	E1-64-09	3.9X 1.5X 0.4	0.8	■	57	■	ⅡB3	E1-64-19	7.0X 3.8X 1.1	24.7	■
39	■	■	E1-64-99	3.3X 1.8X 0.5	1.4	■	58	■	■	E1-64-09	6.7X 3.7X 0.4	19.8	Sh.
40	■	■	E1-64-09	3.2X 2.0X 0.6	2.4	■	59	■	■	E1-64-09	6.0X 3.1X 1.0	18.1	Obs.

III 美々4遺跡の調査

番号	名称	分類	発掘区	大きさ	厚さ	材質	番号	名称	分類	発掘区	大きさ	厚さ	材質
128	スプレ イパー	III B3	E1-64-09	4.8X 3.2X 0.8	8.9	Obs.	129	石製品 勾玉	E1-64-20	3.8X 1.7X 1.5	15.3	Ser.	
130	#	#	E1-64-08	4.7X 3.4X 0.7	10.9	Obs.	131	土製品 玉	E1-64-09	4.1X 1.8X 0.9	6.1		
132	#	#	E1-64-09	5.1X 2.1X 0.8	12.8	Obs.	133	石製品 珠状玉	E1-64-22	(3.0)X1.5X 1.1	(7.1)	Ta.	
134	#	#	E1-64-09	7.1X 1.5X 0.9	11.0	#	135	#	F1-64-09	2.6X 0.9X 0.85	2.2	Ag.	
136	たたき 石	VA	E1-64-09	9.9X 3.7X 2.6	140.0	Gr-Mud.	137	#	E1-64-09	3.3X 0.8X 0.4	1.3	Obs.	
138	#	#	E1-64-79	5.1X(5.2)X3.3	(340.0)	#	139	#	E1-64-08	4.9X 2.2X 0.9	7.5	#	
140	砥石	III B2	E1-64-09	10.4X 9.0X 0.7	100.0	Sa.	141	#	E1-64-09	6.9X 2.2X 0.8	21.3	Sl.	
142	石 杖	III A	E1-64-09	3.1X 3.0X 2.05	18.3	Obs.	143	土製品 土 筒	E1-64-09	6.4			
144	#	#	E1-64-09	4.7X 2.9X 2.3	32.5	#	145	#	耳 飾	E1-64-09	径 4.2X 1.7		
146	土製品 板状玉	E1-64-09	8.4X(5.2)X1.3	(80.0)			147	#	E1-64-25	径 2.3X 1.9			
148	#	耳 飾	F1-64-79	3.4X 1.4	13.9		149	#	E1-64-25	径 3.0X 1.6			
150	石製品 玉	E1-64-08	径 0.7X 0.5	0.3	Jad.		151	#	E1-64-09	径 3.4X 1.4			
152	#	#	E1-64-79	径 0.7X 0.5	0.3	#	153	#	E1-64-19	径 2.8X 0.8			
154	#	#	E1-64-06	径 1.2X 0.8	1.5	#	155	#	E1-64-09	5.5X 1.2X 1.4	12.4		
156	#	#	E1-64-08	径 1.3X 1.0	1.8	#	157	#	E1-64-09	径 1.6X 2.3			
158	#	#	E1-64-08	径 1.7X 1.5	7.0	#	159	石製品 玉	E1-64-19	径 1.0X 0.5		Ser.	
160	#	#	E1-64-78	径 1.7X 1.5	9.3	#	161	#	E1-64-09	径 2.3X 2.6		#	
162	#	#	E1-64-08	1.7X 1.0X 0.6	1.8	#	163	耳 飾	E1-64-09	4.9X 2.1X 0.5		Obs.	
164	#	垂飾	E1-64-09	7.7X 3.4X 1.0	35.3	Ta.	165	#	E1-64-09	2.1X 1.6X 0.4	1.0	#	
167	#	勾玉	E1-63-16	3.0X 1.5X 0.7	5.0	Ser.							

付1 美々4遺跡出土人骨について

札幌医科大学第二解剖学教室 鈴木 隆 雄

本遺跡において発見され、今回筆者の手に届けられたのは全部で9体の人骨である。そのうち2体(X-208, X-213)は周墳墓(X-2)の内部から出土したものであり、他の7体(P-59, P-301, P-316, P-379, P-399, P-400, P-402)はそれ以外の墓域から出土したものである。

これらの出土人骨は概して保存が不良であり、中には細片化した骨片や歯片のみしか認められないものもあった。また、P-379号頭蓋のように発掘の段階では頭蓋の輪郭を認め得たものの、骨質が極めて柔らかいために、その後の研究室内での発掘後処理過程で細片化の避けられなかったものも存在している。

表-1は美々4遺跡出土人骨一覧であり、保存状態、性別、年齢などについて掲載した。次に各個体について形質人類学的記載を行なってゆく。

表-1 美々4遺跡出土人骨一覧

No	人 骨	発 掘 区	伴出遺物	時 期	性・年齢	主たる残存部位	特 徴
1)	X-208	X-2(周墳墓)内	石棒1本	縄文後期	男性 成年	左上顎骨、左側頭骨、下顎骨	ベンガラ付着
2)	X-213	X-2(周墳墓)内	な し	"	男性 熟年	頭頂骨、後頭骨、側頭骨、下顎骨	ベンガラ付着
3)	P-59	E ₂ -64-44	土師2個 垂飾1個	縄文晩期	? ?	骨細片、歯牙細片	一部焼痕(?)
4)	P-301	F ₁ -64-39	な し	縄文後期?	? 成年(?)	下顎破片、骨小破片、歯冠	
5)	P-316	E ₁ -64-61	櫛1個 石斧3本	縄文晩期?	? 成年(?)	下顎骨、右側頭骨破片	
6)	P-379	E ₁ -64-99	な し	縄文後期?	? 成年	頭蓋冠破片、歯冠	
7)	P-399	E ₁ -63-98	貝製玉 4個	"	? 成年(?)	左大腸骨近位端	
8)	P-400	E ₁ -63-98	な し	?	? 成年	右側頭骨、後頭骨底部	
9)	P-402	E ₂ -63-32	な し	?	? 成年(?)	右上顎歯槽部、下顎骨破片	

1) X-208号人骨(写真 i)

保存不良である。残存する部位は左上顎骨の一部、左側頭骨および下顎骨が主たるもので、あとは細片化した頭蓋部分の骨片十数個である。歯牙は残存する上顎骨および下顎骨片に次の歯式の如く残っている。抜歯の有無は不明である。

式	^(M) ^(C) ^(C) M ₃ M ₂ M ₁ / / / / /	^(C) ^(C) ^(C) ^(M) P ₂ M ₁ M ₂ M ₃
	^(M) ^(C) ^(C) ^(M) M ₃ M ₂ M ₁ P ₂ / / / / /	^(M) ^(M) ^(C) ^(C) ^(C) ^(C) C P ₁ P ₂ M ₁ M ₂ M ₃

記：/：歯槽・歯牙とも破損消失

(×)：歯槽残存・歯牙消失

(○)：歯槽・歯牙とも残存

(●)：未萌出

この他に遊離歯として、切歯と同定出来るもの2本および小白歯と同定できるもの1本が残っている。

残存する頭蓋骨片には、ベンガラと推定される赤色が付着している。

性および年齢の推定は、下顎骨体が頑丈であること、乳様突起の発達が比較強いことなどから男性と判定され、年齢については歯牙の咬耗特に大白歯群の咬耗が「中等度(Broca II)」であることから成年と考えられる。

計測可能な項目は少なく、わずかに下顎における枝高および枝幅のみである。

Martin's No.

mm

70 Asthöhe (I) (54)

71 Astbreite (I) 34

70:71 Index des Unterkiefer-astes (63.0)

残存する左側頭骨で乳様突起の発達は良好である。外耳道骨腫はない。下顎窩関節面に異常なし。左上顎骨で上顎洞内に異常なし。下顎骨で同側のオトガイ孔は1対存在し、副オトガイ孔は認められない。下顎隆起なし。顎舌骨筋神経溝の骨橋は認められない。

2) X-213号人骨(写真 ii)

頭蓋および頸椎の一部が残存する。保存は今回観察された美々4遺跡出土人骨のなかで最も良好であり、頭頂骨、後頭骨、側頭骨および下顎骨の比較的大きな破片が残存するが復元は不可能であった。頭骨片にはX-208と同様、ベンガラと推定される赤色の付着が認められた。

本個体の性および年齢について、残存する左側頭骨乳突部はよく発達し、また後頭骨外後頭隆起もよく突出することなどから、本個体は明らかに男性と推定される。また、頭蓋冠における三主縫合の観察は不能であったが、残存する歯牙の保存状態は良好で、いずれにも咬耗が認められ、特に上・下顎大白歯ではBroca IIに達している。恐らく壮年から熟年にあったものと推

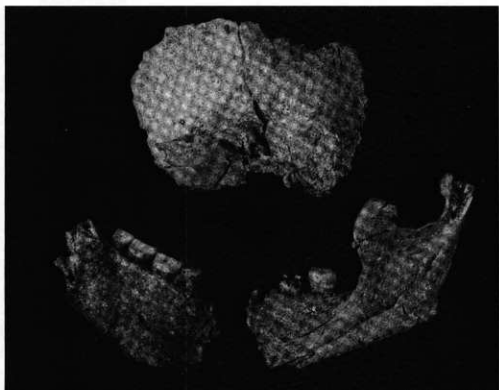


写真 i X-208

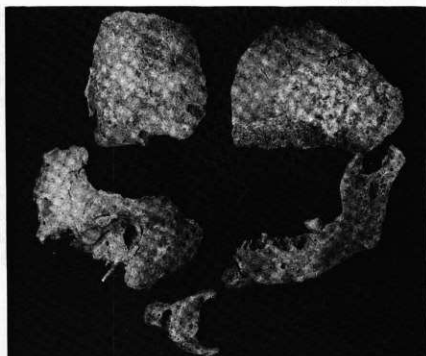


写真 ii X-213

表-2 X-213号頭蓋における
非計測的変異形質

形 質	右	左
内側口蓋管骨橋	/	-
舌下神経管二分	+	-
顎管欠如	/	-
鼓室骨裂孔	/	+
眼眶上縁孔	/	-
顎舌骨筋神経溝骨橋	/	-
副オトガイ孔	/	-
ヴェザリウス孔	/	-
額頂切痕骨	/	-
インカ骨	-	-

/: 観察不能

+: 存 在

-: な し

定される。

計測可能な項目はX-208号人骨と同様、下顎における枝高および枝幅のみであった。

Martin's No.		mm
70 Asthöhe	(1)	(60)
71 Astbreite	(1)	33
70:71 Index des Unterkiefer- astes		(55.0)

また残存する頭蓋各部から幾つかの非計測的変異形質の有無を観察出来たので表-2にかかげる。

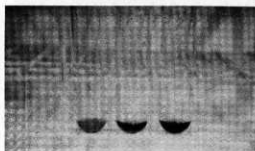
本個体では頭蓋片の他に第1頸椎(環椎)および第2頸椎(軸椎)の破片が残存しているが、就中、環椎左側椎骨動脈溝には明瞭に骨橋形成(Ponticulus posterior)が認められた。また軸椎左下関節面には著しい椎間関節症の所見、即ち関節表面の凸凹不整、多孔、辺縁骨増殖などが出現していた。

3) P-59号人骨

小さな骨細片約10個および破損し完形を示さない歯牙のエナメル質部分十数個を残すのみである。いずれについても観察はまったく不可能であり、性別・年齢の推定なども出来ない。

残存する歯牙はいずれも表面が黒っぽく変色し、一部硬化した状態で、火に焼かれたような感じを受ける。しかし、わずかに残る小さな骨片はほぼ正常のように思われ、焼成を示す所見はない。埋葬人骨に於いて歯牙だけが焼成を受けることは不自然であり、その証明も極めて困難な場合が多いが、一応大雑把な確認だけは行なった。

即ち、Herrmannによれば、不完全焼骨の場合(臨界温度700~800度)、骨に含まれる蛋白質や脂肪などの有機成分の焼成が不充分のため、骨表面の広範な部分に炭素(C)が付着することが指摘されている。従ってP-59号人骨歯牙に認められた焼成を思わせる黒色変化がもし炭素



写真iii

成分であるとするならば、それらは硫酸などによる加熱加水分解によって、ある程度証明出来るであろうと考えられたので、次のような実験を行なった。

実 験

目的: P-59号人骨歯牙に付着した焼成によ

る炭素成分によると考えられる黒色変化の解析

試料：a) 現代人エナメル歯冠（未焼成）

b) 美々4遺跡出土P-379号人骨歯冠（未焼成）

c) 美々4遺跡出土P-59号人骨歯冠（焼成？）

方法：① a), b), c)各試料を10規定の濃硫酸2mlに入れる。

② それらを160℃で1時間加熱する。

③ その後、過酸化水素水（30%）を数滴加え、200℃で20分加熱する。

結果：硫酸による加熱で、各々の歯牙の有機成分あるいは炭素成分の加水分解によって褐色から黒褐色の濁液が形成された。それらの色調濃度は肉眼で明瞭に異なり、a), b), c)の順に濃度が増し、c)試料は最も黒褐色を呈した（写真iii）。

次にこれらの各々に H_2O_2 を混入するといずれも白濁の後透明となった。

以上の実験から、a), b), c)各試料とも明らかに炭素系成分が含まれており、かつ、P-59号人骨黒色歯牙における炭素系成分含有量が最も多かったことを推定させる。恐らく、P-59号人骨歯牙には他の普通の歯牙とは炭素系成分の含有量について異なる状態であることが判る。しかし、このことは、土壌の状態を含む人骨の周囲環境にも大きく影響されうであろうから、この結果が必ずしも焼成によるものと断定は出来ないが、可能性は高いものと思われる。

4) P-301号人骨

下顎枝の破片、頭蓋の小破片、軸椎歯突起部分およびエナメル歯冠部分数個を残存する。保存状態は不良である。残存する大臼歯での咬耗は Broca II' である。両側舌下神経管も観察されるが2分傾向はない。右側頭骨下顎窩の部分も残るが関節面に特記すべきことなし。

5) P-316号人骨

極めて保存不良な下顎骨右半分、右側頭骨破片および頭蓋小骨片が数個残存するのみである。計測可能な項目はなし。

右側頭骨下顎窩後面にフシケ孔が存在する。外耳道骨腫は出現していない。乳様突起部は破損消失。

下顎骨はやや小さい。右第1および第2大臼歯残存する。咬耗は中等度（Broca II'）

6) P-379号人骨

ほぼ完全な輪郭をもつ頭蓋が発見されていたが、骨質は腐蝕し極めてもうろく壊れ易いため、頭蓋骨破片約20個とエナメル歯冠20個を保存しえたに過ぎない。

頭蓋片にはベンガラ等の色付着はない。

性別および年齢の推定は困難であるが、年齢は歯冠における咬耗が Broca I-II' であり、成年期

に達していることは間違いない。

計測項目なし、また非計測的変異形質も観察可能なものはなかった。

残存する歯牙は全て象牙質ならびに歯根が溶解消失し、エナメル歯冠部を残しているにすぎないが、咬耗の状態などは比較的明瞭に観察される。歯種の間定も行ない得たが、それについては次の歯式にまとめた。

$$\frac{M_3 M_2 M_1 / P_1 / / / /}{M_3 M_2 M_1 / P_1 / / / /} \quad \frac{I_2 C P_1 P_2 M_1 M_2 M_3}{I_2 / / P_2 M_1 M_2 M_3}$$

/: 歯牙の消失したもの

7) P-399号人骨

残存するのは左大腿骨近位骨端および近位骨幹部であり、あとは左寛骨臼部分がごくわずかに破片として残っている。保存は不良。

寛骨臼部分は破片で観察すべき点も少ないが、関節部に加齢の変化を認めない。

大腿骨で骨頭は後面が破損消失している。やや小さい。頸も比較的きしゃである。大転子では中程度に発達する。転子窩は深くない。小転子は破損消失。

計測出来たのは次の項目のみである。

Martin's No.	mm
15 Vertikaler Durchmesser des Collum	26
16 Sagittaler Durchmesser des Collum	21
16:15	80.76
19 Transversaler Durchmesser des Femurkopfes	37

8) P-400号人骨

残存する部位は右側頭骨岩様部、後頭骨底部、蝶形骨骨体の一部であるが、いずれも破片化し、また骨質はもうい。

側頭骨乳様突起は破損するが、やや小さめである。舌下神経管二分傾向なし。蝶形・後頭骨軟骨結合部は完全に化骨している。後頭骨頸静脈切痕は左側がやや深い。

9) P-402号人骨

残存するのは右上顎歯槽部および下顎左骨体部分とそれらに伴う歯牙である。(次の歯式参照)。

$$\frac{M_3 M_2 M_1 P_2 P_1 / / / /}{/ / / / / / / /} \quad \frac{/ / / / / / / /}{/ / / / / P_2 M_1 M_2 /}$$

歯牙咬耗は大臼歯部で Broca I~II*, また右上顎 M₃は萌出直後と考えられる。

人骨所見まとめ

ここに報告した人骨は美々4遺跡出土のもので、周堤墓内から2体、それ以外からは7体検出されている。

1) 周堤墓内から出土した2体の頭蓋には、いずれもベンガラと考えられる赤色の付着が認められたのに対し、それ以外のものには赤色付着がなかった。

2) 頭骨の形態学的特徴あるいは計測的所見については資料の保存が悪く、観察不能な点も少なくないため、全体の総括は控え、個々の記載をするに止めたい。将来の資料の増加が強く望まれる。

3) 頭骨の非計測的変異形質については、例えば、近世アイヌ人骨集団に比較的多いとされる舌下神経管二分が5個中1個(20%)の出現頻度であったのに対し、同集団に比較的多いとされる側頭骨鼓室部裂開〔フシケ孔〕が観察可能な2個体全部に出現していた点は興味深いものがある。

4) 美沢川流域、特に美沢1遺跡の周堤墓から出土した人骨(例えば JX-4 P-104, 120 など)に認められたような抜歯を思わせる歯槽閉鎖所見(百々:1981)は、今回の人骨では観察不能であり、判定できなかった。

5) P-59号人骨は埋葬体に対して何らかの繊維成分によって包まれていたものと聞かされている。但しこの人骨の保存は極めて不良で人類学的観察はほとんどしえなかった。残存するのは歯冠部破片と骨細片数個である。歯冠には明らかに焼成を思わせる所見が出現しており、大ざっぱな実験によってもそれを否定しえない結果が出ており、留意すべき所見であろうと考えられる。

謝 辞

本稿を作成するにあたり、歯牙の有機成分の検出について多くの御教示を賜った、札幌医科大学化学教室三成修教授ならびに谷内田洋一先生に心から感謝する。また歯種の鑑別にあたっては札幌医科大学第2解剖学教室石田肇先生に御協力頂いたので謝意を表す。また同教室三橋公平教授、大島直行先生に御助力いただいたことをお礼申し上げる。写真撮影にあたっては同教室梅田光雄技官に御協力頂いたので感謝する。

引用文献

百々幸雄, 1981: 美沢川流域の遺跡群出土の人骨について, 美沢川流域の遺跡群 IV, 北海道埋蔵文化センター

Martin, R. & K. Saller, 1957: Lehrbuch der Anthropologie. Bd. 1. G. Fischer, Stuttgart

付2 ^{14}C 年代測定結果について

京都産業大学 山田 治

1. はしがき

放射性炭素 ^{14}C による年代測定の原理については、今や疑う人はない。これを液体シンチレーション絶対測定法によって行なえば、放射線の計数と、計数効率の二つの物理量の計測を行なうがゆえに完全無欠な結果が得られ、数学的な統計誤差範囲以上の差異は稀にしか生じない。即ち、 1σ の誤差範囲に真の値は68%、 2σ には95%、 3σ には99.7%はいるのである。この点、従来の気体計数法では放射線の計数しか測定していないから、統計誤差の範囲から大きなずれを生じても責任を取ることはできない。世界的な風潮として、 ^{14}C 年代測定の手段にしだいに液体シンチレーション法が増加しつつあるのも理由のあることである。

ところで、 ^{14}C 年代測定結果はあくまでも試料そのものの年代であって、遺跡の年代と一致するかどうかはその試料が確実にその遺跡の遺物であることが保証されない限り断定できないのであり、推定値と大きく異なる場合は、もう一度遺跡の状況の検討が必要になる。そのような試行錯誤のくりかえしから次第に真の年代が明らかにされていくであろう。

本試料の測定においては、すべての試料が数週間の隔りをおいて各々2回、1回につき700分ないし1,200分の間計数され、またその前後において5回以上の計数効果の測定がなされた。測定値は特別微量のものを除きすべて統計誤差理論を満足するものであった。試料炭素量が0.5グラム以下になると統計誤差よりも実験誤差のほうに重みがかかってくることを注意願いたい。

2. 測定結果

KSU-676 $2370 \pm 30 \text{ B.P.}$

I 黒層P-59, 上部C-1 木炭, 炭素量8.76g 2,200分測定

KSU-677 $3415 \pm 30 \text{ B.P.}$

II 黒層H-1, 床面 木炭, 炭素量8.81g 2,000分測定

KSU-747 $2640 \pm 400 \text{ B.P.}$

III 黒層X-208, 墳底面 人骨, 炭素量0.308g 2,000分測定

3. 附記

上記の測定値において、 ^{14}C の半減期はすべて国際的約束に基づく5568年が採用されている。

B.P.は Before Present の略で、A.D.1950が0 B.P.である。

E.K.Ralph et al, MASCA News Letter V.9, 1973

H.H.Michael, E.K.Ralph, Radiocarbon V.16, 1974

東村武信 考古学と物理化学 学生社

IV 美々9遺跡の調査

1 概要

美々9遺跡は、美沢川左岸の台地縁辺から400mほど北に離れた標高25~26mの平坦地に位置している。美々4遺跡との距離は、およそ500mである(図3)。

土層は、美々4遺跡の層序と同じである(図4)。

遺構・遺物は、Ⅱ黒層のみから発見された。まず、対象面積の12.5%相当について確認調査を行い、遺構・遺物の分布する全体の約40%にあたる範囲について、発掘調査を実施した。残りの部分は、遺物の分布がきわめて稀薄であったため遺構検出に重点を置いた調査に切り替えた。

検出された遺構は、Tピット5個と不整円形の土坑が1個である。Tピットは、いずれも溝状で、底面に柱穴をもたないタイプのものである。なお、Ⅱ黒層上面で、径1m内外の円形のくぼみが15か所認められたが、調査の結果、これらはすべて風倒木痕等で、人為的なものではなかった。

遺物は、827点出土した。このうち土器片は790点で、縄文時代後期中葉のもの(Ⅳ群b類)と、晩期初頭のもの(Ⅴ群a類)である。石器は、15点出土した。(佐藤和雄)

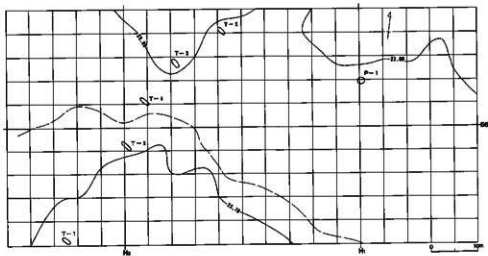


図229 遺構分布

2 遺構と遺物

(1) 遺 構

検出されたTピットはすべて、やや幅広の溝状で、底面に杭穴をもたないものである。底部の長幅比は0.13~0.15である。配置をみると、台地上の平坦部に規則的な列をなしている。長軸方向は、列に対してほぼ直交する（写真図版104-3）。

そのほか不整形形のピットが1個検出された。遺物の伴出がなく、時期・用途は不明である。

以下に、各遺構の図を掲載し、概要を記述する。

1) Tピット

T-1

位置 H₁-56-24

規模 1.50/2.06×0.67/1.85×0.28

覆土 I 黒色土（黒色土>d₁）

III 黄褐色土（EnL>d₂）

V 暗赤褐色土（d₃+黒色土 EnL）

VII 暗黄褐色土（EnP+黒色土+d₂）

長軸方向 N-67°-W

II 赤褐色土（d₃>黒色土）

IV 淡黄色土（EnL>d₂）

VI 暗褐色土（黒色土>EnP+d₂）

VIII 暗褐色土（黒色土+d₂）

T-2

位置 H₁-55-55, -56

規模 1.50/2.06×0.67/1.85×0.28

覆土 I 黒色土（黒色土+d₁）

III 暗黄褐色土（黒色土+d₂）

V 黒褐色土（黒色土>d₂）

VII 黄褐色土（EnP）

平面形 溝状

長軸方向 N-35°-W

II 暗黄褐色土（EnL>d₂）

IV 黄色土（EnL）

VI 暗褐色土（EnP含む）

VIII 黒色土

T-3

壁の一部に風倒木による攪乱がある。

位置 H₁-55-77

規模 1.41/2.23×0.95/2.15×0.33

覆土 I 黒色土

II 暗茶褐色土（黒色土+d₂）

V 褐色土（d₂）

VII 暗灰褐色土

IX 黒色土

平面形 溝状

長軸方向 N-42°-W

II 暗褐色土（黒色土>d₁>d₂）

IV 暗褐色土（d₁, d₂含む）

VI 黄褐色土（EnL>d₂）

VIII 暗黄褐色土（EnP）

X 黄褐色土（砂質）

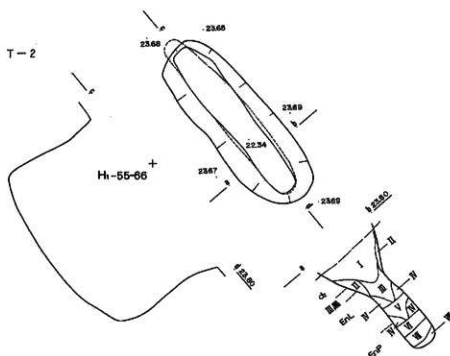
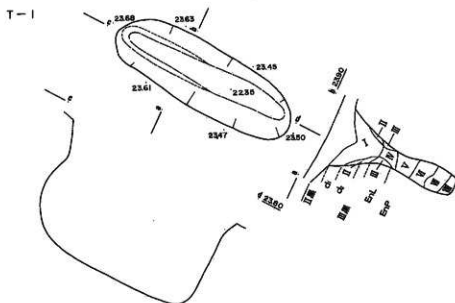
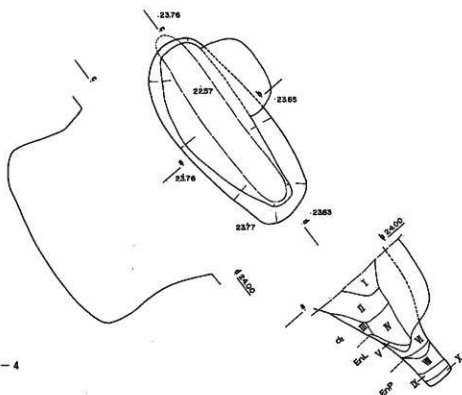


圖230 T-1·2

T-3



T-4

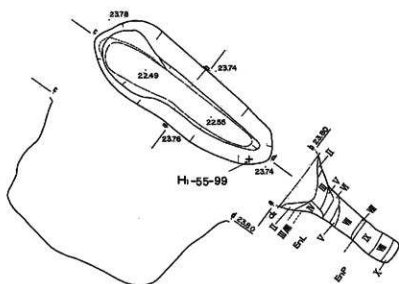


图231 T-3·4

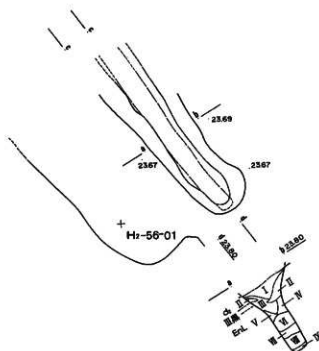


図232 T-5

T-4

位置	H ₁ -55-88, -89, -98, -99	平面形	溝状
規模	1.30/2.24×0.69/1.83×0.25	長軸方向	N-62°-W
覆土	I 黒色土	II	赤褐色土 (d ₂)
	III 赤褐色土 (d ₂ +EnL)	IV	黄褐色土 (EnL>d ₂)
	V 暗褐色土 (黒色土+d ₂)	VI	茶褐色土 (EnL>黒色土+d ₂)
	VII 黄色土 (EnL)	VIII	黒色土
	IX 褐色土 (EnL+黒色土>d ₂)	X	黄褐色土 (EnP)

T-5

長軸 3分の1ほどはテストピット (昭和50年度の分布調査) による攪乱を受ける。

位置	H ₁ -56-90	平面形	溝状
規模	0.81/幅0.40/幅0.18	長軸方向	N-40°-W
覆土	I 黒色土 (黒色土>d ₁)	II	赤褐色土 (d ₁)
	III 黒褐色土	IV	橙褐色土 (d ₁ >EnL)
	V 黄色土 (EnL)	VI	暗褐色土 (黒色土+d ₁ +EnL)
	VII 赤黄褐色土 (EnL+d ₁)	VIII	暗黄褐色土 (黒色土+EnL)
	IX 黒色土		

2) その他の土壌

P-1 (写真図版104-2)

用途不明の土壌である。

位置 G₂-55-97, 98

平面形 不整円形

規模 0.47/1.57×1.38/1.37×0.95

長軸方向 N-15'-W

I 黒色土 (黒色土>d₁)

II 暗褐色土 (黒色土>d₂>d₁)

III 暗赤褐色土 (d₂+黒色土)

IV 黄褐色土 (EnL)

V 橙褐色土 (d₂+EnL+黒色土)

VI 淡橙褐色土 (EnL+d₂)

VII 黄褐色土 (EnL>d₂)

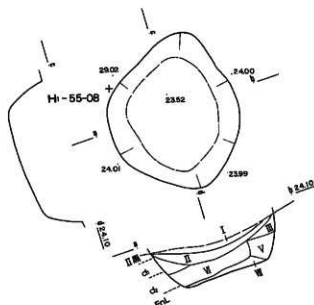


図233 P-1

(2) 遺物

II 黒層から出土した遺物には、土器片・石器・フレイク・礫がある。いずれも少量である。以下におもなものを分類基準にもとづいて記載する。

1) 土器 (図232・写真図版104・105-1)

IV群b類：復元された土器は、深鉢が一個体のみである。器表一面にLRの斜行縄文が施され、口縁には棒状工具による円形刺突列がある(1)。

V群a類：器形には、深鉢、浅鉢、壺がある。地文は、LRの斜行縄文が多い。深鉢は、内側からの突瘤文のあるもの(写1~4・6) 爪形文のあるもの(写7) 沈線のあるもの(写9) これらが混合して施されているもの(写8) などがある。浅鉢は、4のみである。口唇は平坦で、内面はよく研磨されている。壺(3)は、山形突起、貼付瘤をもち、口唇、頸部の区画帯に縄文が施されている。

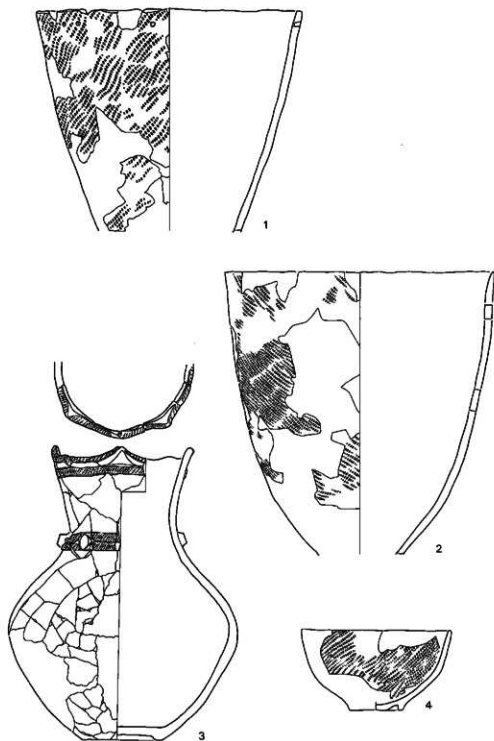


図234 土 器

表1 掲載土器一覧

(実測図)

番号	名称	分類	発掘区	器高	口径	底径	底厚	写真図版番号
1	深鉢	IVb	H ₁ -55-35	—	28.3	—	—	105-1
2	"	Va	H ₁ -55-09・19	—	28.7	—	—	105-2
3	壺	"	H ₁ -55-75・85・86	31.0	15.3	8.5	—	105-3
4	浅鉢	"	H ₂ -56-22	8.6	16.0	5.6	—	105-4

(写真)

番号	分類	発掘区	番号	分類	発掘区
1	Va	H ₁ -55-37	6	Va	G ₂ -56-84
2	"	"	7	"	"
3	"	H ₁ -55-75	8	"	H ₁ -56-00
4	"	"	9	"	H ₁ -55-37
5	"	"	10	"	G ₂ -56-84

2) 石器 (図235・写真図版105-2)

出土した石器は、石鏃、つまみ付きナイフ・スクレイパー・石斧である。これらの分布は散在しており、量は多くない。石鏃には柳葉形鏃、基部にえぐりのある三角形鏃、茎のあるものがあり、茎のあるものが多い。石斧は、3点出土したが、いずれも刃部である。

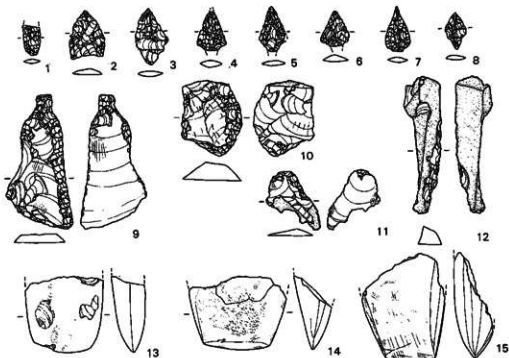
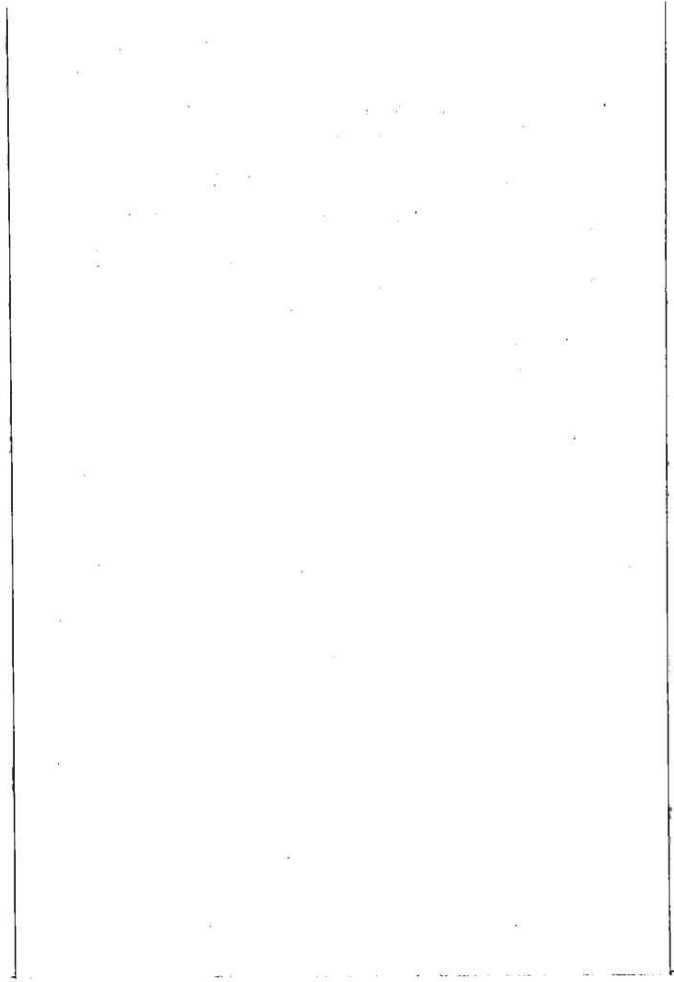


図235 石器

表2 掲載石器一覧

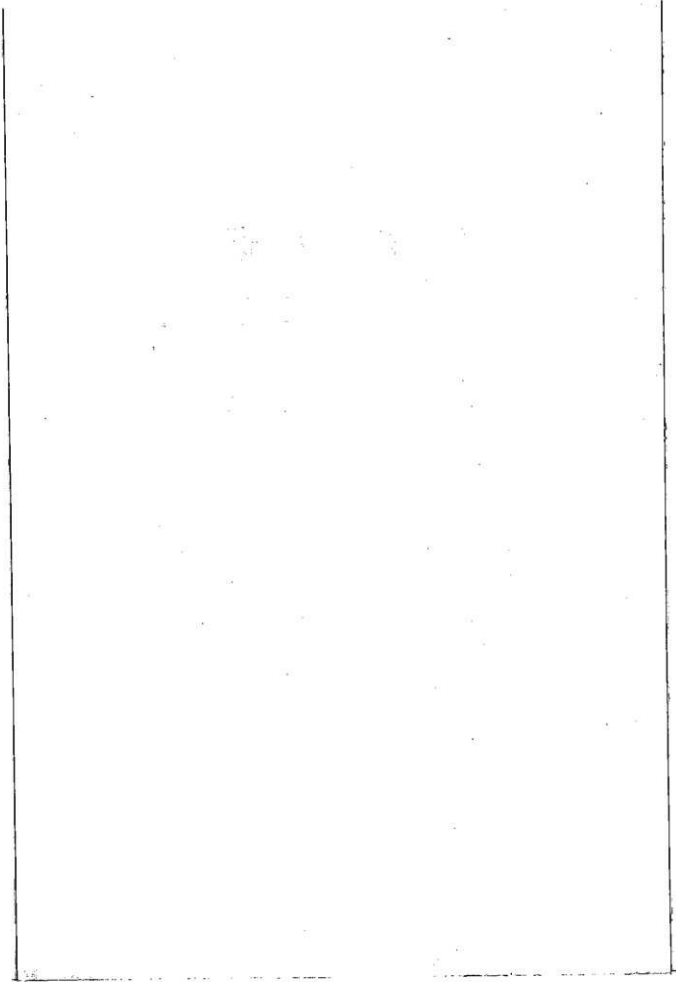
番号	名称	分類	発掘区	大きさ (cm)	重量 (g)	材質	番号	名称	分類	発掘区	大きさ (cm)	重量 (g)	材質
1	石 鏃	IA片	G ₂ -56-51	(1.6)X 0.9X 0.3	(0.4)	Obs.	9	28分型 8747	III A3	H ₁ -55-06	7.2X 3.3X 0.6	12.7	Obs.
2	#	IA3	H ₂ -56-40	2.5X 1.9X 0.4	13.0	#	10	スレイ スレール	III B3	H ₁ -55-37	(4.1)X 3.5X 1.1	(16.5)	Ag.
3	#	# 4	H ₁ -55-74	2.9X 1.8X 0.4	15.0	#	11	#	#	H ₁ -55-48	3.7X 2.0X 0.5	2.2	Obs.
4	#	# 5	H ₁ -55-15	2.0X 1.5X 0.4	8.0	#	12	#	#	H ₁ -55-45	7.3X 1.9X 1.2	12.3	#
5	#	#	H ₁ -55-75	2.9X 1.5X 0.3	7.0	#	13	石 斧	W A片	G ₂ -55-08	(4.2)X 5.1X 1.6	(43.0)	Gr-Mud.
6	#	#	H ₁ -55-36	(1.9)X 1.5 X 0.5	(6.0)	Obs.	14	#	#	#	(4.5)X 5.2X 1.6	(41.2)	#
7	#	#	H ₁ -56-04	2.4X 1.3X 0.4	6.0	Obs.	15	#	#	H ₁ -55-65	(5.7)X 4.3X 1.2	(44.8)	#
8	#	#	H ₁ -56-02	1.9X 1.1X 0.3	4.0	#							

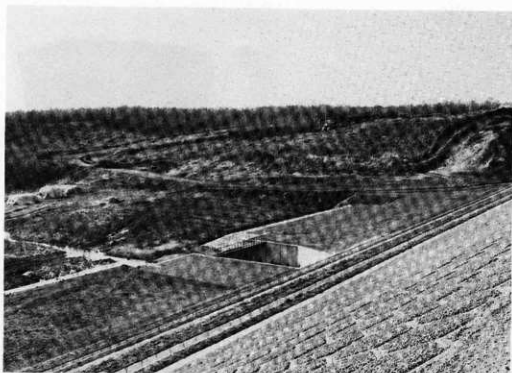


写真図版

美々4 遺跡……………図版1～102

美々9 遺跡……………図版103～105





1) 美々4遺跡全景



2) I 黒層調査状況



1) P-1 出土土器



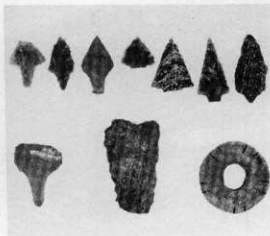
2) P-2 土器出土状況



3) P-2 出土土器



4) P-6 完掘状況



5) P-6 出土石器



1) P-32上部



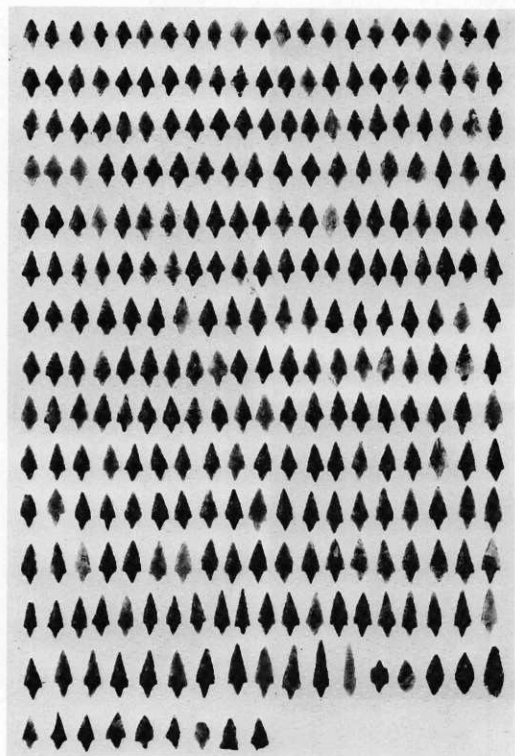
2) P-32石鑿出土状況



3) P-32発掘状況



4) P-32出土土器



P-32出土石鏡



1) P-59上部



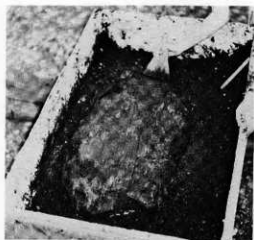
2) P-59上部



3) P-59調査状況



4) P-59樹皮出土状況



1) P-59樹皮の裏面



2) P-59出土土器



3) 土壇調査状況



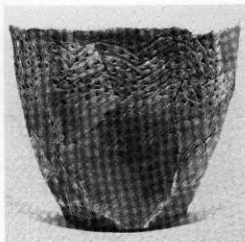
4) I 黒層出土の土器



5) I 黒層出土の土器



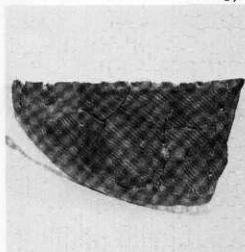
1)



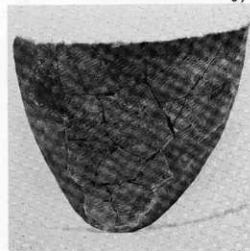
2)



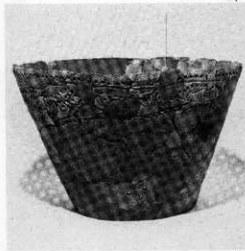
3)



4)



5)



6)

I 黒層出土の土器



1)



2)



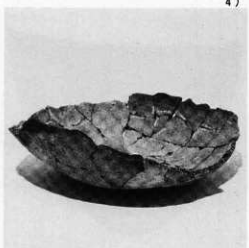
3)



4)

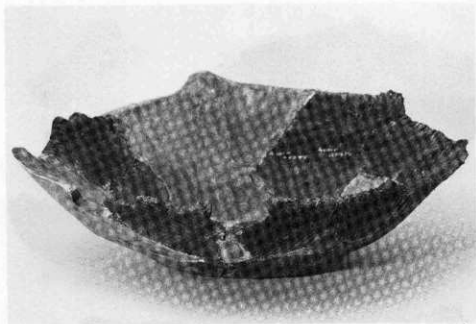


5)

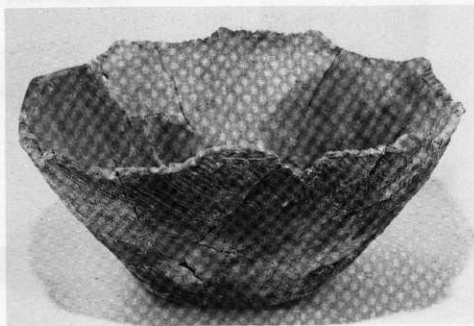


6)

I 黒層出土の土器

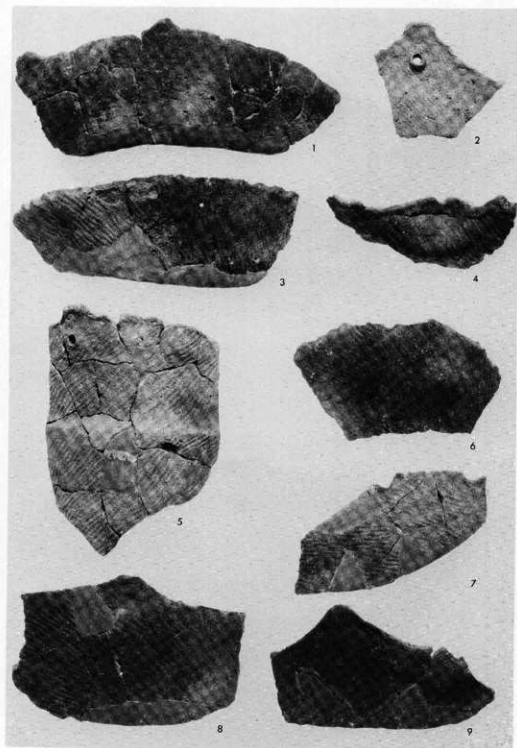


1)

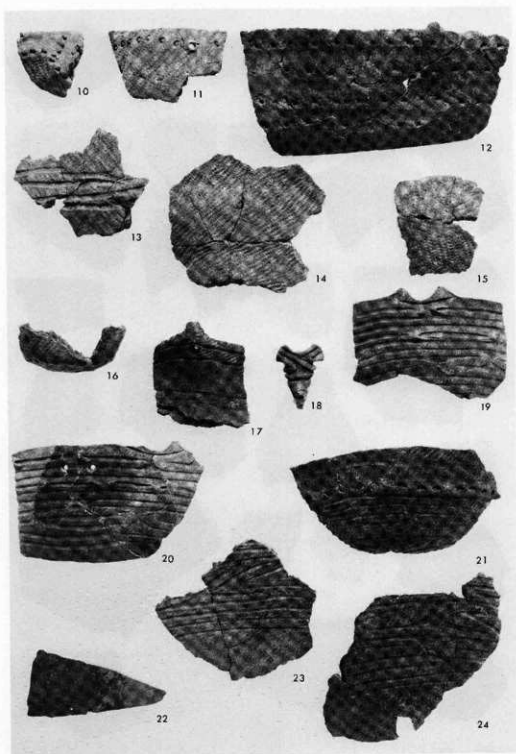


2)

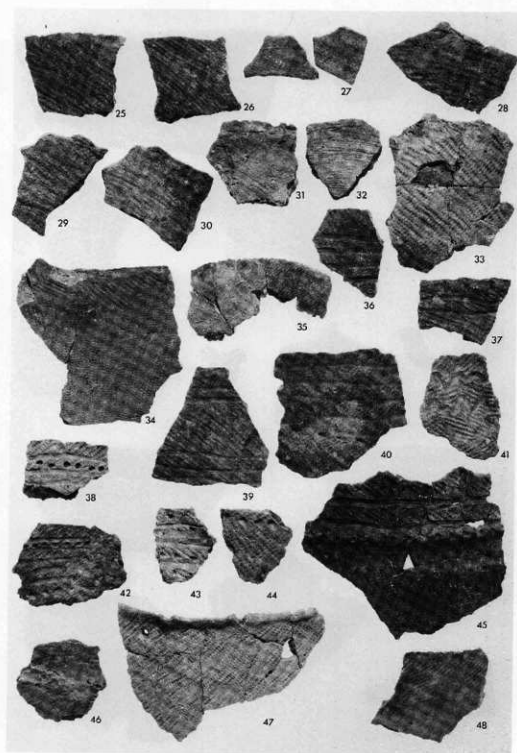
I 黒耀出土の土器



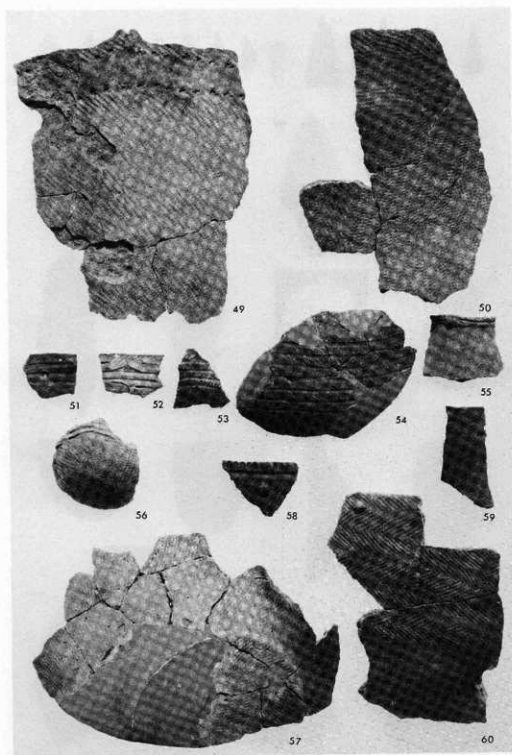
I 黒層出土の土器



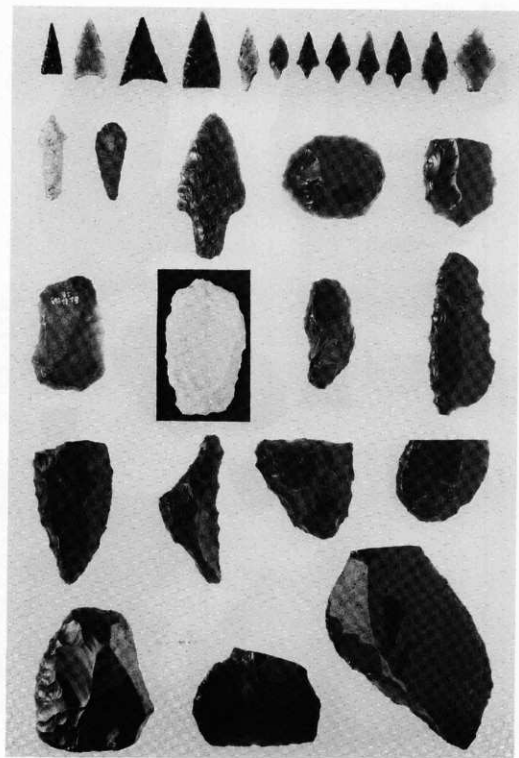
I 黒層出土の土器



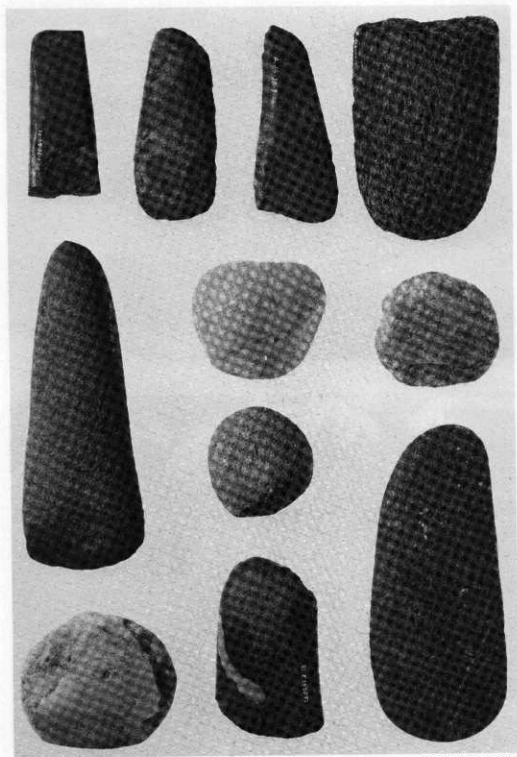
I 黒層出土の土器



I 黒層出土の土器



I 黒層出土の石器



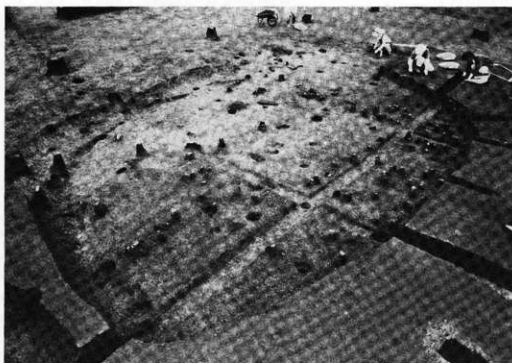
1 黒層出土の石器



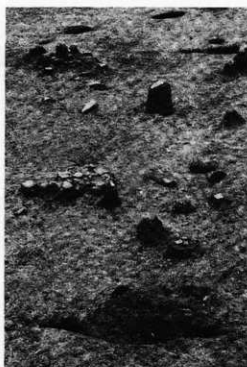
1) II 黑層調查狀況



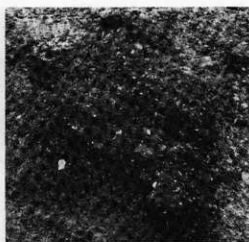
2) 遺物集中区調査狀況



1) H-I 調査状況



2) H-I 遺物出土状況



3) H-I フレイク出土状況



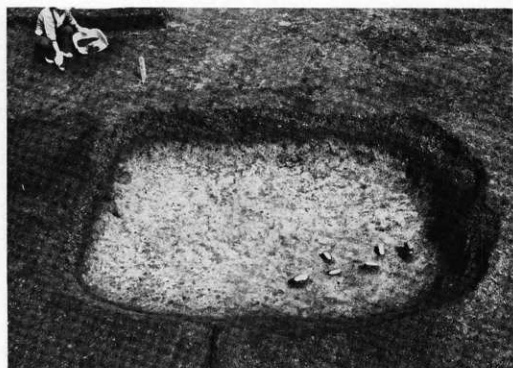
4) H-I 出土石鏃



1) H-1 出土土器



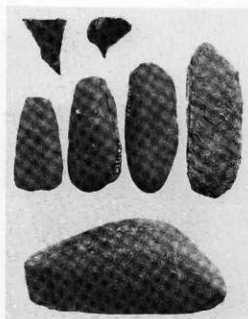
2) H-1 出土土器



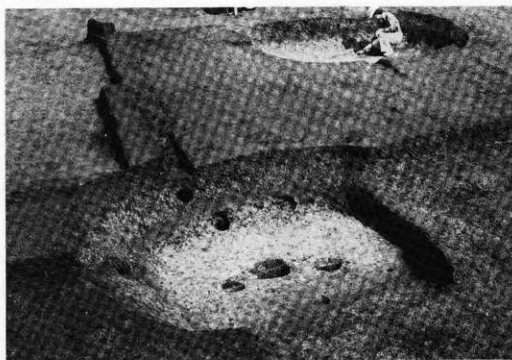
3) H-3 完掘状況



1) H-3 出土土器



2) H-3 出土石器



3) H-3・4 (手前が4)



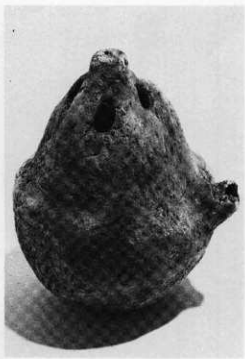
1) H-6 出土土器



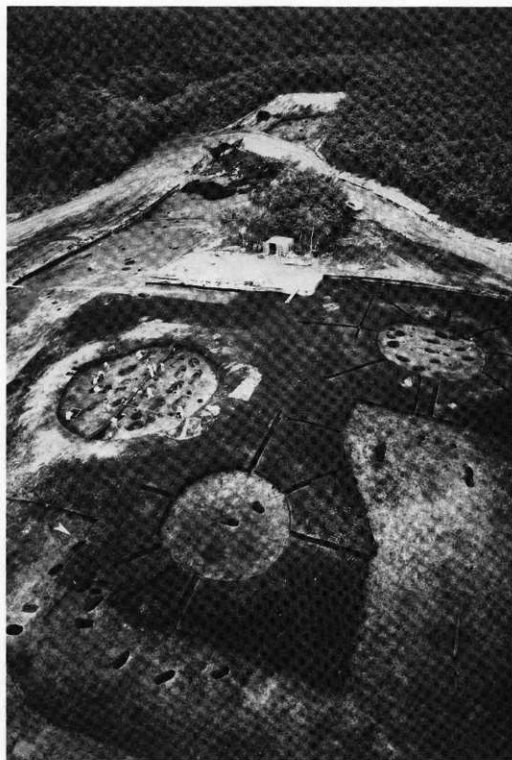
2) H-7 出土土器



3) H-12・13



4) H-11 出土土器



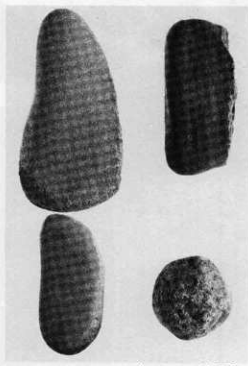
周 塹 墓 群



1) X-1 調査状況



2) X-101 立石の状況



3) X-101 出土石器



1) X-2 調査前の状況



2) X-2 調査状況



1) X-2 墓墳内の柱穴



2) X-204 の柱穴



3) X-213 完掘状況



4) X-218 石棒出土状況



1) X-208の立石の状況 2) X-208出土石棒



3) X-208完掘状況



4) X-213完掘状況



5) X-218遺物出土状況



1) X-218出土石斧



2) X-219出土櫛



3) X-222の掘り跡



4) X-222完掘状況



5) X-202遺物出土状況



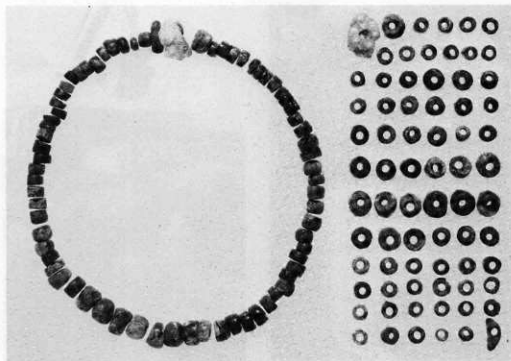
6) X-202出土土器



1) X-205



2) X-205 出土勾玉



3) X-209 出土玉佩



1) X-221 遺物出土状況



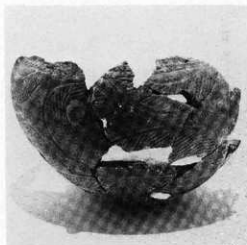
2) X-2 土層転写



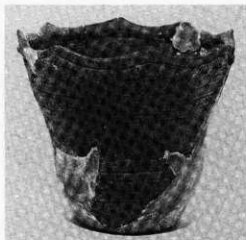
3) X-221 墓墳養生



4) 墓墳搬出



1)



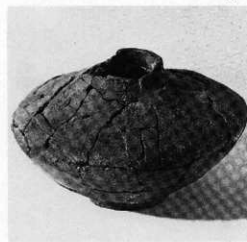
2)



3)



4)



5)



6)

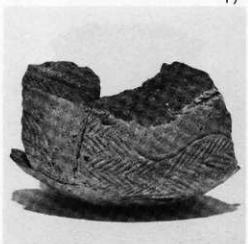
X-2 出土土器



1)



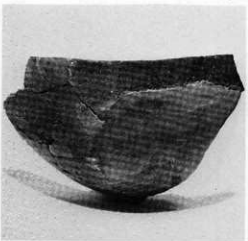
2)



3)



4)

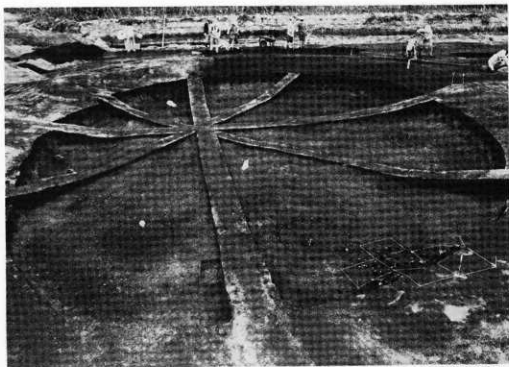


5)

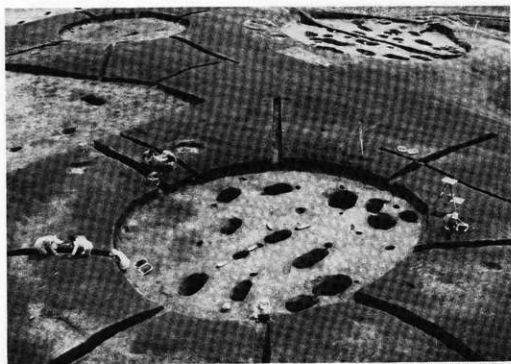


6)

X-2 出土土器



1) X-3 墓壇確認状況



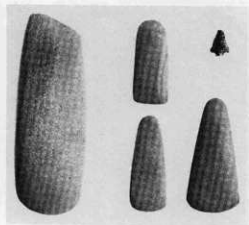
2) X-3 完掘状況



1) X-301・312 (手前が312)



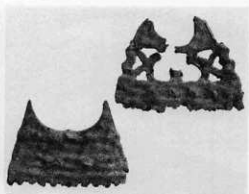
2) X-302 出土石棒



3) X-306・307 出土石器



4) X-309 遺物出土状況



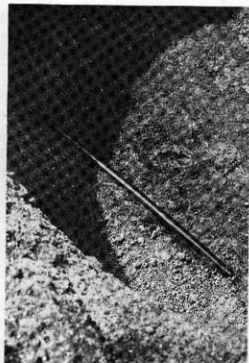
5) X-309 出土櫛



6) X-309 出土石杵



1) X-310上部土器出土状況



2) X-310底面遺物出土状況



3) X-310出土土器



4) X-310出土石棒



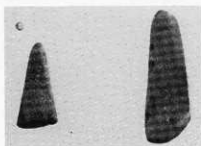
1) X-311 上部



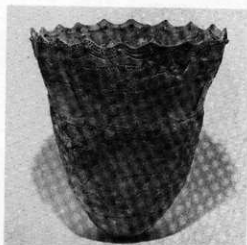
2) X-311 底面遺物出土狀況



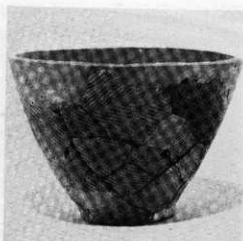
3) X-311 出土土器



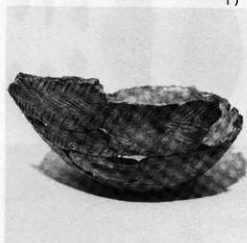
4) X-311 出土玉・石斧



1)



2)



3)



4)



5)



6)

X-3 出土土器



1) X-4 調査状況 (遠景は X-3)



2) X-4 出土土器



3) X-4 出土石器



4) X-5 調査状況



1) X-6完掘状况



2) X-602完掘状况



3) X-604遺物出土状况



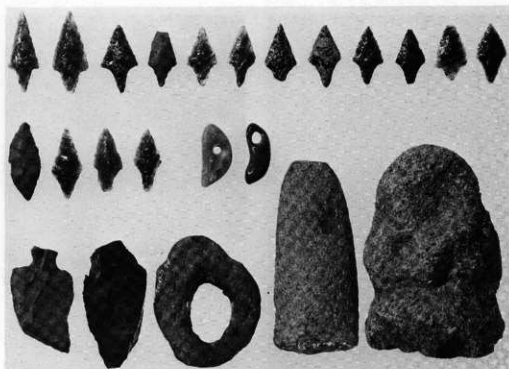
1) X-604 出土土器



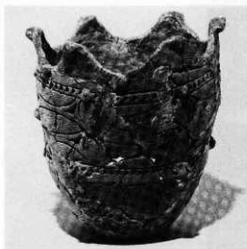
2) X-6 小 P-3 遺物出土状況



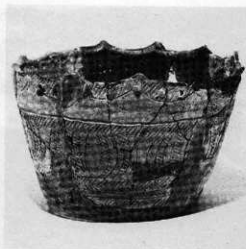
3) X-6 小 P-3 出土遺物



4) X-6 出土石器



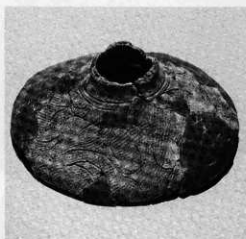
1)



2)



3)



4)



5)



6)

X-6出土土器



1) X-7確認状況



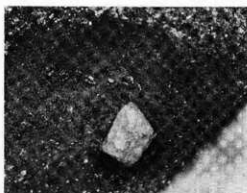
2) X-7完掘状況



1) P-301



2) P-306 炭化材出土状況



3) P-307 遺物出土状況



4) P-316 出土物



5) P-316 石斧出土状況



1) P-325上部遺物出土状況



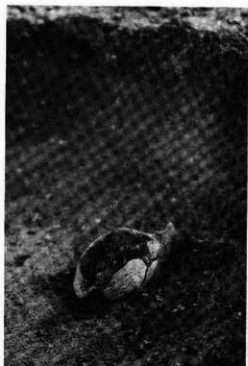
2) P-325完掘状況



3) P-325出土土器



4) P-367出土土器



1) P-373上部土器出土状況



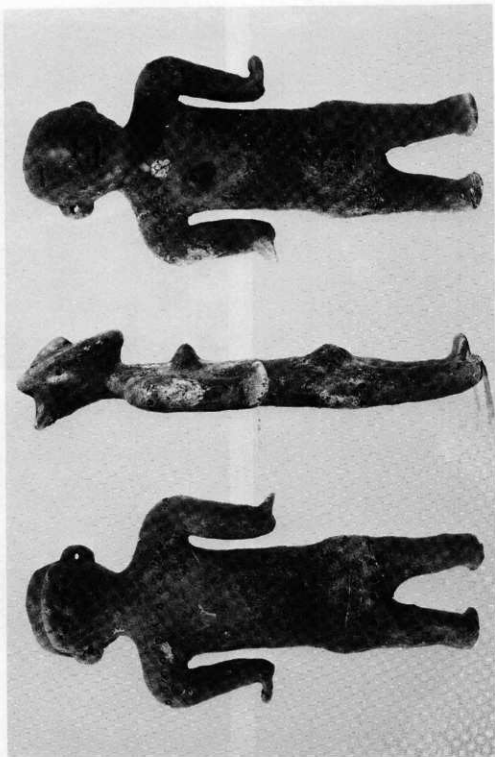
2) P-373覆土中石皿出土状況



3) P-373覆土中台石出土状況



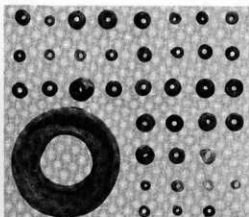
4) P-373底面土偶出土状況



P-373出土偶



1) P-376 遺物出土状況



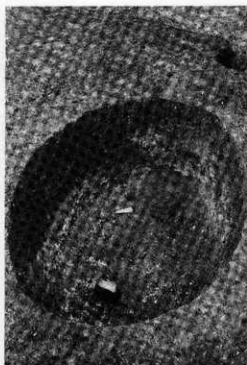
2) P-376 出土玉・耳飾



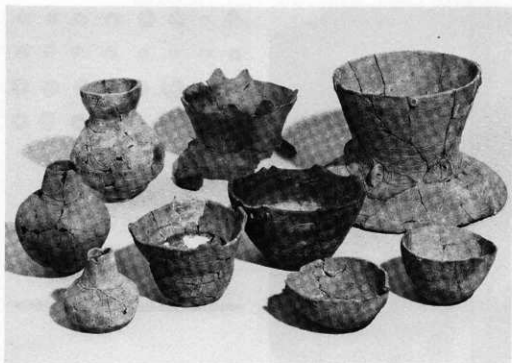
3) P-376 出土石棒



4) P-378 上部土器出土状況



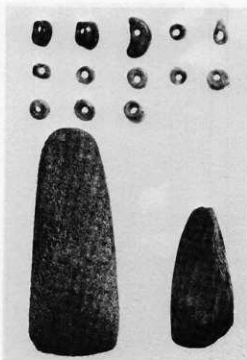
5) P-378 完掘状況



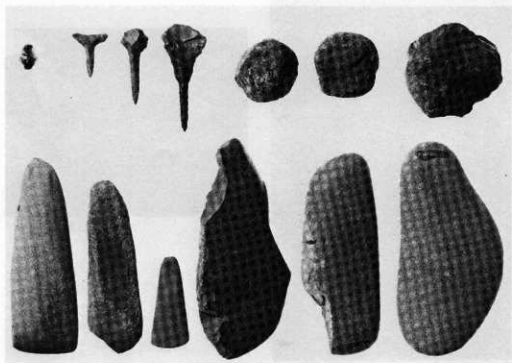
1) P-378 出土土器



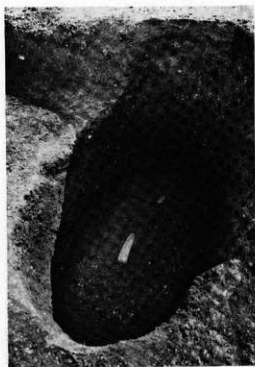
2) P-384 遺物出土状況



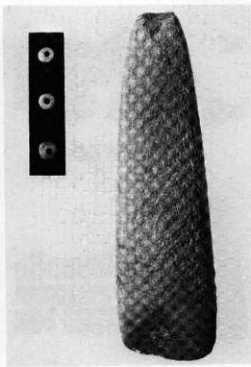
3) P-384 出土玉・石斧



1) P-385 出土石器



2) P-386 発掘状況



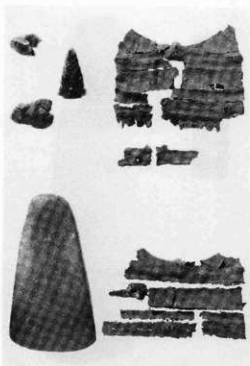
3) P-386 出土玉・石斧



1) P-389完掘状况



2) P-389出土状况



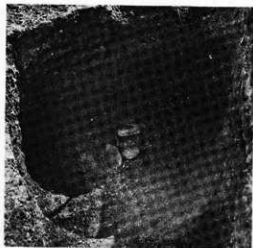
3) P-389出土遺物



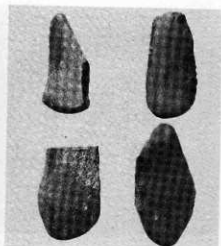
4) P-390出土玉・櫛



5) P-395遺物出土状況



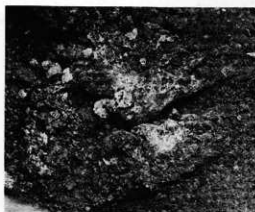
1) P-395 遺物出土状況



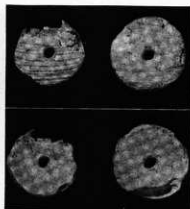
2) P-395 出土石器



3) P-395 出土土器



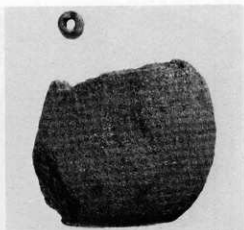
4) P-399 貝製玉出土状況



5) P-399 出土貝製玉



1) P-313上部



2) P-313出土遺物



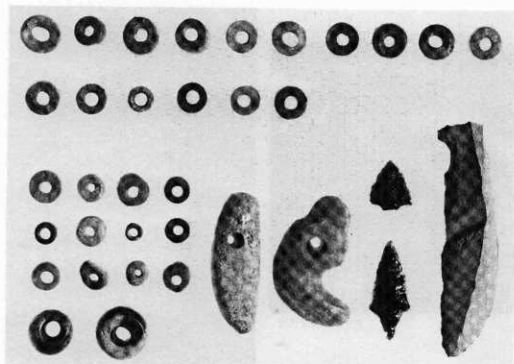
3) P-334調査状況



4) P-334遺物出土状況



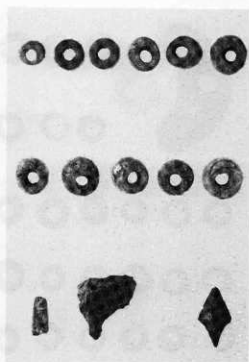
5) P-334出土土器



1) P-334 出土玉類・石器



2) P-335 遺物出土状況



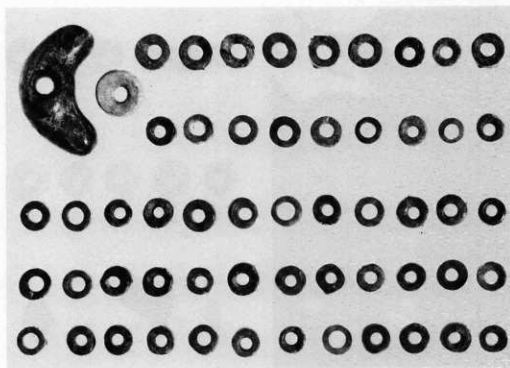
3) P-335 出土遺物



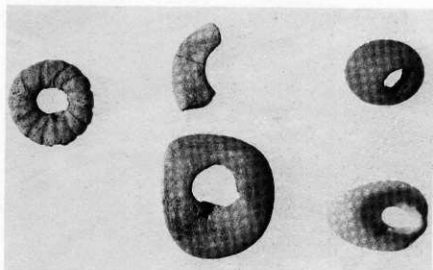
1) P-342調査状況



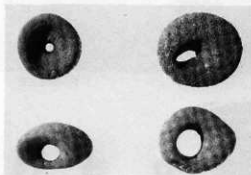
2) P-342遺物出土状況



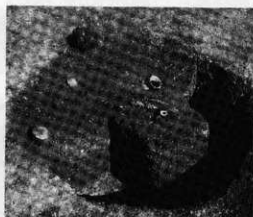
3) P-342出土玉類



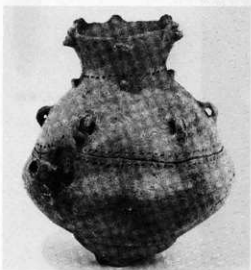
1) P-342 出土土製品など



2) P-392 出土石製品など



3) P-396 遺物出土状況



4) P-396 出土土器



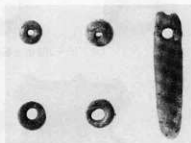
5) P-317 完掘状況



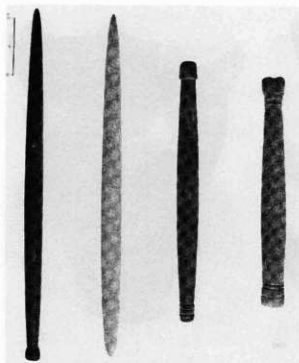
1) P-383上部



2) P-383調査状況



3) P-383出土玉・垂飾



1) 各墓墳出土の石棒



2) 上: P-385

出土ホオジロザメの歯

下: P-376

出土アオザメの歯



3) T-2完掘状況



4) T-4完掘状況



1)



2)



3)



4)

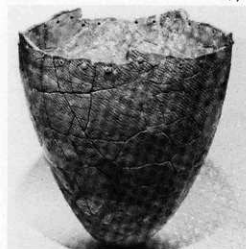
II 黒層出土の土器



1)



2)



3)



4)



5)

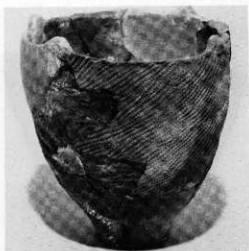


6)

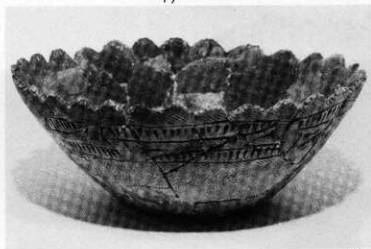
II 黒曜出土の土器



1)



2)



3)



4)

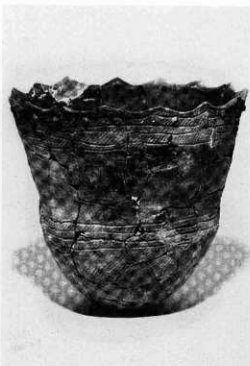


5)

II 黒層出土の土器



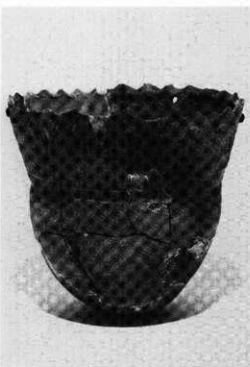
1)



2)



3)



4)

遺物集中区出土の土器



1)



2)

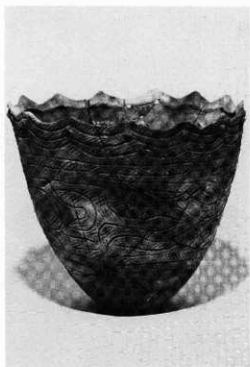


3)



4)

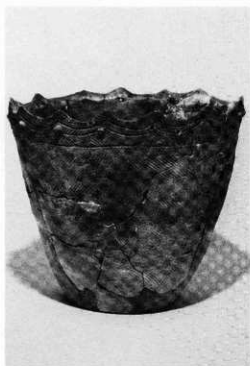
道物集中区出土の土器



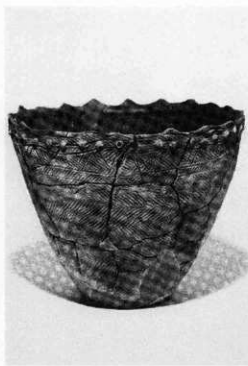
1)



2)



3)



4)

道物集中区出土の土器



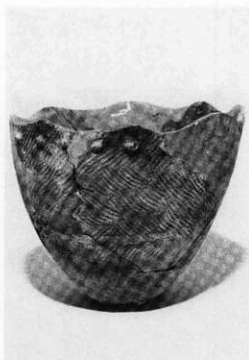
1)



2)



3)



4)

遺物集中区出土の土器



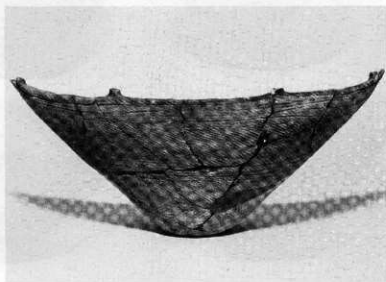
1)



2)



3)



4)

遺物集中区出土の土器



1)



2)



3)



4)



5)

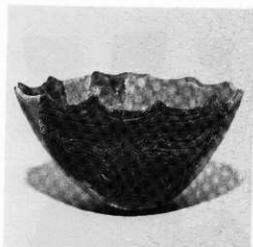


6)

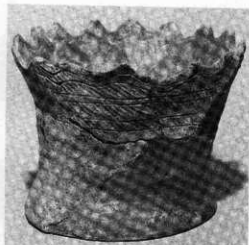


7)

遺物集中区出土の土器



1)



2)



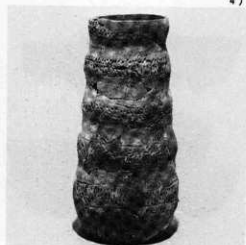
3)



4)

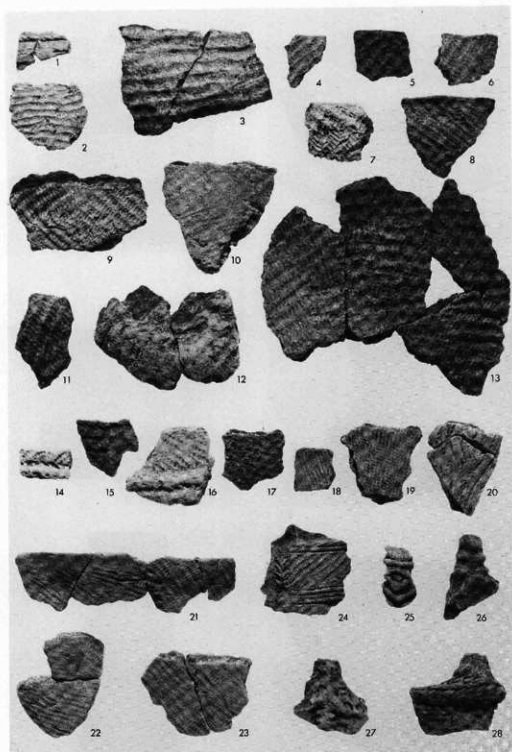


5)

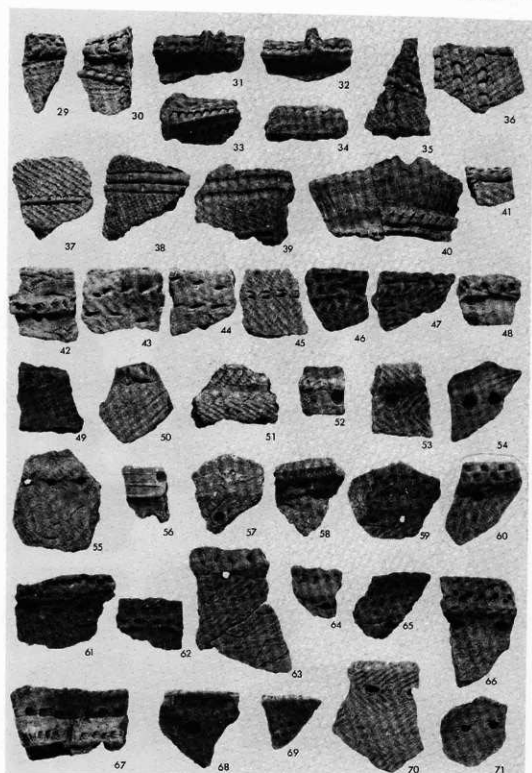


6)

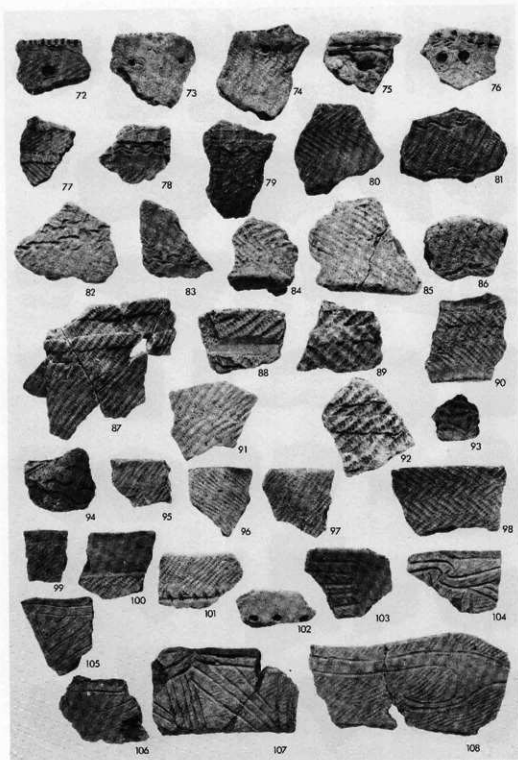
遺物集中区出土の土器



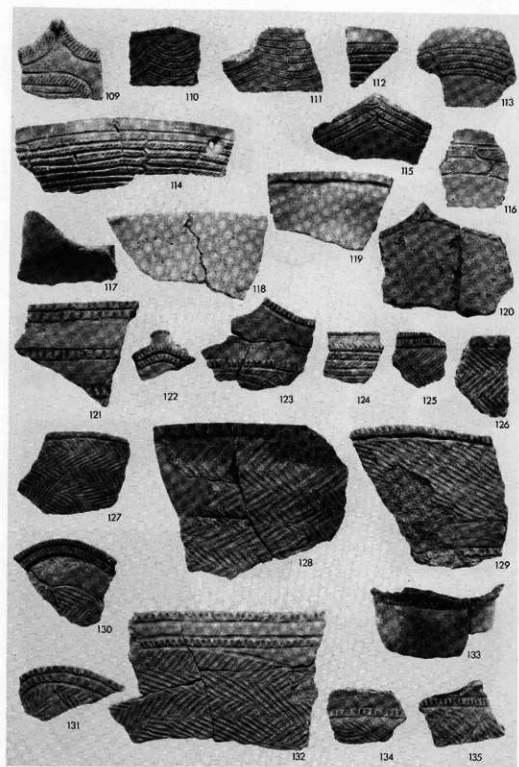
II 黒層出土の土器



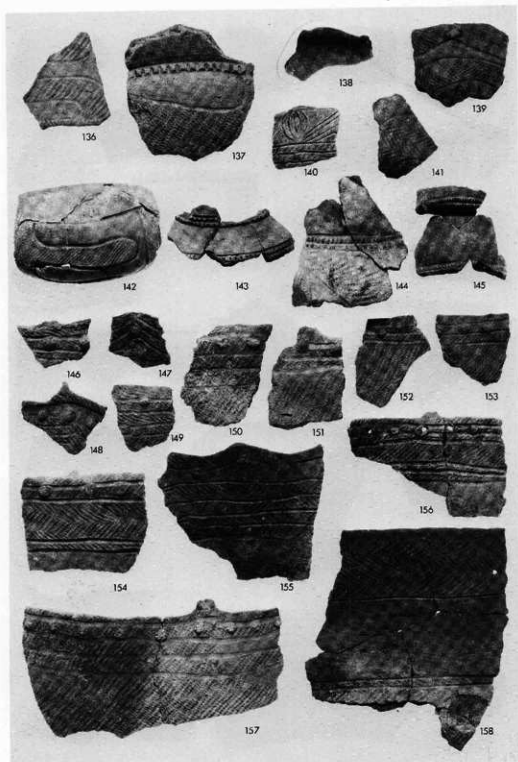
II 黒層出土の土器



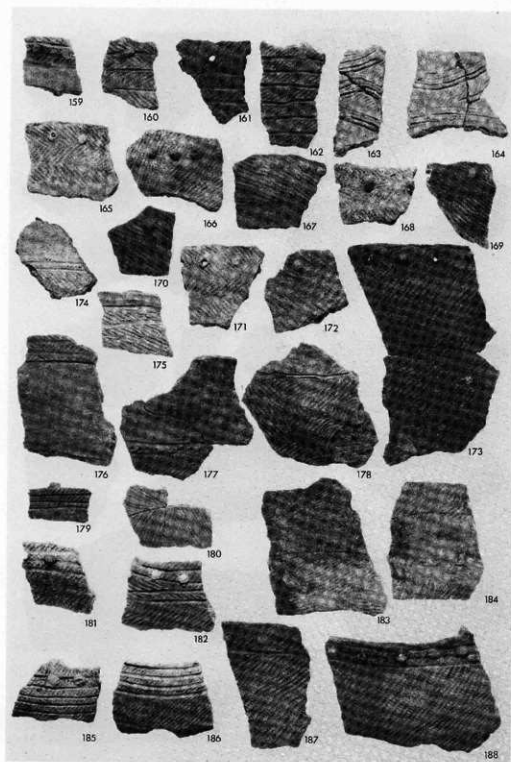
II 黒層出土の土器



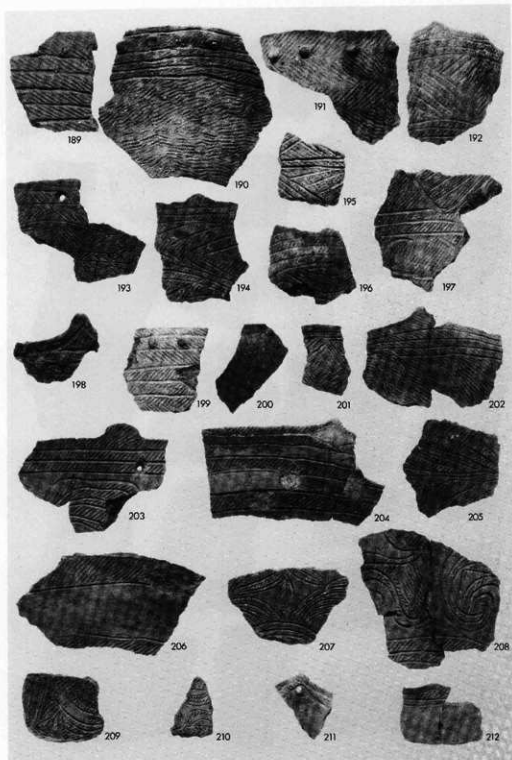
II 黒層出土の土器



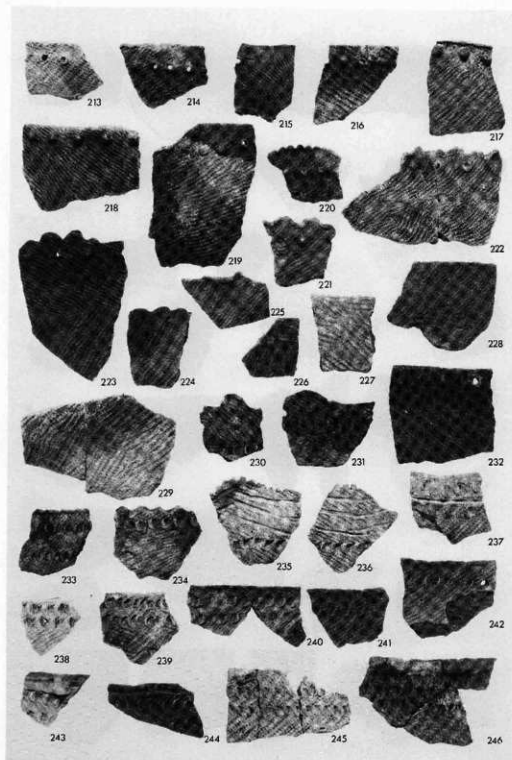
II 黒層出土の土器



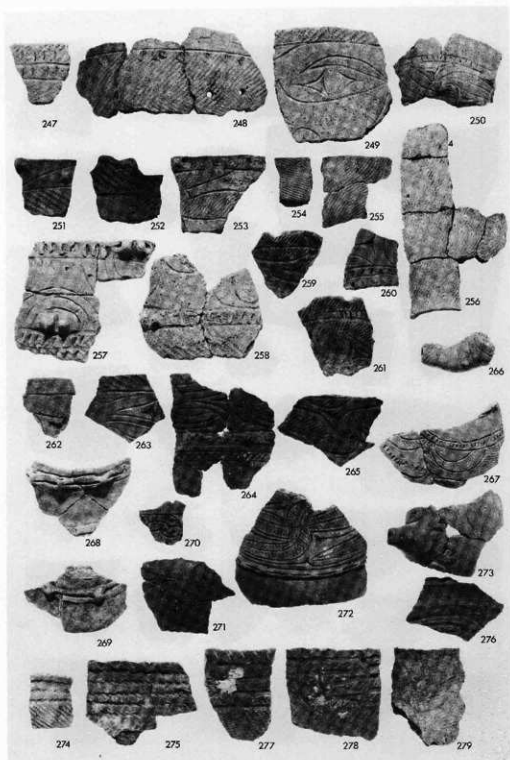
II 黒層出土の土器



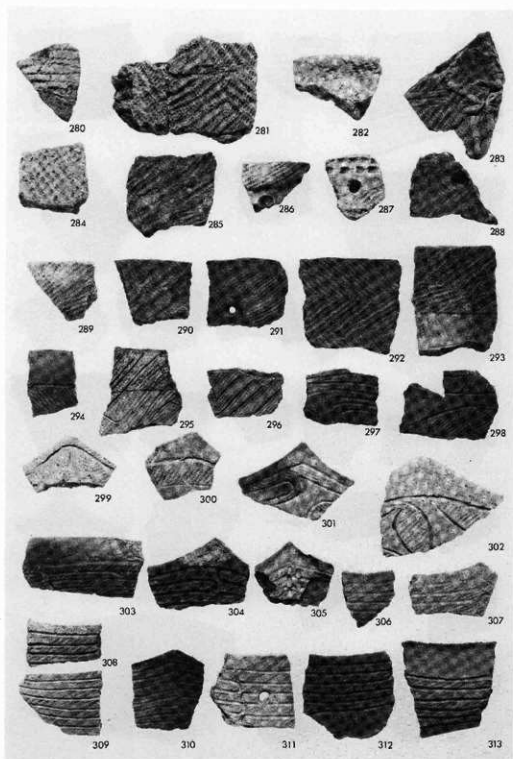
II 黒腐出土の土器



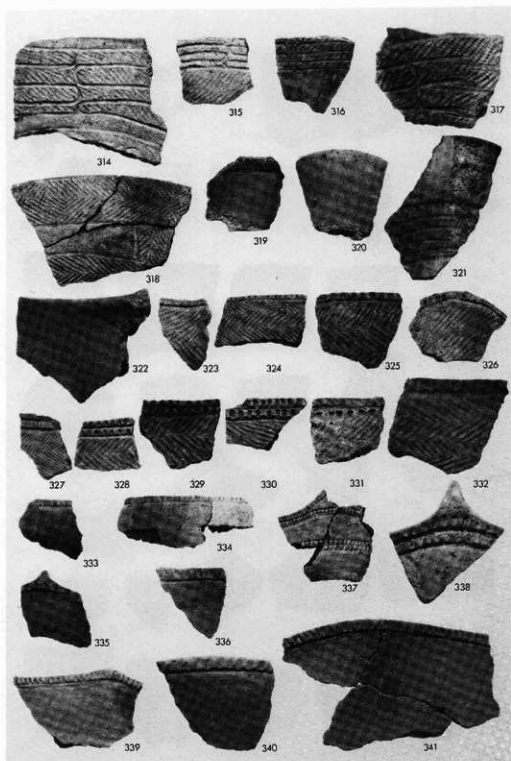
II 黒層出土の土器



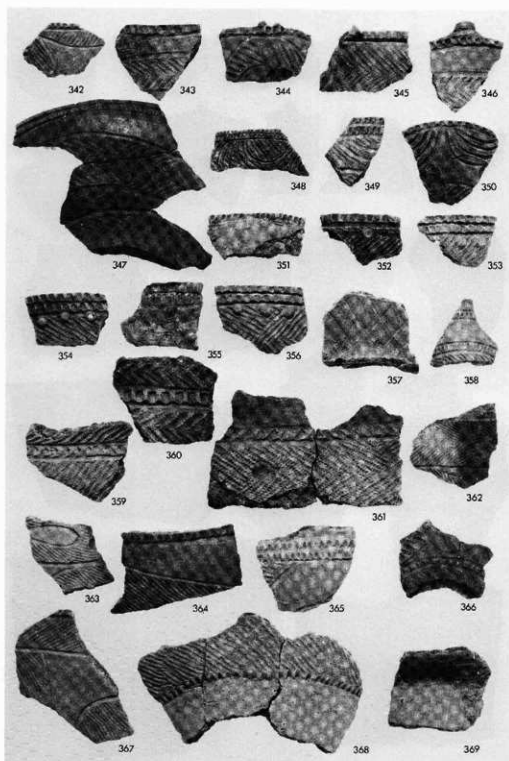
II 黒層出土の土器



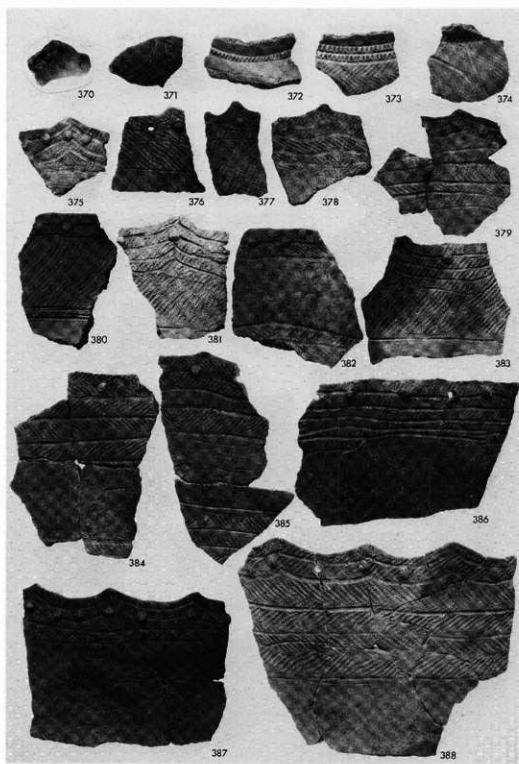
遺物集中区出土の土器



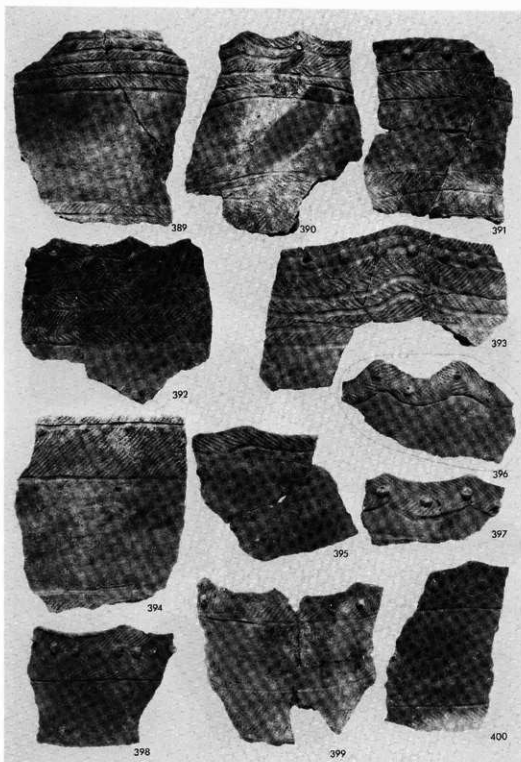
遺物塚中区出土の土器



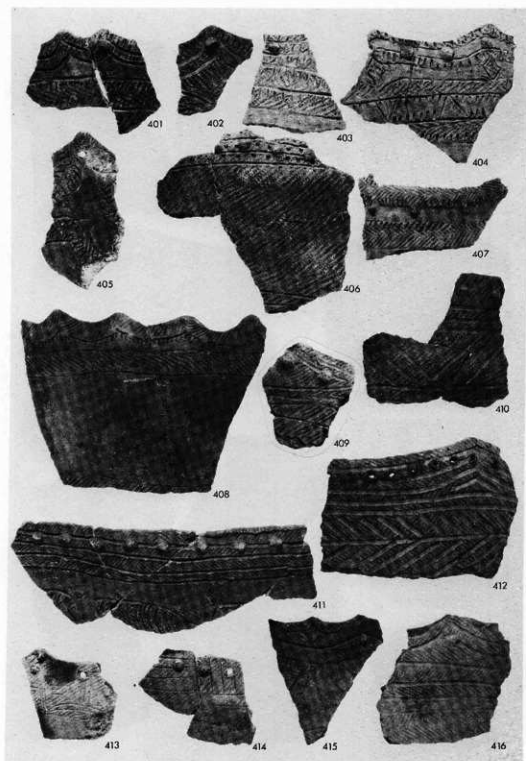
遺物集中区出土の土器



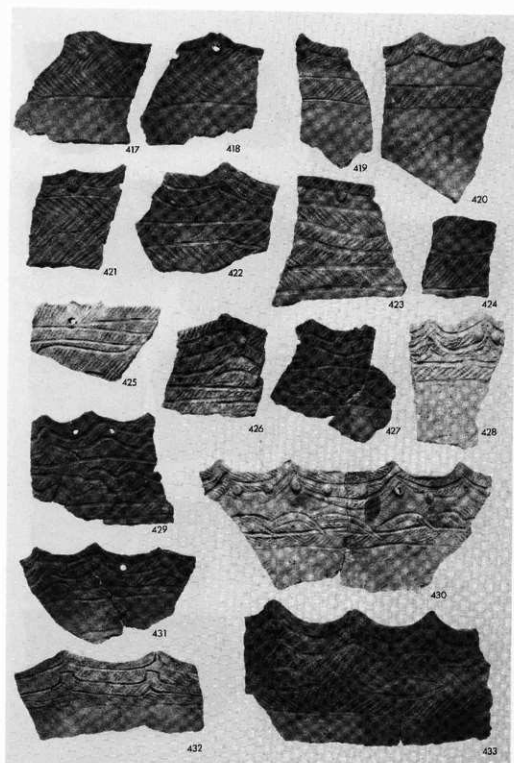
遺物集中区出土の土器



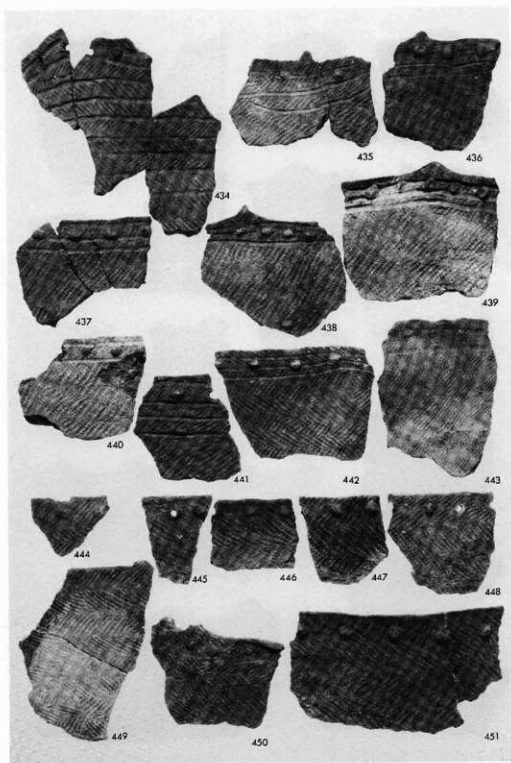
遺物集中区出土の土器



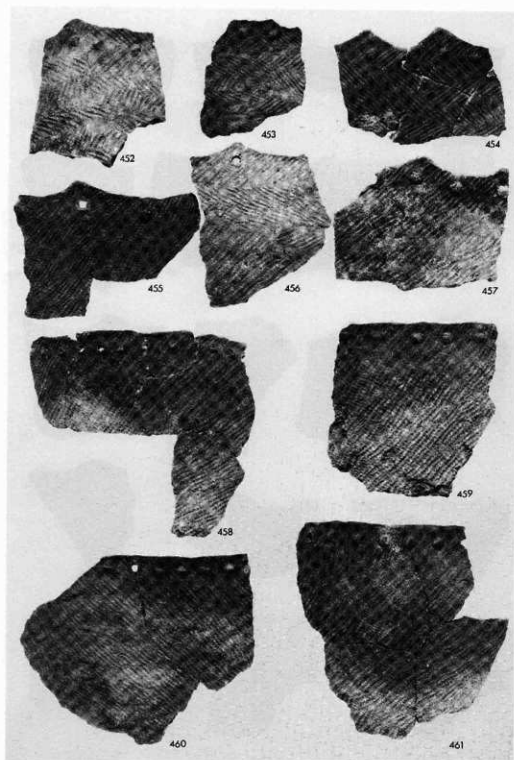
道物集中区出土の土器



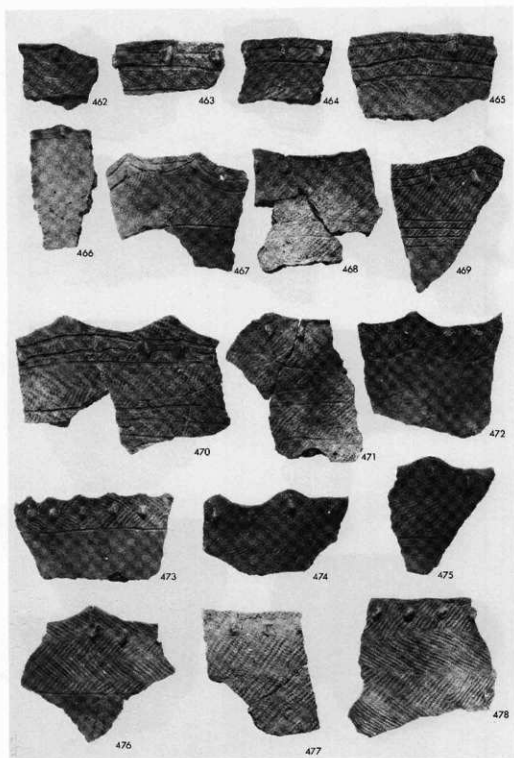
遺物集中区出土の土器



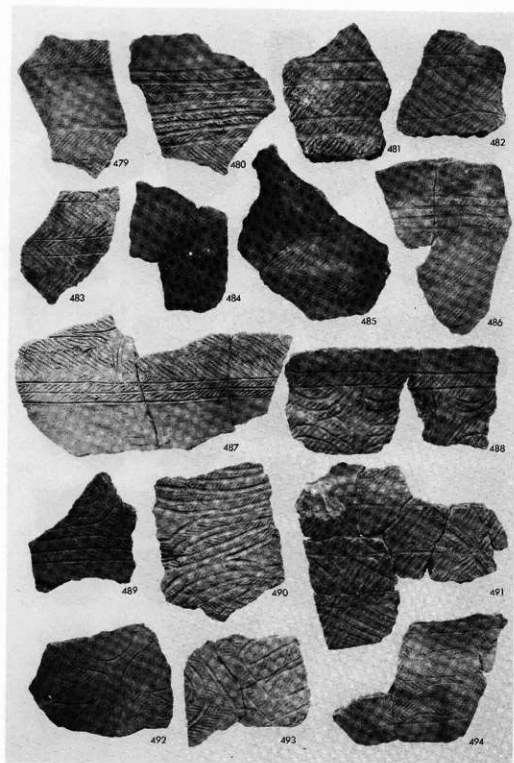
遺物集中区出土の土器



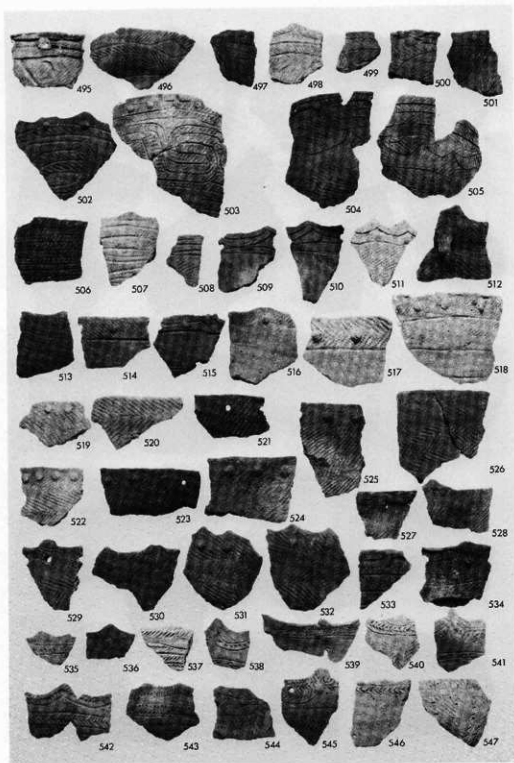
遺物集中区出土の土器



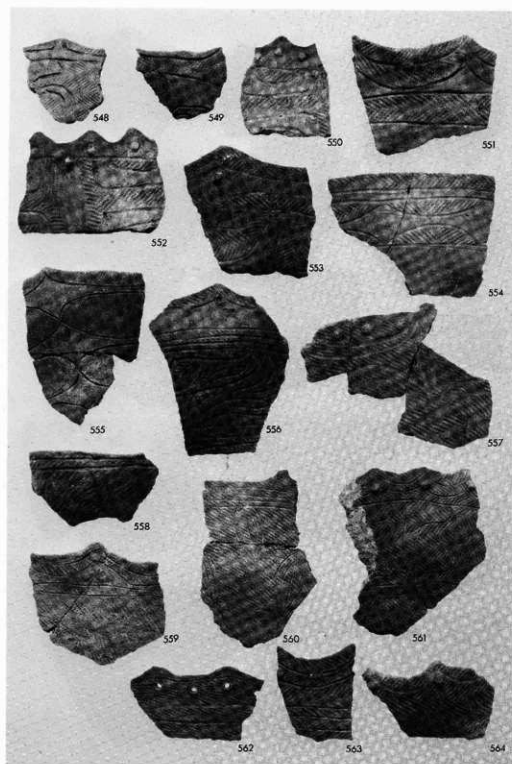
遺物集 中区出土の土器



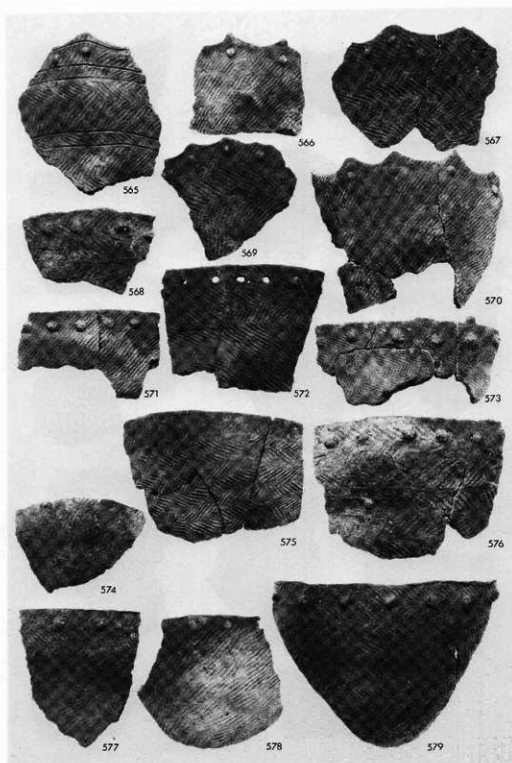
遺物集中区出土の土器



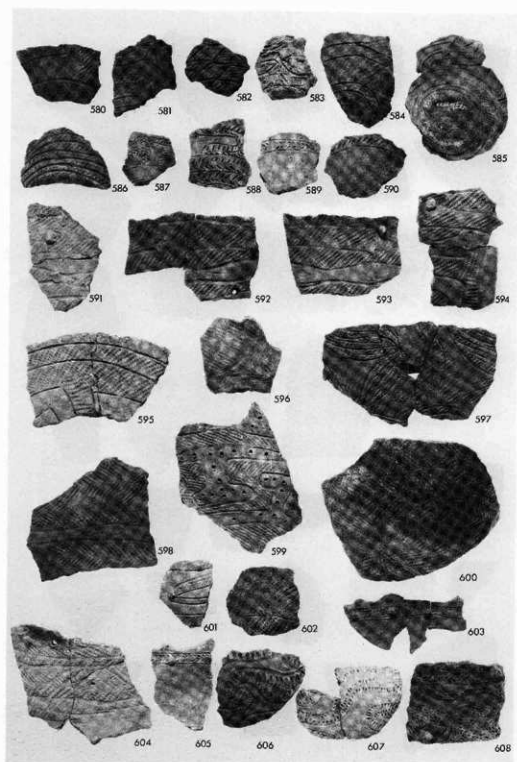
遺物集 中区出土の土器



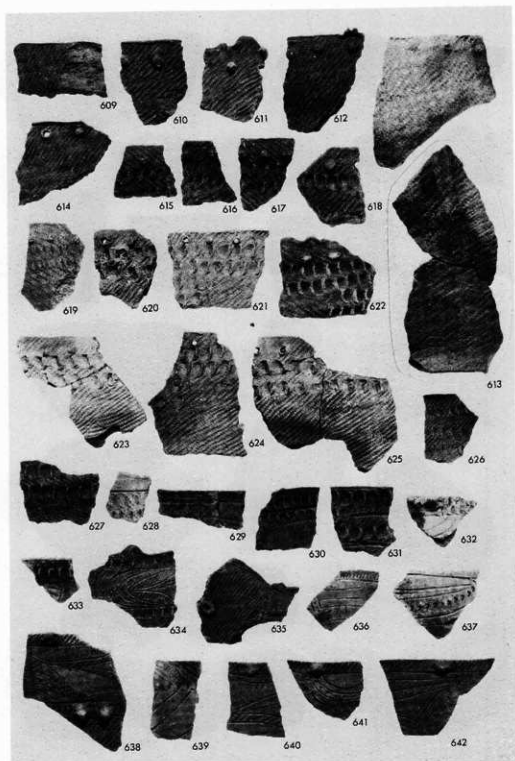
遺物集中区出土の土器



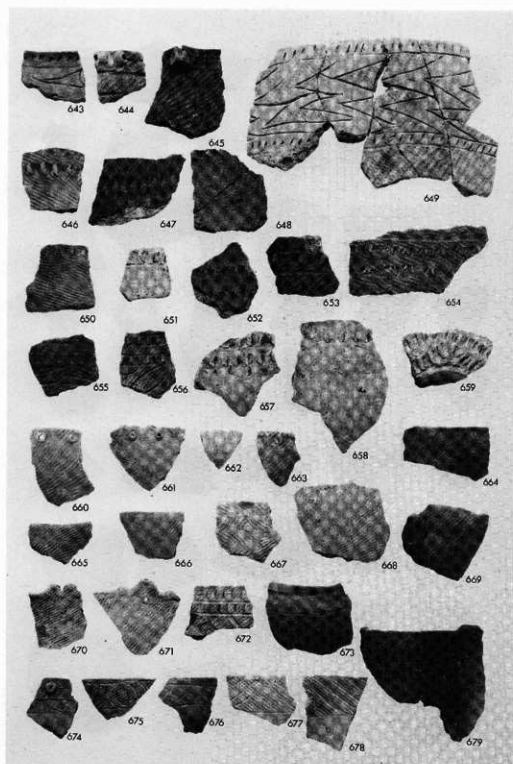
遺物集中区出土の土器



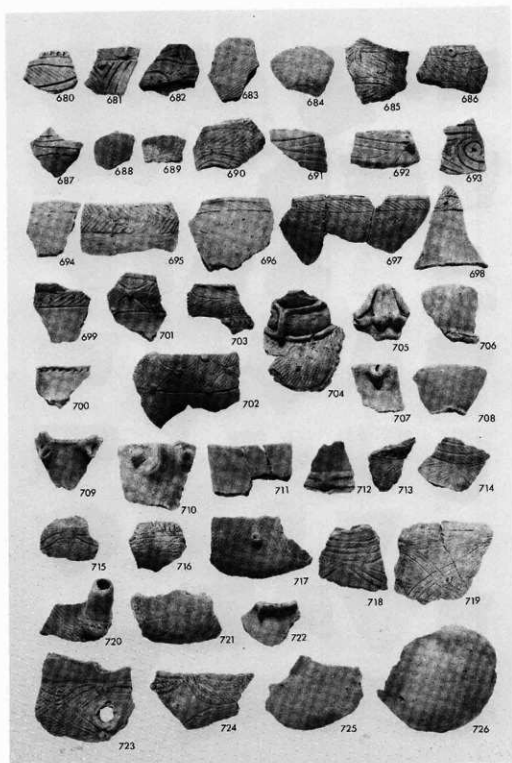
遺物集中区出土の土器



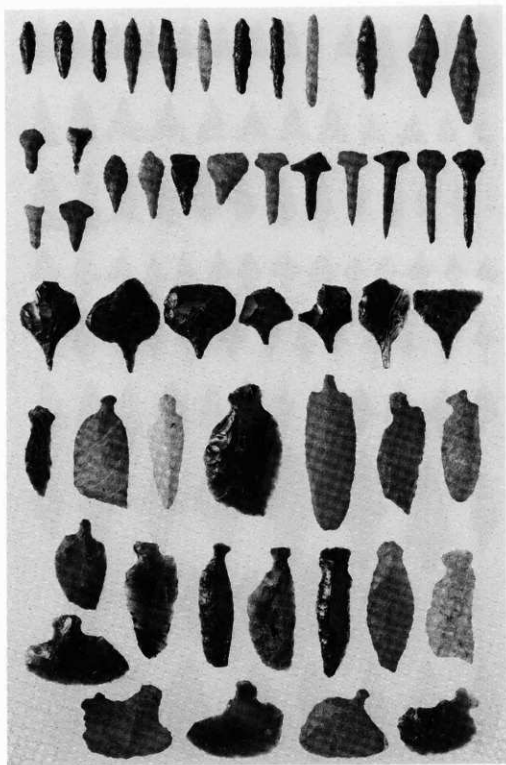
遺物集中区出土の土器



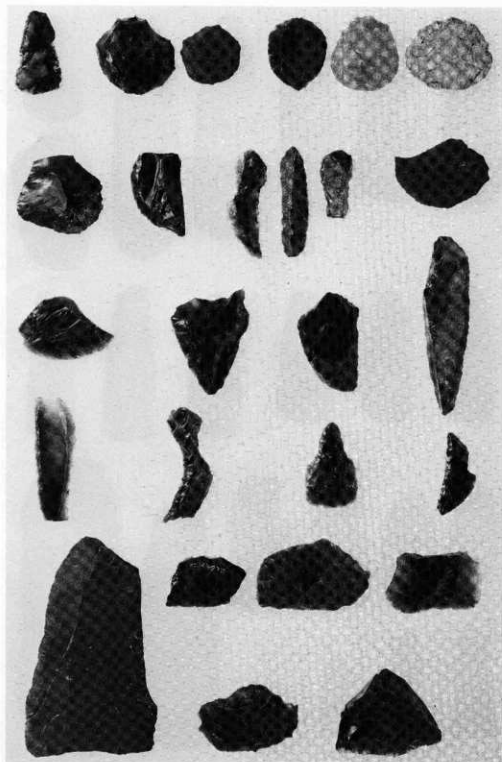
遺物集中区出土の土器



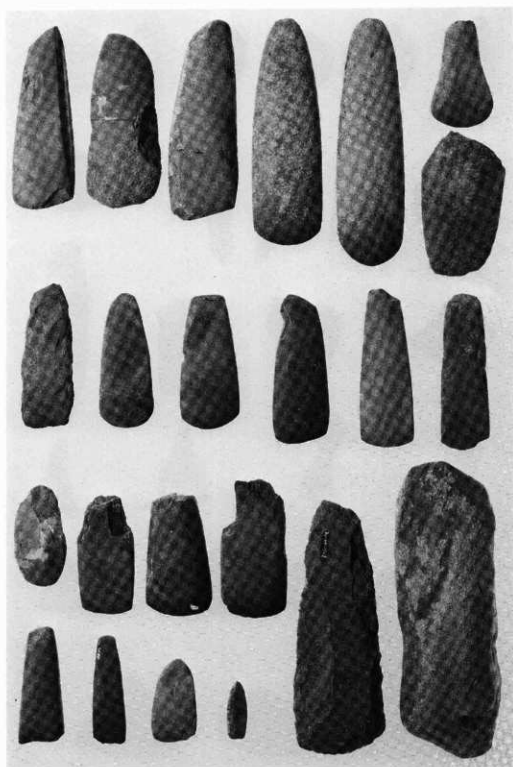
遺物集 中区出土の土器



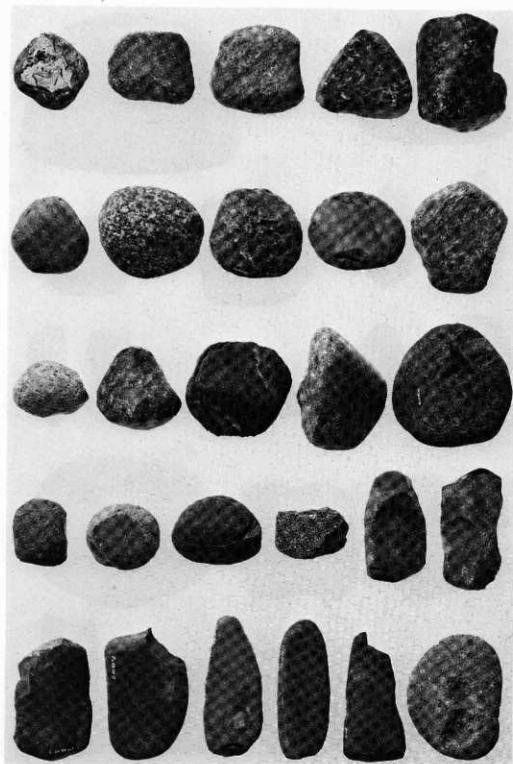
II 黒層出土の石器



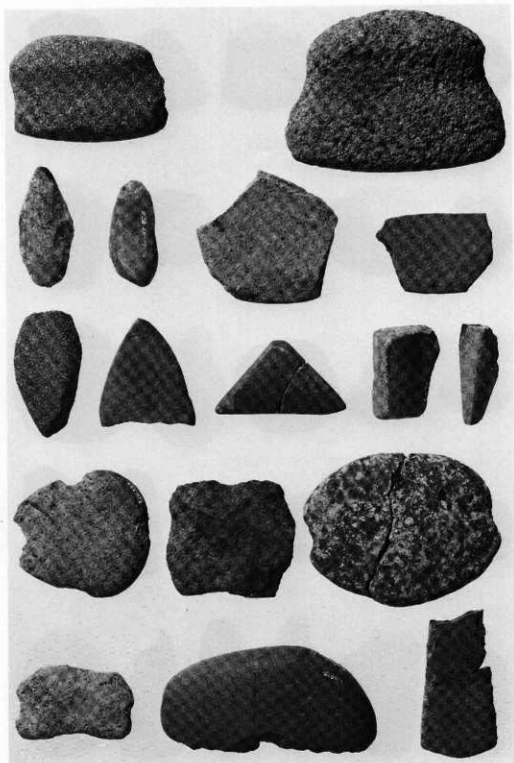
II 黒層出土の石器



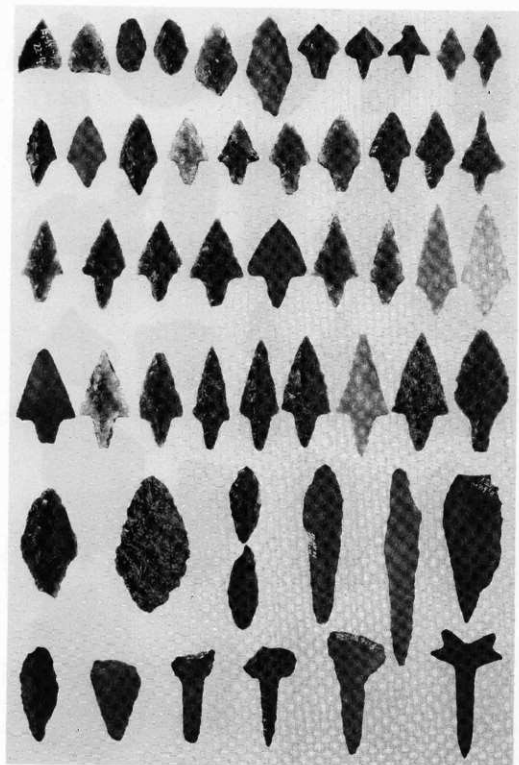
II 黒層出土の石器



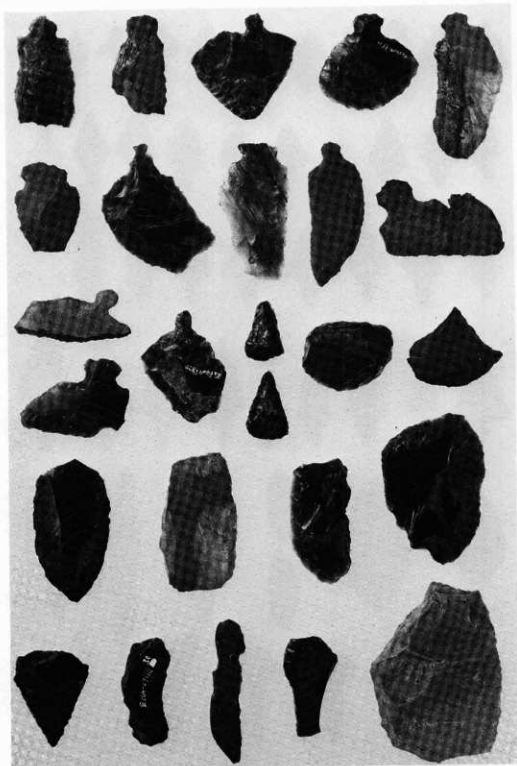
II 黒層出土の石器



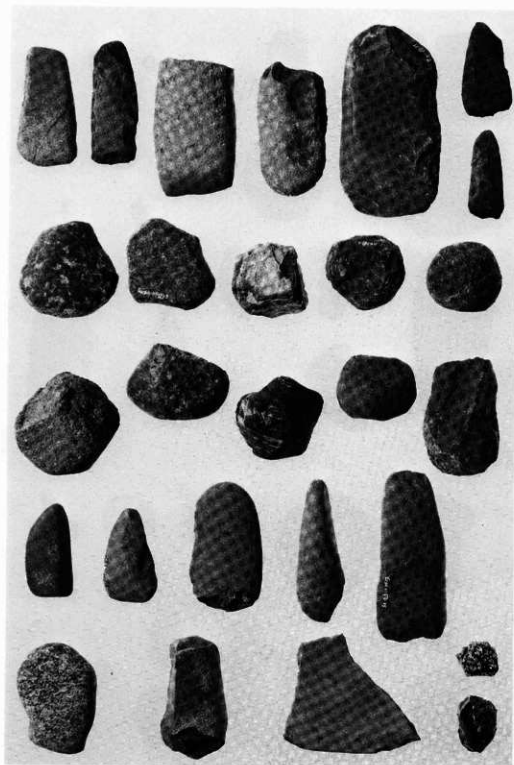
II黒層出土の石器



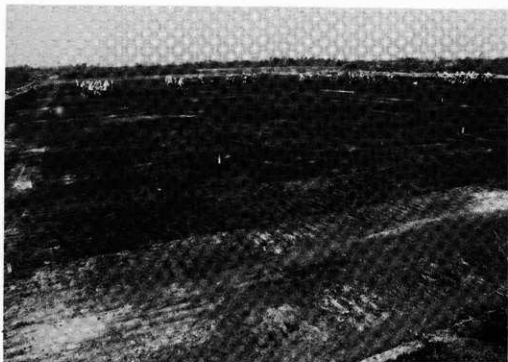
遺物集中区出土の石器



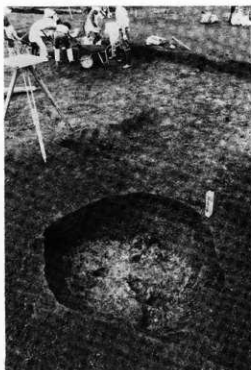
遺物集中区出土の石器



遺物集中区出土の石器



1) 美々9遺跡全景



2) P-1 発掘状況



3) Tピット列



1)



2)

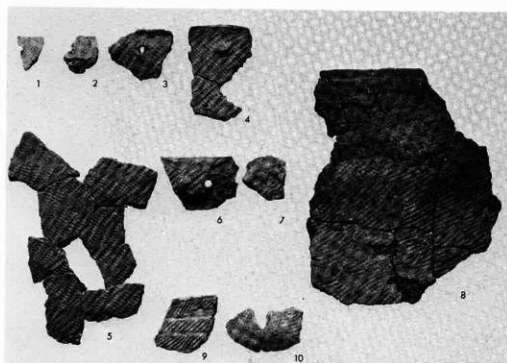


3)

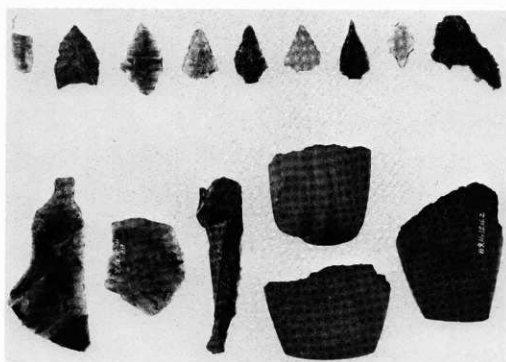


4)

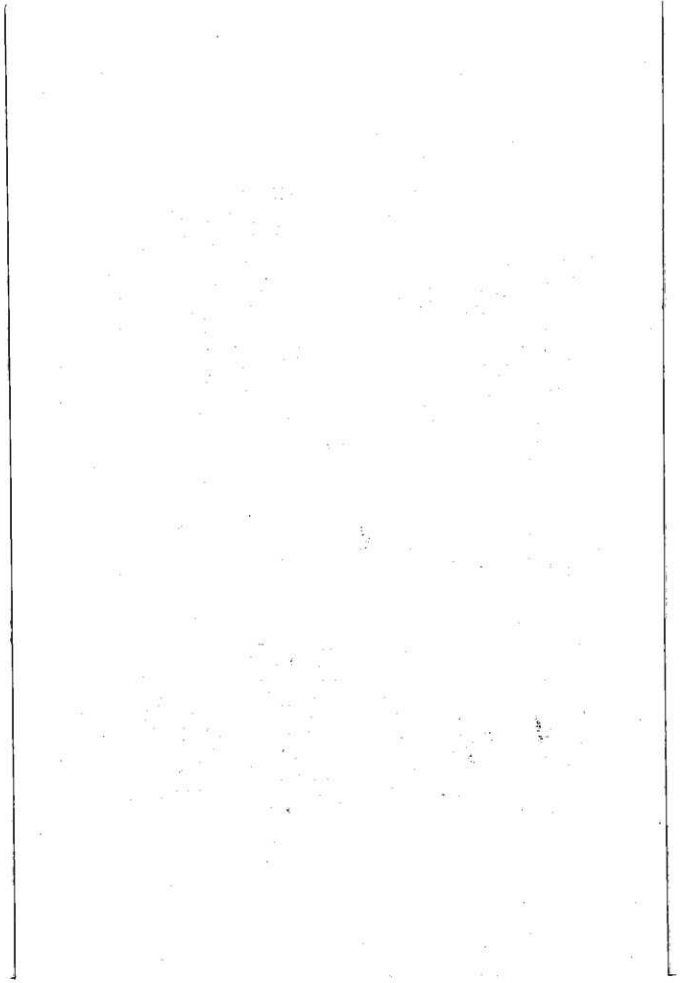
復元土器



1) 土器



2) 石器



財団法人北海道埋蔵文化財センター調査報告第14集

美沢川流域の遺跡群Ⅶ

—新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書—

昭和59年3月31日 発行

編 集 財団法人北海道埋蔵文化財センター

064 札幌市中央区南15条西17丁目

印 刷 株式会社 綿 北 海

旭川市神楽岡14条5丁目 ☎0166(65)2101